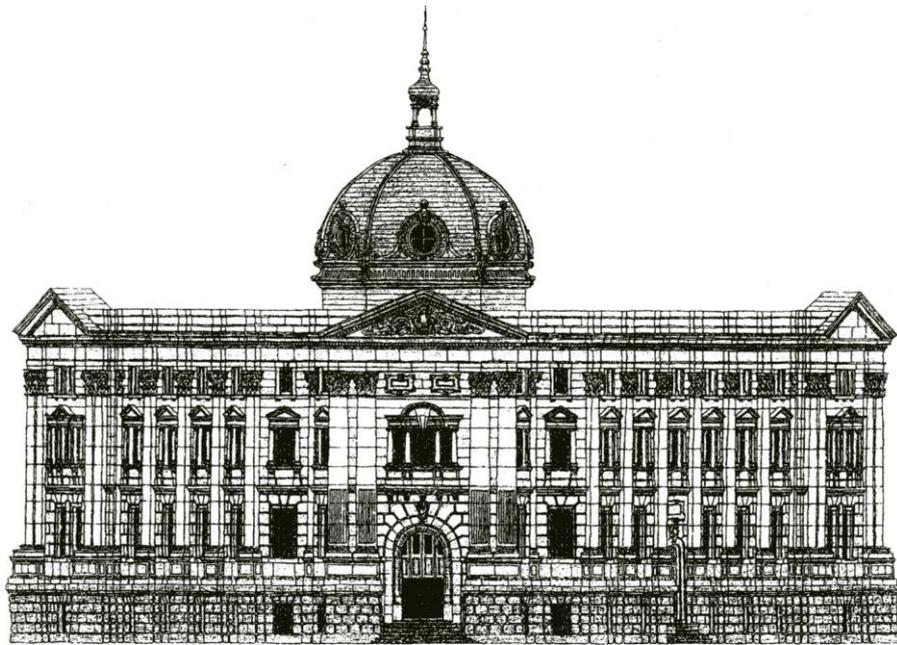


# 神奈川県立歴史博物館年報

平成 21 年度



神奈川県立歴史博物館

2010 年

## はじめに

平成 21 年は、横浜開港 150 周年の記念すべき年にあたります。これを記念して当館では、前年に引き続き、春と夏に「神奈川開港・開国 150 周年」のメモリアルイベントの一環となる特別展を行いました。また、例年、夏の催しものとして行われている「ミュージアム・クイズラリー・よこはま」は神奈川県博物館協会と共催のもと参加館を拡大し、「横浜開港 150 周年」をクイズのテーマにするなど、さまざまなイベントを行いました。

平成 21 年度の展示活動については、例年通り 4 回の特別展を開催しました。春には、「横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流—」を開催し、日本最大の開港場となった横浜の諸相を異文化との衝突と受容という視点から探りました。夏には、「福澤諭吉と神奈川 すべては横浜にはじまる」を開催し、福澤諭吉の原点となった横浜・神奈川と諭吉とのゆかりを紹介しました。秋には「鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界」を開催しました。神奈川県にゆかりの深い日蓮宗寺院の遺宝を一堂に展示し、その中で日蓮の信仰が中世のひとびとに何を訴え、どのように受容されていったかを考えていただく展示でした。そして冬には「彩色立面図に見る日本の近代建築—銀行・オフィスビルから邸宅まで—前期神奈川県編」を開催し、県内に遺る近代建築の魅力を、彩色立面図を中心にして紹介しました。

このほかの展示活動として、所蔵資料の中からテーマを選び行なうコレクション展を 2 回開催しました。また、研究報告の刊行などで学芸員の研究活動の成果を公開するとともに、講座の開催や学校連携を中心とした学習支援活動、さらに、2 年目を迎えたミュージアムコンサートなど、多彩な事業にとり組みました。

今後もより一層、「開かれた博物館」「親しまれる博物館」を旨とし、ご利用になられる方々の期待に応えるよう心がけてまいります。

平成 22 年 3 月

神奈川県立歴史博物館

## 目次

はじめに

目次

### 1. 沿革

- (1) 沿革 ..... 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念 ..... 4

### 2. 管理運営

- (1) 組織 ..... 5
  - ア 組織図
  - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出 ..... 6
- (3) 入館者状況 ..... 7
- (4) 広報実績 ..... 8
- (5) 施設概要 ..... 8
  - ア 概要
  - イ 館内施設
  - ウ 外部協力
  - エ 平面図

### 3. 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの ..... 12
  - ア 総合研究
  - イ 個別研究
  - ウ グループ研究
  - エ 調査研究成果報告会
- (2) 日本学術振興会科学研究費補助金によるもの ..... 13
- (3) 個人研究活動 ..... 15
  - ア 研究報告書
  - イ 個人研究活動

### 4. 資料収集・整理・保管

- (1) 考古資料 ..... 22
  - イ 寄贈・寄託・借用
  - エ 貸出
- (2) 歴史資料 ..... 22
  - ア 購入
  - イ 寄贈・寄託・借用
  - エ 貸出
  - オ 特別利用
- (3) 美術資料 ..... 25
  - イ 寄贈・寄託・借用
  - エ 貸出
  - オ 特別利用

- (4) 民俗資料 ..... 33
  - イ 寄贈・寄託・借用
  - エ 貸出
- (5) 写真資料 ..... 34
- (6) 資料の燻蒸 ..... 34
- (7) その他の関係資料 ..... 34
  - ア 図書
  - イ 映像
  - ウ 写真
  - エ 情報システム

### 5. 展示・教育普及・学習支援

- (1) 常設展 ..... 37
- (2) 特別展 ..... 37
- (3) コレクション展 ..... 51
- (4) その他の展示 ..... 52
- (4) 学習支援事業 ..... 54
  - ア 講座
  - イ 特別展記念講演会
  - ウ 学芸員による展示解説
  - エ ミュージアムトーク
  - オ その他の行事
  - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
  - キ 学校連携事業の状況
- (5) ミュージアムライブラリー ..... 62
- (6) 普及刊行物 ..... 62
  - ア 図録
  - イ 広報刊行物
  - ウ 神奈川県立歴史博物館だより
- (7) ボランティアの活動 ..... 63
  - ア 活動状況
  - イ ガイダンス講座
  - ウ 専門研修
  - エ その他の研修
- (8) 博物館実習生の受け入れ ..... 64
  - ア 見学実習
  - イ 実務実習

### 6. 資料

- (1) 条例・規則 ..... 67
  - ア 神奈川県立の博物館条例
  - イ 神奈川県立の博物館組織規則
  - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
- (2) 利用案内 ..... 71

# 1 沿革

## (1) 沿革

- 昭和38年 6月 教育庁に博物館準備事務室を設置
- 昭和41年 11月 神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置  
神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の2部を置く
- 昭和42年 3月 神奈川県立博物館開館  
4月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を設置(委員20名)。  
6月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の2課を置く
- 昭和43年 4月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により学芸部に学芸課、人文課、自然課の3課を置く
- 昭和44年 3月 旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
- 昭和44年 7月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
- 昭和47年 8月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の4課を置く
- 昭和49年 8月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
- 昭和52年 5月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
- 昭和53年 9月 文部省学術研究機関の指定を受ける
- 昭和55年 2月 入館者数100万人達成
- 昭和62年 4月 第2次新神奈川計画の重点政策「文化施設21世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
- 昭和63年 12月 神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」を提出
- 平成2年 3月 人文系博物館の整備計画・展示計画策定
- 平成3年 3月 博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
- 平成4年 3月 展示基本設計
- 平成5年 3月 改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計  
4月 県立博物館休館(～7年3月)  
10月 改修工事及び展示工事開始
- 平成6年 11月 改修工事終了
- 平成7年 1月 神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更  
神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の1部2課を置き、管理部の施設保全課を廃止  
3月 展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始  
神奈川県立歴史博物館開館(18日)  
6月 国の史跡に指定される
- 平成9年 7月 博物館ボランティアが活動を開始
- 平成11年 2月 金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善玖墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される  
神奈川の職人の道具(17職種1,982点)が県の有形民俗文化財に指定される
- 平成11年 4月 重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される
- 平成13年 1月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450点)が県の重要文化財に指定される
- 平成13年 3月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成18年 4月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の2部3課となる
- 平成19年 11月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される

## (2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和42年開館の神奈川県立博物館である。昭和62年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成7年のリニューアル開館に至るまで、3回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

- ア 昭和63年12月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」（以下「提言」）
- イ 平成2年3月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画(案)」（以下「整備計画」）
- ウ 平成7年3月の再編整備時に作られた『神奈川県立歴史博物館 概要説明(以下「概要」)』

### ア 「提言」における活動理念・テーマ

#### (ア) 人文系博物館の「意義」（「提言」を要約、抜粋）

- a 文化の視点からの未来の探求
- b 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
- c 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
- d 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
- e 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
- f 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

#### (イ) 「基本テーマ」等の設定

##### a 基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

##### b サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

さらに空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立つて2つのサブテーマが設定された。

##### c 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

[継承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる

[交流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる

[変容] 文化の変容をダイナミックにとらえる

[風土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

### イ 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

### ウ 「概要」における活動理念・テーマ

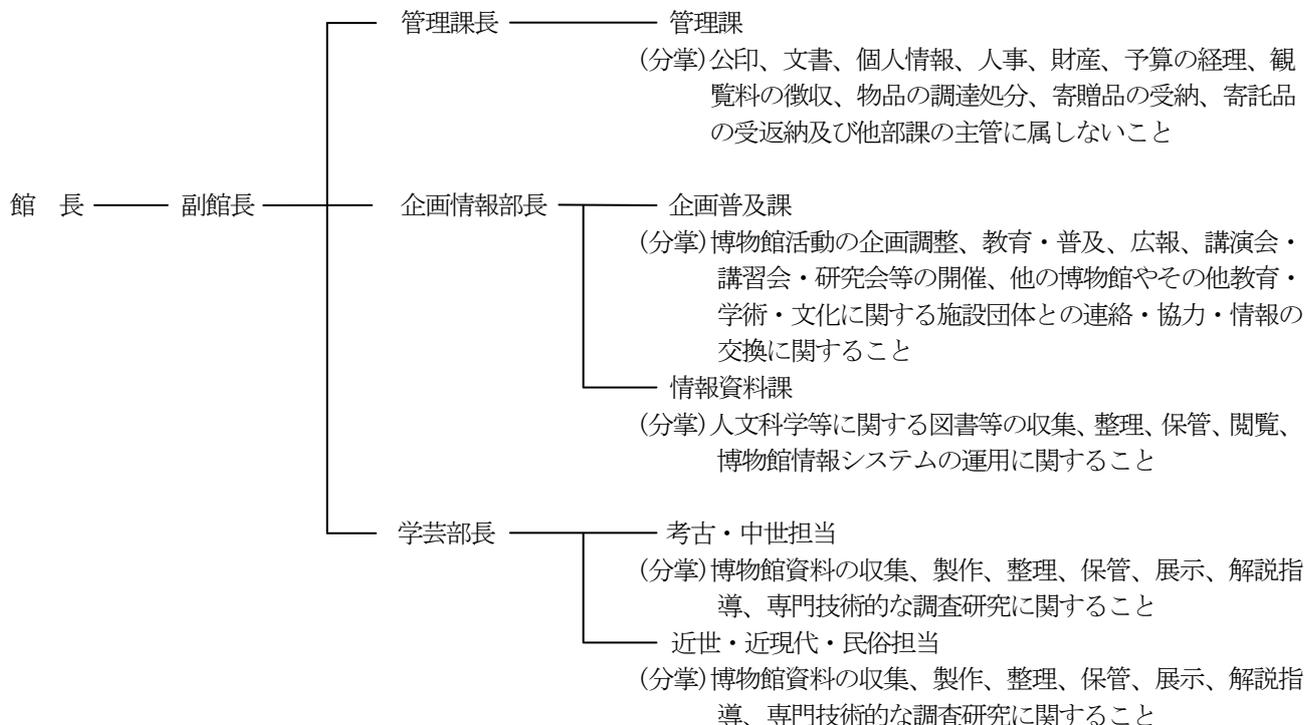
平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置づけ博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

## 2 管理運営

### (1) 組織

#### ア 組織図

(平成21年4月1日現在)



#### イ 職員名簿

館長(技術)	西川 杏太郎	非常勤教育普及員	吉田 泰治
副館長	山口 友久	非常勤事務補助員	野島 愛子
管理課長	熊谷 淳	〃	鈴木 由佳
管理課 副主幹	布施 こづえ	情報資料課長	山森 正實
〃	齋田 房子	情報資料課 副主幹	津軽谷 静子
主査(事務)	樋渡 功	主査(事務)	秋山 孝之
〃	海老原 成介	主任専門員(技術)	井上 久美子
〃	加後 智佳子	専門員(司書)	臼井 和子
専門員(事務)	石井 敏夫	専門員(事務)	高木 義友
技幹(兼務)	諏訪 修平	非常勤事務補助員	石井 雅代子
非常勤自動車運転員	平本 紀美男	〃	川口 淳子
非常勤事務補助員	吉村 美知子	非常勤資料整理員	檜皮 千穂
〃	北村 智子	〃	三瓶 裕子
企画情報部長	奥山 久	〃	井口 令菜
企画普及課長(技術)	鳥居 和郎	学芸部長(技術)	薄井 和男
企画普及課 副主幹	栗原 一也	(考古・中世担当)	
主任学芸員	中野 雅之	主任学芸員	古川 元也
専門員(事務)	木村 卓司	学芸員	梅沢 恵
〃	長嶋 敏雄	専門員(技術)	國平 健三
非常勤学芸員	高橋 秀和	(近世・近現代・民俗担当)	
〃	鎌田 麻希	専門学芸員	寺寄 弘康

専門学芸員	古宮 雅明	専門員(技術)	長田 平
主任学芸員	嶋村 元宏	〃	鈴木 通大
〃	桑山 童奈	専門員(事務)	安藤 孝雄
学芸員	丹治 雄一	非常勤資料整理員	吉澤 智恵子
〃	角田 拓朗	〃	祝園 麻起子

## (2) 歳入・歳出

### 歳入

(千円)

科 目	金 額	内 訳
行政財産使用料	566	ショップ等建物使用料
歴史博物館使用料	13,033	観覧料収入(常設展 5,335、特別展 7,698)
立替収入	438	ショップ他電気・水道
雑入	4,575	展示解説書等販売、ライブラリー複写料金
教育受講料収入	250	県立機関活用講座受講料
合 計	18,862	

### 歳出 (人件費含まず)

(千円)

事 業 名	金 額	内 訳
維持運営費	75,186	維持管理・事業運営
展示事業費	24,180	常設展示維持管理、特別展の開催、総合案内業務
調査研究事業費	370	総合研究・基礎研究、調査研究報告書の作成
資料整備費	8,727	博物館資料収集、資料修繕
学習支援事業費	1,018	講座・講演会の開催、ボランティア活動推進、 図書等資料整備、広報用資料作成
情報システム整備費	57,760	システム運用、データ入力等
県立機関活用講座開催事業費	270	講座の開催
緊急雇用創出事業臨時特例基金 委託等事業費	10,481	
合 計	177,992	

### (3) 入館者状況

#### 入館者数

月別	有料域入館者			フリーゾーン 入館者	総計
	有料入館者	無料入館者	合計		
4	1,371	2,831	4,202	6,185	10,387
5	2,737	7,072	9,809	11,140	20,949
6	1,795	6,288	8,083	6,069	14,152
7	2,489	1,714	4,203	6,046	10,249
8	3,946	2,799	6,745	6,487	13,232
9	6,782	9,903	16,685	6,332	23,017
10	3,663	3,664	7,327	5,079	12,406
11	5,174	7,356	12,530	6,812	19,342
12	1,700	951	2,651	3,807	6,458
1	1,752	1,417	3,169	3,684	6,853
2	1,985	2,120	4,105	4,490	8,595
3	3,093	1,516	4,609	4,178	8,787
合計	36,487	47,631	84,118	70,309	154,427

#### 有料入館者内訳

月別	個人				団体(団体扱いを含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	1,278	69	—	—	1	23	—	—	1,371
5	2,404	190	—	—	79	64	—	—	2,737
6	1,539	179	—	—	77	0	—	—	1,795
7	1,169	108	50	745	224	137	0	56	2,489
8	1,753	158	225	1,051	680	63	0	16	3,946
9	2,144	274	91	2,592	1,206	185	0	290	6,782
10	1,372	105	32	1,554	401	8	0	191	3,663
11	1,887	127	23	2,117	650	54	0	316	5,174
12	891	78	44	566	5	22	0	94	1,700
1	1,110	87	18	423	37	1	0	76	1,752
2	1,011	90	19	532	196	20	2	115	1,985
3	1,362	153	55	925	502	52	0	44	3,093
合計	17,920	1,618	557	10,505	4,058	629	2	1,198	36,487

※「高校生、65歳以上」は平成21年7月1日より有料

#### 無料入館者内訳

月別	条列別表備考欄指定の無料入館者(A)				減免による無料入館者(B)							合計
	未就学 幼児	小学生	中学生	特別 支援学校	高校生	生徒 引率者	65歳以上	優待券	招待券	障がい者	その他	
4		122	688	4	595	38	1,112	8	95	77	92	2,831
5		1,356	1,371	0	866	133	2,351	17	590	135	253	7,072
6		1,450	1,360	0	297	121	1,876	11	961	101	111	6,288
7		1,007	385	0	54	73	0	6	0	61	128	1,714
8		414	565	0	5	3	0	1	1,323	131	357	2,799
9	60	2,065	841	17	436	120	0	16	5,888	191	269	9,903
10	27	1,265	200	0	384	107	0	12	1,165	131	373	3,664
11	38	789	421	0	198	53	0	26	4,949	187	695	7,356
12	18	380	193	0	20	32	0	2	0	53	253	951
1	36	359	647	0	0	51	5	2	2	68	247	1,417
2	27	328	1,389	0	63	46	0	6	138	70	53	2,120
3	24	305	342	0	19	25	0	11	583	87	120	1,516
合計	230	9,840	8,402	21	2,937	802	5,344	118	15,694	1,292	2,951	47,631

※未就学幼児は8月分まで(B)欄を含む。「高校生、65歳以上」の区分は6月まで(A)欄に該当

#### 特別展の入館者状況(前掲表内数)

特別展名	有料入館者	無料入館者	合計
横浜開港百五十年 —神奈川・世界との交流—	3,552	12,690	16,242
福澤諭吉と神奈川 —すべては横浜にはじまる—	5,135	11,091	16,226
鎌倉の日蓮上人 中世人の信仰世界	4,902	9,586	14,488
彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで 前期 神奈川県編—	2,030	1,819	3,849
合計	15,619	35,186	50,805

#### (4) 広報実績

平成 21 年度の当館に係る広報実績は下記の通りであった（館のPR、企画展、催し等）。

媒体別	紙媒体				電波媒体		インターネット ※紙媒体との 重複あり	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	196	134	15	17	16	4	81	463

#### (5) 施設概要

##### ア 概要

○敷地面積 4,160.82 m<sup>2</sup>

○施設規模 石・煉瓦造（一部鉄筋コンクリート造）地上3階・地下1階  
延床面積 10,565.47 m<sup>2</sup>

（内訳）

展示室	約 3,896 m <sup>2</sup>	研究部門	約 1,306 m <sup>2</sup>
学習支援部門	約 386 m <sup>2</sup>	管理部門	約 1,251 m <sup>2</sup>
収蔵部門	約 619 m <sup>2</sup>	その他共用部分	約 2,670 m <sup>2</sup>
サービス部門	約 438 m <sup>2</sup>		

##### ○建物の特徴

旧館部分	旧横浜正金銀行本店本館 明治 37 年(1904)竣工(設計 妻木頼黄) ネオ・バロック様式
新館部分	昭和 42 年(1967)神奈川県立博物館として新築 (設計指導 横浜国立大学教授 大岡実、同 河合正一)

○指定状況 昭和 44 年(1969)3 月 12 日指定：重要文化財 建物旧館部分  
平成 7 年(1995)6 月 27 日指定：国指定史跡

区 分	施 設
1 階	展示室、学習支援関係諸室 導入展示室、特別展示室、コレクション展示室、ミュージアムライブラリー、 ミュージアムショップ、喫茶室等
2 階	展示室、管理課・企画情報部関係諸室 総合テーマ展示室(近世、近代、現代、民俗)、館長室、管理課室、企画情報部室、 図書整理室、書庫、応接室、第 2 応接室、電話交換室等
3 階	展示室、学芸部関係諸室 総合テーマ展示室(古代、中世)、 資料整理室、展示準備・工作室、畳敷作業室、収蔵庫、共同作業室等
地下1階	講堂、収蔵庫、施設管理関係諸室 講堂、収蔵庫、写場、燻蒸室、防災センター、機械室、倉庫等

## イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

### (ア) ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録、研究報告)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍や所蔵資料の絵はがきだけでなく、博物館見学の記念になるような品々を販売するミュージアムショップをエントランスホールに設けている。

### (イ) ともしひ喫茶室

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。軽食、喫茶ができ、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「神奈川県手をつなぐ育成会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

## ウ 外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県立博物館時代から次の外部団体の事務局が設置され、県内博物館活動の推進や文化財保護活動に協力している。

### (ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など、文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。(協会員数：184人、平成22年3月31日現在)

事務局長	副館長	山口 友久
事務局次長	学芸部長	薄井 和男
事務局員	学芸員	丹治 雄一
〃	学芸員	梅沢 恵
〃	情報資料課長	山森 正實
〃	主査	樋渡 功
〃	主査	加後 智佳子
〃	専門員(事務)	木村 卓司

### (イ) 神奈川県博物館協会

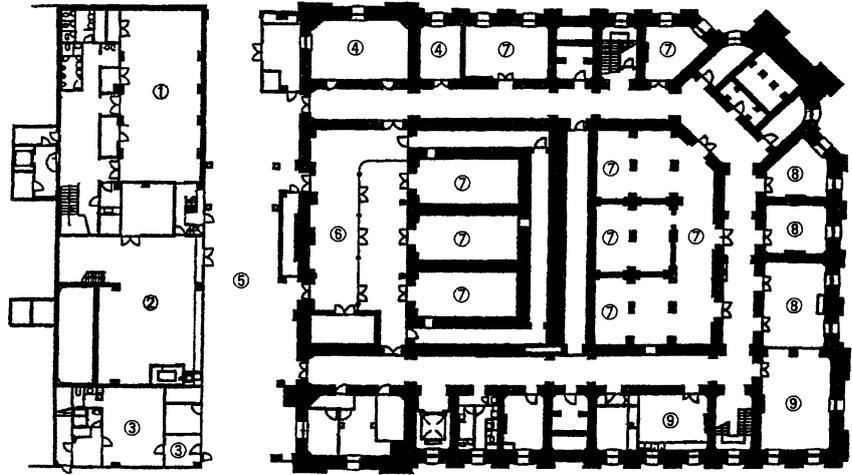
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。(加盟館園数：103館、平成22年3月31日現在)

会長	館長	西川 杏太郎
事務局長	副館長	山口 友久
事務局次長	学芸部長	薄井 和男
人文部会幹事	専門学芸員	古宮 雅明
事務局員	副主幹	布施 こづえ
〃	主任学芸員	嶋村 元宏
〃	専門員(事務)	安藤 孝雄

## エ 平面図

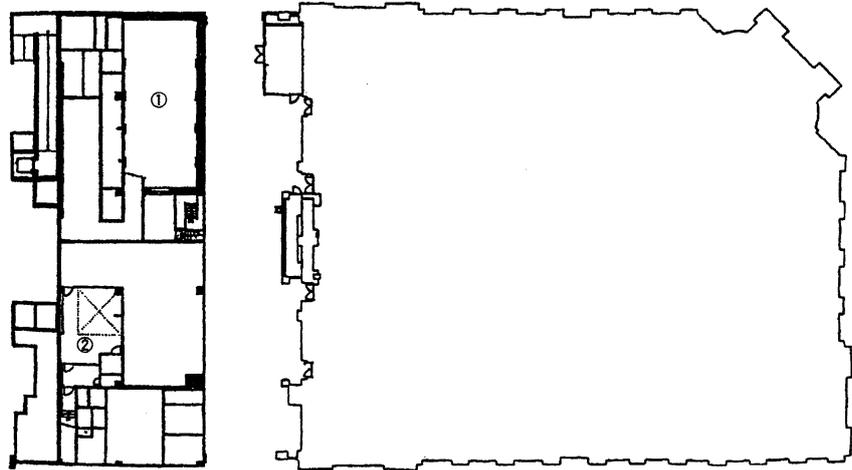
### 地下平面図

- ①講堂
- ②機械室
- ③防災センター・保安室
- ④電気室
- ⑤サービスヤード
- ⑥荷捌室
- ⑦収蔵庫
- ⑧資料整理室
- ⑨写真室



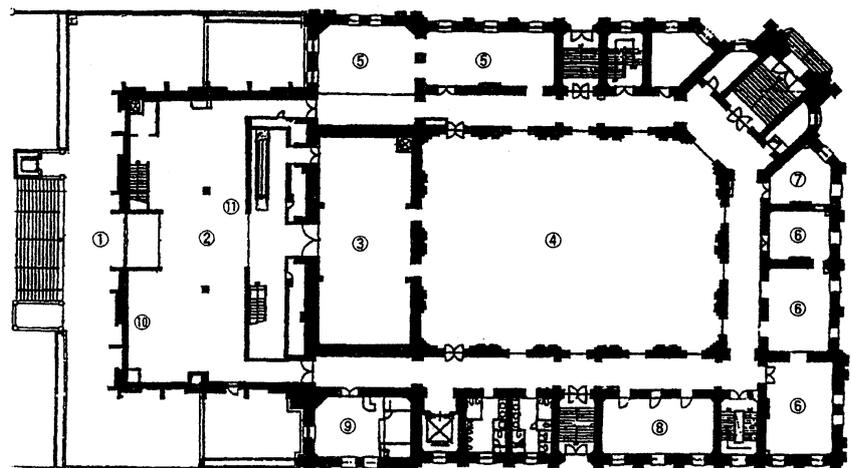
### 中1階平面図

- ①講堂上部
- ②中央監視室



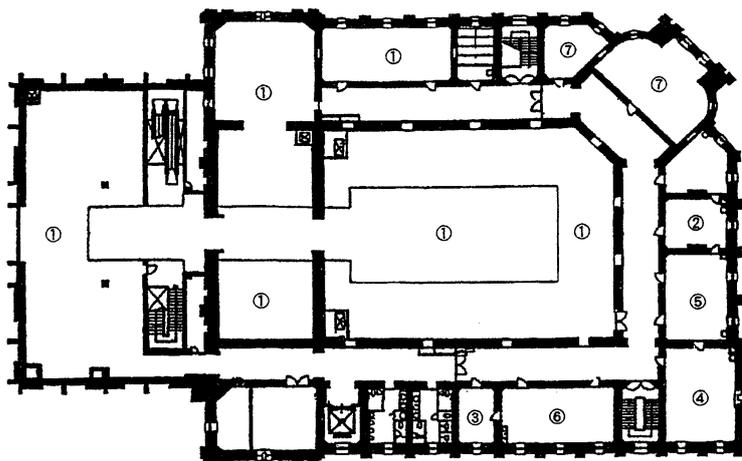
### 1階平面図

- ①玄関
- ②エントランスホール
- ③導入展示室
- ④特別展示室
- ⑤コレクション展示室
- ⑥ミュージアムライブラリー
- ⑦情報処理室
- ⑧会議室
- ⑨喫茶室
- ⑩ミュージアムショップ
- ⑪総合案内



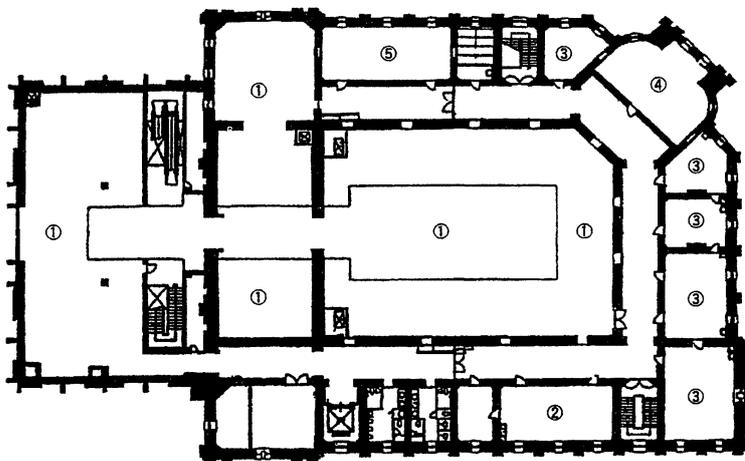
## 2階平面図

- ①展示室
- ②館長室
- ③第二応接室
- ④管理課
- ⑤応接室
- ⑥企画情報部
- ⑦図書室



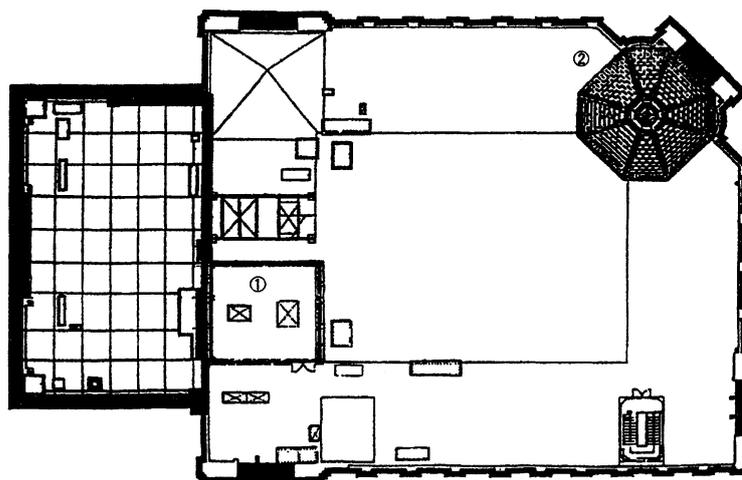
## 3階平面図

- ①展示室
- ②学芸部
- ③資料整理室
- ④展示機材倉庫
- ⑤収蔵庫



## 屋上平面図

- ①空調機械室
- ②ドーム



### 3 調査・研究

#### (1) 館独自の研究事業費によるもの

##### ア 総合研究

テーマ：『道中記』の研究

担当：研究代表者 桑山 童奈

期間：平成18年度～22年度

概容：江戸期に数多く出版された、参詣や行楽を目的とした旅の案内書「道中記」研究の4年目。これまでに川崎から箱根にいたるまでの東海道の宿駅や金沢八景、鎌倉、江の島、杉田など、現在の神奈川県を含む道中記について、その書誌データを収集し整理してきたが、その成果をまとめる。

当館が所蔵する道中記についての撮影および情報収集はほぼ終了し、他機関所蔵資料についての情報収集と資料調査をおもに行った。当館の桑山と古宮(近世)が行ってきた資料収集と基礎的なデータの整理を館外からの協力者、鈴木良明氏(県立金沢文庫)、井上攻氏(横浜市歴史博物館)、日野原健司氏(太田記念美術館)に提供する。

各協力者はその情報をもとに、自らの研究に引きつけ考察を行うこととし、研究会を平成22年2月26日に行った。鈴木氏は道中記に見られる地名表記について「道中記に見る情報の変遷」との題名で、井上氏は神奈川県内に残存する道中記の状況を考察し、「道中記の在地残存状況と江戸時代人の旅指向―神奈川県下の事例―」としてまとめ、日野原氏は絵画表現に着目して「一八世紀中期の絵地図式道中記についての再検討」をまとめる。古宮・桑山は、それぞれ「東海道分間絵図を読む」「名所表現の錦絵と『道中記』挿絵の違い(仮)」をまとめ、ほか基本書誌データなどをまとめて報告書を刊行する。

テーマ：『異形』イメージの形成と展開 ～歴史学・民俗学・美術史学による共同研究～

担当：研究代表者 鈴木 通大(民俗)

共同研究者 梅沢 恵(美術)、古川 元也(中世)・古宮 雅明(近世)

期間：平成21年度～22年度

概容：本研究の大きな目的は、歴史、美術、民俗という異なった分野の学芸員が共同テーマ「異形」を設定し、相互に協力して調査研究した成果を最終的に「特別展」としてまとめ、開催することになった。そこで、平成21年度からはじめた共同研究の結果、その成果の一端を平成22年度特別展において「天狗推参！」という展覧会で発表することになった。

テーマとなった「異形」という言葉は、古くから使われており、鎌倉期以降、しばしば「異類異形」として用いられてきたものである。「異形」は、本来、常体ではないもの、すなわち不吉なものとして畏れられてきたが、研究としては一種の妖怪、鬼、鬼神、天狗などについての事例が多い。このため「異形」研究は、傍流的に扱われてきたが、近年、民俗学・歴史学・国文学等の学際的研究成果があげられつつある。これらの研究は大学研究機関等が主導する場合が多かったが、本館の共同研究では「モノ」に即した新しい成果を生み出したといえる。

本研究は、「異形」の中の「天狗」に視点をあて、その発生から、イメージが具象化されていく形成過程を明らかにした。たとえば、「天狗」については一定のイメージが定着しているが、そのイメージがいつどのように定着したのか、その背景などを解明した。そのために、歴史学・美術史学・民俗学分野から複合的なアプローチを試み、合わせて展示に活用するために、必要な文献資料・絵画資料・民俗資料など、有効かつ具体的な資料の所在目録を作成した。

##### イ 個別研究

テーマ：「金沢文庫古文書」にみる熊野信仰関係史料について

担当：古川 元也

期間：平成21年度

概容：本質的には紀州の地域信仰である熊野信仰は、平安期における浄土信仰の広まりと共に隆盛し、全国的な信仰へと発展した。東国では中央との関係を持つ武士階層が供奉などを通じて熊野信仰を勧請し、地域的な信仰を現出させる事例が多いとされている。本報告では、東国での事例を語る際

に引用されることの多い「金沢文庫古文書（称名寺に伝わった文書群の総称とする）」を検討することによって、東国の熊野信仰をより明確なものにしてゆくことを目的とする。検討は次の①～③の視点によっておこなうこととする。

①「金沢文庫古文書」にみる熊野関係史料の位置づけは如何か、②「称名寺結界絵図」にみられる「新宮」は熊野信仰に基づくものか、③東国への熊野信仰伝播は如何にしてなされているのか、である。なお、本報告は平成17年度の特別展「中世東国の熊野信仰」以降継続している研究の一環であり、本年度個別研究費による研究成果である。

## ウ グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

- 考 古：神奈川県内遺跡・遺物調査
- 中 世：宋風文化の研究
- 近 代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究
- 現 代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究
- 民 俗：社会における贈答慣行
- 教育普及：小・中学校の見学実習を支援するワークシートの開発と検証

## エ 調査研究成果報告会

開催日時 平成22年3月5日(金)13:30～17:00

内 容 総合研究及び個別研究の成果あるいは途中経過と、報告書の内容について報告を行った。

### (1)総合研究

#### ① 発表者：梅沢 恵

テーマ：「異形イメージの形成と展開」の研究・「天狗推参！」展に向けて

概 容：前記「ア 総合研究『異形』イメージの形成と展開～歴史学・民俗学・美術史学による共同研究～」の共同研究の成果の一部を報告した。報告者の専門分野（美術史学）の観点から、仏教美術における鬼神のイメージの多様性、敦煌の行道天王図や兜跋毘沙門天信仰との関連を中心に報告した。

#### ② 発表者：桑山 童奈

テーマ：『道中記』の研究

概 容：前記「ア 総合研究 『道中記』の研究」を参照

### (2)個別研究

#### ① 発表者：古川 元也

テーマ：「金沢文庫古文書」にみる熊野信仰関係史料について

概 容：前記「イ 個別研究 『金沢文庫古文書』にみる熊野信仰関係史料について」を参照。

#### ② 発表者：寺寄 弘康

テーマ：横浜正金銀行券の様式について

概 容：横浜正金銀行券の券面様式について、従来、様式の変化がないとされてきたが、当館所蔵の銀行券見本をつぶさに観察したところ、双龍や正金銀行本店の図像、輪郭模様や彩紋などに明らかな違いがあることが判明し、結果的に15種類のパターンに分類できた。その様式の変化が銀行券の偽造防止対策にあることを指摘した。

## (2) 日本学術振興会科学研究費補助金によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費補助金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。平成21年度の採択は3件である。

研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：80250231

研究課題：川島忠之助資料から見た明治期の横浜正金銀行

研究代表者：寺寄 弘康

研究分担者：丹治 雄一

研究実績概要：本研究は、横浜正金銀行リオン支店初代支配人川島忠之助が残した明治20～30年代の書簡類をもとに、リオン支店を中心としたヨーロッパ及びインドにおける外国為替、貿易金融に関する横浜正金銀行の役割を実証的に解明することにより、横浜正金銀行研究の進展に寄与することを目的とし、平成20年度から4ヵ年で実施しており、本年はその2ヶ年目である。

今年度は川島忠之助資料のうち、書簡の筆耕作業を実施した。その書簡は、川島がフランス・リヨンの横浜正金銀行出張所主任として勤務していた際に、同地から日本の本店やイギリス支店などに宛てて発進した書簡の控え(コピーレター)で、2冊のノートに合計508通の書簡が収められている。今年度は明治24年10月23日付から明治27年2月22日付まで292通の筆耕を実施した。筆耕に際しては古文書解読力と経験の豊かな研究者に委託し、その校訂を作業を研究代用者や分担者で実施した。残りの書簡(フランス語書簡を含む)については、次年度に筆耕をおこなう予定である。

これまでの筆耕を中心とした作業から判明した事実は、①川島はフランスをはじめ欧州の金融状況や貿易品の動向、政治状況などをつぶさに本店頭取などへ報告していることから、このような情報収集が当時の正金銀行在外出張員の業務の一つであったこと、②明治24年に断行された正金銀行の人員整理が、現頭取勢力と初代頭取勢力との対立に起因し、人員整理の結果、日本銀行から行員を招聘するなど、結果的に日本銀行と横浜正金銀行との関係が一層強化されることになったこと、③当時日本から欧州に派遣されていた外交官や留学生、企業人などの幅広い交流の実態がみられることなどが、資料的に明らかになった。また、正金銀行員の人名や履歴については正友会の協力を得て、所蔵資料の閲覧などを行うことができた。

次年度は残りの書簡の筆耕作業を継続するとともに、資料の分析をすすめて研究課題を解明するべく研究を実施する。

研究種目名：若手研究(B)

課題番号：19720037

研究課題：近代日本絵画史における鉛筆の意義

研究代表者：角田 拓朗

研究実績概要：本研究は、幕末明治期に本格的に日本に受容された「鉛筆」というツールについて、その美術史的・文化史的な営みを考察することを目的とする。とかく近代絵画の黎明が油彩画技法においてもたらされたことと先行研究では指摘されてきた。しかしながら、日本画・洋画ともに毛筆を用いるという共通点があり、その意味では油彩画技法に近代化の理由を求めることは行き過ぎの感も否めない。より簡便に利用可能であり、西洋美術教育と深く結びついた鉛筆は、絵画の近代化については知の近代化に大きな影響力を与えたと推測される。鉛筆と毛筆とを対照的に論じることで、近世から近代の文化史の変容を確認することが期待されるのである。以上の目的意識に基づき、本年は特に明治前半期の諸特徴について研究を進めた。高橋由一や松岡寿、あるいは工部美術学校や不同舎系統の作品を実見調査することで、それぞれの技術的なちがひ、あるいは鉛筆や紙の使用方法について考察を加えた。さらに平成22年度も一部調査を継続しておこない、報告書としてまとめる予定である。

研究種目名：若手研究(B)

課題番号：21720041

研究課題：中世鎌倉文化圏における絵画制作と外来文化受容に関する研究

研究代表者：梅沢 恵

研究実績概要：本研究は鎌倉幕府が開かれてから古河に鎌倉府が移転するまでの13～14世紀を中心に、鎌倉文化圏における絵画の制作および流通、宋・元時代絵画の受容の諸相を明らかにしようとする。

するものである。本年度は次のような調査、研究を主に行った。

1. 嘉元三年(1305)の年記を有する鎌倉・光明寺所蔵の「浄土五祖絵伝」をはじめ、1300年前後に鎌倉地方で制作されたと考えられる鎌倉派絵巻を中心に、今後の作品調査の対象となる絵画について美術全集、報告書等の刊行物から基礎的データを収集した。
2. 鎌倉幕府が開かれてから、鎌倉府が古河に移転するまでの間に鎌倉文化圏において制作され、流通し、受容された絵画の情報を収集。現存する絵画作例のほか、称名寺所蔵唐物関係史料などの文献史料についてもデータを採録した。
3. 宋・元時代の羅漢図や舶載画などを中心に東京、大阪等において作品調査を行なった。
4. 中国製の羅漢図の特徴としてあげられる「生身」的な表現や、実在する人物像を羅漢図に描き込む慣習が日本においてどのように理解されていたのかを報告した。(梅沢恵「羅漢図における「生身」性と其の受容」『アジア遊学』122号、2009)
5. 東国における密教図像の伝播を日蓮自筆の図像の典拠を例に論じた。  
(梅沢 恵「日蓮筆『不動愛染感見記』について」『鎌倉の日蓮聖人』(展覧会図録)神奈川県立歴史博物館、2009)

### (3) 個人研究活動

#### ア 研究報告書

『神奈川県立博物館研究報告 一人文学』 第36号 平成22年3月31日発行

表 題：資料紹介「足柄神社の木造男神坐像について」

執筆者：薄井 和男

要 旨： 足柄神社に祀られている男神像の調査を実施、その報告として資料紹介を執筆した。本像は、等身大の束帯形神像で、造形上の特徴から制作は鎌倉時代末期に遡ることが判明した。中世彫刻としての優れた写実性をそなえた像であり、神奈川の神道彫刻史に、今後、重要な位置をもつ作例といえる。

キーワード：足柄神社・神像・鎌倉彫刻・玉眼

表 題：資料紹介「木版画摺師 正文堂の仕事」

執筆者：桑山 童奈

要 旨： 昭和初期に横浜市内で正文堂という屋号で木版画摺師業を営んでいた個人から、平成18年、当館は資料の寄贈をうけた。資料には、納品されなかった製品、版木、道具類があった。製品にはお菓子などの懸紙、クリスマスカード、マッチラベル、団扇絵など日常生活に必要とされたものが多い。また、仕事を請け負っていた先には横浜市内の商店が多く、その商標デザインは横浜にあった商店の歴史を示す資料でもある。正文堂の資料は、それほど遠くない過去の日常生活の場にあった木版画製品生産の終焉期を雄弁に語る貴重な資料である。未だ資料整理の途中ではあるが、現在までに調査したことから正文堂の仕事の概要を紹介する。

キーワード：木版画・摺師・昭和

表 題：資料紹介「神奈川県立歴史博物館所蔵近代版画コレクション」

執筆者：角田 拓朗

要 旨： 当館所蔵の明治以後の版画群について、丹波コレクション等以外に収蔵したもの、約330点を目録化した。その多くが明治年間の石版画であり、平成13年度特別展「王家の肖像」に関連して収集されたものである。近年、石版画研究がすすんだこともあり、本目録にはあわせて丹波コレクションにある石版画群も紹介した。

キーワード：石版画・印刷史

表 題：資料紹介「横浜正金銀行券について(Ⅱ)－旧横浜正金銀行資料コレクションの紹介 その3－」

執筆者：寺寄 弘康

要 旨： 『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第34号に続き、当館所蔵の横浜正金銀行券(持参人一覧払約束手形)をもとに、その発行の経緯と券面様式の特徴について検討を加えた。その結果、従来指摘されてきた横浜正金銀行券の発行種類93種は89種であったこと、券面様式の微妙な差異があることについて、銀行券の偽造防止対策にあったことなど、横浜正金銀行が提出した書類などにより明らかにした。

キーワード：横浜正金銀行・資料コレクション・銀行券

## イ 個人研究活動

〈凡例〉※刊行年などは西暦で統一

- 1 著作
  - (1)単著・共著・学術論文
  - (2)書評・余録
  - (3)資(史)料紹介
- 2 学術口頭報告
- 3 図録執筆・解説書執筆
- 4 新聞・雑誌等への寄稿
- 5 各種調査委員会等
- 6 講座講師等
- 7 ここ1年間の課題・研究テーマ

### (企画普及課)

鳥居 和郎(企画普及課長・専門学芸員・歴史・中世)

- 2 基調報告「後北条氏一族の戦さと暮らし」(玉縄城築城五百年祭実行委員会、2009年11月)  
シンポジウムパネラー「武家の古都鎌倉に後北条氏が遺したもの」  
(玉縄城築城五百年祭実行委員会、2009年11月)
- 3 『鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰生活』(資料解説執筆、神奈川県立歴史博物館、2009年10月)
- 5 箱根町文化財保護委員会委員  
小田原市郷土文化館協議会委員
- 6 藤沢市生涯学習大学講師  
「北条氏と東国文化」(2009年6月4日)  
おだわらシルバー大学講師  
「北条早雲」(2009年10月29日)  
「北条氏綱・北条氏康」(2009年11月5日)  
「北条氏政・北条氏直」(2009年11月26日)  
「北条幻庵」(2009年12月17日)
- 7 児童・生徒などに向けた教育普及ツールの開発。および後北条氏の外交関係史料の再検討。

### (情報資料課)

井上 久美子(技幹)

- 5 文化財写真技術研究会
- 7 生命の星地球博物館ポスター用絵画 撮影(2009年5月29日)  
静岡県教育委員会 彫刻 調査(2009年9月7日～8日)  
生涯学習文化財課 文化財保護ポスター 撮影(2009年10月14日)  
時宗文化財調査 文化財 撮影(2009年6月28日～7月1日、12月5日～9日)  
鎌倉国宝館 彫刻 撮影(2009年11月24日)  
県立金沢文庫 彫刻 撮影(2010年2月24日)

### (学芸部)

薄井 和男(学芸部長・美術・中世)

- 1(1)『時宗文化財報告書 第2集』「彫刻の部」、pp.10-31、2009年7月、時宗文化財専門委員会

- (2) 「概説・慶覚院木造地藏菩薩坐像について」『大磯町文化財調査報告書第四八集』、pp. 5-11、2010年3月、大磯町教育委員会
- (3) 「資料紹介 足柄神社の木造男神坐像について」『神奈川県立歴史博物館研究報告(人文科学)』第36号 pp. 1-12、2010年3月
- 5 相模原市文化財専門委員  
逗子市文化財保護専門委員  
厚木市文化財専門委員  
川崎市文化財審議委員  
大磯町文化財専門委員
- 7 おだわらシルバード大学講師「おだわらの仏像」(2009年9月)
- 8 県内所在神社の神像彫刻に関する基礎調査を行った。

國平 健三(専門員・考古)

- 1(1) 「相模国にみる古代寺院の展開-宗元寺跡の忍冬交飾蓮華文軒丸瓦の系譜と年代をめぐって-」  
(『神奈川地域史研究』第27号、pp. 2-93、2010年1月)
- 8 相模国で出土する凸面格子叩き整形による古代瓦の資料収集と生産瓦窯の調査を行った。

古川 元也(主任学芸員・歴史・中世)

- 1(1) 「中世日蓮教団と足利尊氏の残像-摩利支天画像の添状から-」  
(特別展図録『鎌倉の日蓮上人』所収論文、pp. 150-153、神奈川県立歴史博物館、2009年10月)
- (2) 「『中世の葬送・墓制』を読む」  
(水藤真著『中世の葬送・墓制 石塔を造立すること』に所収、吉川弘文館、2009年11月復刊)  
「特別展『鎌倉の日蓮聖人-中世人の信仰世界-』展を終えて」  
(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻182号、神奈川県立歴史博物館編、2009年11月、pp. 2-5)
- (3) 「新収蔵資料紹介 「六波羅施行状」について」  
(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻182号、神奈川県立歴史博物館編、2009年11月、p. 6)
- 3 特別展図録『鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界』  
(編著、神奈川県立歴史博物館、2009年10月、pp. 1-192)
- 4 特別展関連記事『毎日新聞』  
「貫禄ある風貌の奥に温かみ」(2009年10月20日)、「教団の発展目指した師弟」(同21日)、  
「信仰を受け入れた有力者たち」(同27日)、「財力に飽かした信仰を非難」(同28日)、  
「多様化した信仰と多くの伝説」(同29日)  
「鎌倉の日蓮さん-県立歴史博物館特別展「鎌倉の日蓮聖人展」を終えて-」  
(『有隣』第505号、2009年12月、p. 4)
- 5 国立歴史民俗博物館共同研究員  
三田史学会(慶應義塾大学)委員会委員  
日本古文書学会大会運営委員・『古文書研究』(吉川弘文館)編集委員
- 6 日本史巧究会(早稲田大学)見学会講師(2009年5月17日、於江ノ島)  
かながわ遊学セミナー講師「鎌倉～室町時代の神奈川湊と寺院」  
(2009年6月3日、於神奈川県地区センター)  
神奈川検定協議会講師「神奈川県の中世あれこれ-鎌倉と小田原-」  
(6月17日、於神奈川新聞社大会議室)  
かねさわ歴史の会講師「後醍醐天皇と綸旨」(2009年11月25日、於能見台地区センター)  
[秋季特別展にかかわる講座]  
かねさわ歴史の会講師「鎌倉妙本寺の寺宝について」(2009年8月19日)、「中世東国の日蓮信仰」  
(9月16日、於能見台地区センター)  
神奈川県文化財協会第5回見学会(2009年10月21日、於当館)  
県博講座「中世東国の日蓮信仰」第1回「中世人の信仰と日蓮教団」(2009年10月24日、於当館)  
国宝史蹟研究会(2009年11月1日、於当館)  
鎌倉五輪会講師(2009年11月6日、於当館)  
鎌倉研究会講師(2009年11月11日、於当館)

鎌倉市教養講座講師（2010年2月8日、於鎌倉市教養センター）

- 7 日本中世宗教文化史の研究。特に本年度は日蓮教団を中心に研究を展示に発展させた。また継続的研究として、石造供養等をはじめとする非文献資料を調査・研究し、総合的な歴史復元に資することが出来る部分の検証を試みた。

梅沢 恵(学芸員・美術・中世)

- 1(1)「羅漢図における『生身』性とその受容」『アジア遊学』122号、pp.81-89、勉誠出版、2009年5月
- (1)「日蓮筆『不動愛染感見記』について」『鎌倉の日蓮聖人』(展覧会図録)pp.154-157、神奈川県立歴史博物館、2009年10月
- 3 特別展『美しきアジアの玉手箱—シアトル美術館所蔵日本・東洋美術名品展』(サントリー美術館、他巡回、2009年7月)作品解説  
特別展『鎌倉の日蓮聖人』(神奈川県立歴史博物館、2009年10月)作品解説、論文
- 5 横浜市文化財総合調査主任調査員
- 7 第三回県博講座講師「中世日蓮教団絵画の多様性」、2009年11月7日
- 8 館蔵の中近世絵画に関する調査研究および平成21年度科学研究費若手研究(B)「中世鎌倉文化圏における絵画制作と外来文化受容に関する研究」に関連した調査研究を中心に行った。

長田 平(専門員・民俗)

- 1(2)「県博とともに」(神奈川県博物館協会研修会「昭和・平成を駆け抜けた博物館人」)
- 5 愛川町新郷土資料館運営委員会委員  
葉山町文化財保護委員会委員
- 8 技術伝承／竹製民具／流通民具／年中行事

鈴木 通大(専門員・民俗)

- 1(1)「公開シンポジウム いま、なぜ『民具』研究か」(共著)(『民具研究』第140号、日本民具学会、pp.1-23、2009年9月)
- (1)「霊山信仰にみる死者供養の諸相～神奈川県域の事例を中心に～」(田中宣一先生古稀記念論集編集委員会編『神・人・自然 民俗的世界の相貌』慶友社、pp.214-234、2010年2月)
- (1)『大和市の民間信仰』(共著)「大和市文化財調査報告書 第91号」、2010年3月
- (3)「柳田國男が収集した七夕人形」  
(『民具マンスリー』42-11、神奈川大学日本常民文化研究所、pp.23-24、2010年2月)
- 5 文化庁文化審議会専門委員  
大和市文化財保護審議委員
- 6 千代田区高齢者大学講演会「病いと民俗学～絵馬・御符からよむ健康祈願の諸相～」  
(2009年5月22日)  
おだわらシルバー大学講座「小田原の民俗 生業・労働・交通交易」(2010年7月23日)  
教員のための博物館講座「道具が語る昔の暮らし～民俗学から何がわかるか?～」(2009年8月7日)  
おだわらシルバー大学講座「小田原の民俗 年中行事」(2010年11月5日)
- 7 境川流域のサバ神社／絵画資料にみる妖怪・天狗／茶湯寺参り／先祖供養と他界観

寺寄 弘康(専門学芸員・歴史・現代)

- 1(3)「資料紹介 横浜正金銀行券についてⅡ —旧横浜正金銀行資料コレクションの紹介 その3—  
(『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第36号、pp.57-82、2010年3月)
- 3 特別展図録『福澤諭吉と神奈川—すべては横浜にはじまる』(編著、慶應義塾、2009年8月)
- 4 「道路整備による箱根振興を提言」(『SANKEI EXPRESS』、2009年9月5日)  
特別展関連記事『神奈川新聞』  
「起業家 国の独立は国富によって」(『神奈川新聞』、2009年9月9日)、「英語—すべては横浜から始まった」(同11日)、「海外体験 荒海の旅でも意気軒昂」(同14日)、「福住旅館主人 箱根ではぐくんだ交流」(同16日)、「Y校 継承される『独立自尊』」(同21日)  
『福澤諭吉と神奈川』展を終えて」(『慶應義塾福澤研究センター通信』第12号、2010年3月31日)
- 5 横須賀市史専門委員

首都圏形成史研究会常任委員

- 6 福澤諭吉記念講演会 2009年7月9日 慶應義塾湘南藤沢高等部  
福澤諭吉記念講演会 2009年7月14日 慶應義塾湘南藤沢中等部
- 7 横浜正金銀行頭取及役員の旧蔵資料を収集し、その整理と分析を進めている。

古宮 雅明(専門学芸員・歴史・近世)

- 1(3)「江戸時代の地図・絵地図」展によせて—当館所蔵の江戸時代地図の紹介—  
(『神奈川県立博物館だより』通巻181号 pp.6-8、2009年10月30日)
- 3 『社寺縁起伝説辞典』(志村有弘・奥山芳広編、戎光祥出版、2009年)項目執筆  
特別展『福澤諭吉と神奈川—すべては横浜にはじまる』資料解説執筆
- 5 日本史教材開発委員会委員(神奈川県教育委員会委嘱)  
神奈川県博物館協会幹事(人文部会)・同協会報編集委員
- 6 県立教育センター夏季研修講座講師「博物館資料を教材に活用する—江戸時代の地図を素材として—」  
(2009年8月14日)
- 7 近世地方文書を通じて地域住民の生活の諸様相を探っている。引き続き、富士山宝永噴火による被災と復興に焦点をあてて、調査・研究を進めている。また、館蔵資料を中心に江戸時代の地図類を調査し、その成果を生かしてコレクション展示を行った。近世神奈川県域の庶民文化の様相を探るため「道中記」の調査・分析を進めた。総合研究『『異形』イメージの形成と展開—歴史学・民俗学・美術史学による共同研究』のメンバーとして、「天狗」をメインテーマとした調査・研究を進めた。

嶋村 元宏(主任学芸員・歴史・近代)

- 1(1)「アジアの中の日本開国」(神奈川県立歴史博物館編『神奈川開港・開国150周年メモリアルイベント—横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流—』神奈川県立歴史博物館、2009年4月24日)pp.7-16
- (1)「日英外交と異文化交流—エルギン伯爵の日本滞在3週間」(神奈川県立歴史博物館編『日英友好150年の礎を築く—第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展』(第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展実行委員会、2009年10月9日)pp.17-20
- 2 「横浜開港百五十年」(洋学史学会、於神奈川県立歴史博物館、2009年6月10日)
- 3 『神奈川開港・開国150周年メモリアルイベント—横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流—』  
(編著、神奈川県立歴史博物館、和文136p.英文24p.、2009年4月24日)  
『日英友好150年の礎を築く—第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展』(神奈川県立歴史博物館編、第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展実行委員会発行、24p.、英文併記、2009年10月9日)
- 4 特別展開連記事『毎日新聞』  
「特別展—横浜開港百五十年展—①繁栄の象徴としての“黒船”」(2009年8月22日)、「③“素人”外交官のハウ・ツー本」(同29日)、「④メイド・イン・ヨコハマ」(同9月5日)  
特別展開連記事『神奈川新聞』  
「日英交流の源流—エルギン使節団と横浜開港—2—修好通商条約」(2009年9月12日)、「3—江戸文化—」(同19日)、「4—贈答品—」(同26日)
- 5 アジア・ヨーロッパ・ミュージアム・ネットワーク国際巡回展委員  
神奈川県博物館協会—横浜開港150周年記念事業実行委員会—事務局員  
独立行政法人日本学術振興会—特別研究員審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員
- 6 県立機関活用講座(県博セミナー)「横浜—近代を切り開いた国際貿易港—」講師(於神奈川県立歴史博物館、2009年5月9日)  
特別展—横浜開港百五十年—記念講演会「日本の開国とアジア—再考—日米修好通商条約成立過程前史—」講師(於神奈川県立歴史博物館、2009年5月10日)  
やまざくら生涯学習講座「開港時横浜における治安維持について」講師(於神奈川県立歴史博物館、2009年5月16日)  
—海フェスタよこはま—「海の道—船の安全パネル展—トークショー—横浜開港—」講師(海フェスタよこはま実行委員会、於ランドマーク・プラザ、2009年7月18日)  
長津田住民有志の会「横浜開港と近代化」講師(於神奈川県立歴史博物館、2009年8月18日)  
戸塚区小学校教員研修会「社会科教材研修」講師(於神奈川県立歴史博物館、2009年8月27日)  
青学オープンカレッジ2009夏期講座「アジアの中の日本開国—再考—日米修好通商条約成立過程—」

講師(於青山学院大学青山キャンパス、2009年9月5日)  
高齢者学級 第6回歴史講座「横浜開港150年を学ぶⅡ 横浜開港と相模原」講師  
(相模原市立小山公民館、2009年10月28日)  
歴史講座「日本の開国と神奈川」講師(相模原市立大沼公民館、2009年11月25日)  
海と船の博物館ネットワーク研修会

- 「支援館による事例発表 神奈川県立歴史博物館 特別展横浜開港百五十年の事例」報告者  
(船の科学館・海と船の博物館ネットワーク主催、於船の科学館、2010年3月7日)
- 7 「19世紀中葉の国際秩序の変容」をテーマに研究を進めている。本年度は、開港150年の節目にあたったことから、特別展「横浜開港百五十年」の開催、およびその関連行事として「開港場の諸相」をテーマとした連続講座のコーディネートにより、これまでの研究成果の一部を広く一般県民へ提供した。また、英国エルギン伯爵家に伝わる絵画および工芸品を実見する機会を得られ、幕末期における日英文化交流について考察した。

桑山 童奈(主任学芸員・美術・近世)

- 1(1)「五雲亭(歌川)貞秀の横浜鳥瞰図研究」『鹿島美術研究』年報26号、pp.404-413、2009年  
1(3)「資料紹介 木版画摺師 正文堂の仕事」『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』  
第36号、pp.13-24、2010年  
3 『写楽 幻の肉筆画 ギリシャに眠る日本美術—マノスコレクションより』資料解説2件  
読売新聞東京本社、2009年  
特別展『福澤諭吉と神奈川 すべては横浜にはじまる』資料解説10件  
慶應義塾・神奈川県立歴史博物館、2009年  
『夢と追憶の江戸 —高橋誠一郎浮世絵コレクション名品展—』資料解説65件 慶應義塾、2009年  
『スポルディングコレクション名作選』資料解説5件 小学館、2009年  
4 「かながわ郷土史展望 学芸員ネットワーク 五雲亭貞秀の横浜浮世絵」『神奈川新聞』(2009年11月25日)  
5 国際浮世絵学会企画委員  
6 厚木市郷土資料館「横浜絵の魅力」(2009年6月6日)  
7 館蔵丹波コレクション資料の調査、研究のほか、特別展『福澤諭吉と神奈川 すべては横浜にはじまる』を担当した。

丹治 雄一(学芸員・歴史・近代)

- 1(1)「日本銀行本店と横浜正金銀行本店の共通点 —地下金庫室の内装と建具について—」(特別展図録『彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで—』、神奈川県立歴史博物館、2010年2月、pp.98-99)  
3 特別展図録『彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで—』(編著、神奈川県立歴史博物館、2010年2月)  
4 特別展関連記事『読売新聞』  
「神奈川の近代建築 1 旧横浜正金銀行本店本館 焼失ドーム創建時を再現」(2010年2月25日)、  
「2 前神奈川県庁舎(3代目) 現存せぬ壮麗さ資料から」(同2月27日)、「3 横浜郵船ビル(現日本郵船歴史博物館) 圧巻円柱16本の細密さ」(同3月3日)、「4 福住旅館金泉楼・萬翠楼 見よう見まね棟梁も苦心」(同4日)  
『神奈川県立歴史博物館だより』通巻183号、pp.2-5、2010年3月  
「特別展『彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで—』について」  
5 首都圏形成史研究会常任委員・運営委員  
6 MUFJ エクステンションカレッジ講師「旧横浜正金銀行本店本館について」(2009年10月17日、当館)  
神奈川県文化財協会平成21年度第7回見学会講師「特別展 彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで—について」(2010年2月25日、於当館)  
横浜シティガイド協会研修会講師「特別展 彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで—の展示内容と旧横浜正金銀行本店本館建物について」(2010年3月13日、於当館)  
横浜郷土史団体連絡協議会研修会講師「特別展 彩色立面図に見る日本の近代建築 —銀行・オフィスビルから邸宅まで— 前期 神奈川県編・後期 銀行建築編の展示内容について」(2010年3月17日、於当

館)

神奈川県建築士会県庁職域支部見学会講師「特別展 彩色立面図に見る日本の近代建築 ―銀行・オフィスビルから邸宅まで― 前期 神奈川県編・後期 銀行建築編の展示内容について」(2010年3月19日、於当館)

- 7 旧横浜正金銀行本店本館(現当館)の建築史的研究を継続させるとともに、神奈川県内の近代洋風建築と全国の近代銀行建築に関する調査を行い、その成果を特別展「彩色立面図に見る日本の近代建築」および同展の図録等で発表した。

角田 拓朗(学芸員・美術史・近代)

- 1(1)「西洋絵画への目覚め―五姓田派の軌跡―」(『日本藝術の創跡 2009年度版』、pp.128-131、世界文藝社、2009年4月)  
「五姓田派の絵師 土方力三郎」(『幕末史研究』43号、pp.144-157、三十一人会、2009年7月)  
「ポップでキッチュでパンクな面々―コレクション展「奇妙奇天烈!? 明治の版画あれこれ」によせて」(『神奈川県立歴史博物館だより』Vol.15 No.3、pp.6-8、神奈川県立歴史博物館、2010年3月)
- (2)「編集後記」『横田洋一論文集 リアリズムの見果てぬ夢―浮世絵・洋画・写真―』、pp.315-318、横田洋一論文集刊行会、2009年9月
- (3)「資料紹介 神奈川県立歴史博物館所蔵近代版画コレクション」(『神奈川県立博物館研究報告-人文科学-』36号、pp.25-56、2010年3月)
- 2 「初代五姓田芳柳事歴考―横田洋一氏が追究した「横浜美術史」と「リアリズム」」(第2回版画史研究会「幕末明治のヨコハマ美術」、於神奈川県立歴史博物館講堂、2009年9月26日)
- 3 特別展図録『横浜開港百五十年―神奈川・世界との交流―』(作品解説、神奈川県立歴史博物館、2009年4月)  
特別展図録『福澤諭吉と神奈川―すべては横浜にはじまる』(作品解説、慶應義塾・神奈川県立歴史博物館、2009年8月)
- 4 「横浜開港百五十年 神奈川・世界との交流 2」(『毎日新聞』2009年4月29日)
- 7 企画展「五姓田 GOSEDA―明治新潟の人々を描いた絵師― 関連講演会「五姓田派って何?―新潟での活動を中心に―」(於新潟市歴史博物館、2009年5月10日)  
第30回「馬車道を描く日曜画家展」審査・講評会講師(於馬車道アートギャラリー、2008年12月13日)
- 8 五姓田派、チャールズ・ワグマンの作品に関する基礎調査。ならびに、日本の石版画・印刷史についての基礎調査。なお、2008年に開催した特別展「五姓田のすべて」の図録論文とその企画に対して、平成21年12月、第21回倫雅美術奨励賞を受賞した。

## 4 資料収集・整理・保管

〈凡例〉

ア 購入、 イ 寄贈・寄託・借用、 ウ 修理、 エ 貸出、 オ 特別利用、 カ その他

### (1) 考古資料

イ 寄贈・寄託・借用

(借用)

No.	資料名	件一点	当初借用年月日
1	古瀬戸瓶子	1件1点	昭和45年9月1日
2	宗元寺軒瓦外	1件1,088点	昭和46年1月1日
3	草創期の石器(慶應義塾湘南藤沢キャンパス内遺跡)	1件20点	平成7年2月10日
4	壺(横須賀高校裏山遺跡) 外	1件3点	平成7年2月10日
5	饒益神宝(中原上宿遺跡出土)	1件1点	平成8年3月1日
6	茅ヶ崎市出土板碑関係(梵字板碑、破片)	1件4点	平成20年7月1日
7	藤沢市代官山遺跡出土土器 外	1件283点	平成21年3月1日
	合計	7件1,400点	

エ 貸出

No.	申請者・目的	資料名	件一点	利用方法	利用期間
1	横浜市歴史博物館 企画展「考古学って何？」	鹿角製陶頭鉢 (間口洞窟出土品)	1件1点	展示	H22/3/29~5/30
2	鶴岡八幡宮 「応神天皇一七〇〇年式年大祭特別展」	土師器 高坏	1件1点	展示	H22/3/30~6/30
		土師器 高坏	1件1点		
		土師器 坏	1件1点		
		石釧	1件4点		
		石鏡	1件1点		

### (2) 歴史資料

ア 購入

No.	資料名	件一点
1	北条貞房下知状(六波羅施行状)	1件1点

※資料紹介

名称 「北条貞房下知状(六波羅施行状)」延慶二年(1309)五月八日付  
 員数 一幅  
 法量 33.0×51.8 cm  
 積文 東勝寺長老土雲申、美濃  
 國二木郷内、法藏寺事、  
 右、任去年十二月十日関東  
 御下知、可致沙汰之状、如件、  
 延慶二年五月八日  
 前越前守平朝臣(花押)

説明 本文書は鎌倉幕府執権北条氏と関わりの深い東勝寺に関する文書であるばかりでなく、住持南山土雲と幕府の関わりがわかるものである。南山土雲(臨濟宗聖一派)は円覚寺や建長寺、寿福寺ともゆかりのある禅僧であり、土雲が東勝寺の長老である時期に、法藏寺の安堵(支配権利)申請をしたことが分かる上でも、宗教史、政治史的に重要な史料である。

## イ 寄贈・寄託・借用

(寄贈)

No.	寄贈主	資料名	件一点
1	個人(横須賀市在住)	高野捨吉撮影写真ガラス乾板	1件308点
2	個人(東京都在住)	岡田家文書	702件819点
3	個人(横浜市在住)	留袖 帯 紋付き羽織 袴 櫛 簪 筭	1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件2点 1件1点

(寄託)

No.	資料名	件一点	当初寄託年月日
1	帝政ロシア製32ポンド砲(旧居留地90番出土の大砲)	1件1点	平成16年2月1日

(借用)

No.	資料名	件一点	当初借用年月日
1	烏帽子形兜	1件1点	昭和43年10月22日
2	刀片(三増合戦場出土)	1件1点	昭和47年6月10日
3	関山家文書	1件24点	昭和47年9月8日
4	久崎家文書	1件730点	昭和47年9月13日
5	坂本家文書	1件1点	昭和48年6月1日
6	瀬戸 四耳壺 外	1件3点	昭和48年7月1日
7	渥美灰釉壺 外	1件6点	昭和48年10月1日
8	本多家文書	1件953点	昭和49年3月1日
9	御用取締りのぼり	1件1点	昭和49年4月26日
10	嘆願書	1件1点	昭和52年3月23日
11	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛)	1件5点	昭和52年12月1日
12	舊荻野山中建物之繪図 外	1件19点	昭和53年12月1日
13	寺井家文書	1件16点	昭和55年2月15日
14	散弾銃	1件1点	昭和55年4月1日
15	羽柴秀吉知行行状 天正11年6月5日付	1件1点	昭和58年5月20日
16	平本家文書	1件1,309点	昭和58年10月14日
17	黒船来航絵巻	1件1点	平成4年5月15日
18	日月鳳凰螺鈿鞍	1件1点	平成4年11月1日
19	旧小田原城天守閣模型	1件1点	平成5年12月15日
20	辰御年貢可納割付之事 外	1件2点	平成6年7月20日
21	享保14年9月酉之内検見引牒 外	1件22点	平成6年10月7日
22	黒地竹矢来に小花模様小袖裂 外	1件13点	平成8年2月1日
23	長禄元年銘板碑1点 同破片1点	1件2点	平成13年5月1日
24	桜井武兵衛覚書 外	1件6点	平成17年3月1日
25	中国青磁 碗 線描き蓮弁文 外	1件50点	平成18年6月1日
26	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料一括	1件1点	平成20年9月1日
	合計	26件3,171点	

## エ 貸出

No.	申請者・目的	資料名	件一点	利用方法	利用期間
1	長野県立歴史館 「善光寺信仰 一流転の遍歴の勸化」	一遍上人立像(レプリカ)	1件1点	展示	H21/3/16 ~6/19
		紙本著色一遍上人像	1件1点		
2	横浜市歴史博物館 「海賊 一室町戦国時代の 東京湾と横浜」	豊臣秀吉朱印状	1件1点	展示	H21/3/28 ~5/20
		北条家浦湊制禁状	1件1点		
		北条家舟手形朱印状	1件1点		
		北条氏康書状	1件1点		

		小田原陣仕寄図(複製)	1件1点		
		北条氏綱画像(複製)	1件1点		
		北条氏直画像(複製)	1件1点		
		北条氏康画像(複製)	1件1点		
3	文化庁 「侍の芸術」	重要文化財 鉄二十八間四方白星兜	1件1点	展示	H21/9/10 ～ H22/2/10
4	相模原市立博物館 「市民と歩いた“横浜への道”」	神奈川県管内図(明治初期)	1件1点	展示	H21/9/18 ～11/25
		相模武蔵二州図(明治12年)	1件1点		
		横浜御開港御触書並願書控(安政6年)	1件3点		
		願書本文之廉書写(万延元年)	1件1点		
		差出一札写 弁天通商店(万延元年)	1件1点		
		商法取建方之儀奉願上候処心得方御尋二付恐存奉申上候書付(五ヶ町商人より御運上所)(万延元年)	1件1点		
		願書写(万延元年)	1件1点		
		五ヶ町議定連判帳写(万延元年)	1件1点		
		乍恐以書付奉願上候(五品江戸廻し令に關して)(万延元年・A1295)	1件1点		
		乍恐以書付奉願上候(五品江戸廻し令に關して)(万延元年・A1306)	1件1点		
		願書写(万延2年)	1件1点		
		横浜出店願書写(万延元年～文久元年)	1件1点		
		江戸糸問屋江掛合仕対請いたし候手続御会所ヨリ御尋二付申立候書面之写(生糸売込商人惣代より江戸糸問屋御年寄衆中宛)(文久元年)	1件1点		
		江戸糸問屋江掛合同始末書町会所江差出候(文久元年)	1件1点		
		商方掛役割帳(慶応元年)	1件1点		
5	佐賀県立名護屋城博物館 「肥前名護屋城と 「天下人」秀吉の城」	豊臣秀吉書状 (天正18年)5月14日付	1件1点	展示	H21/9/25 ～12/4
6	寄居町教育委員会 「北条安房守と真田安房守」	鉄黒漆塗四十八間筋兜鉢	1件1点	展示	H21/9/30 ～10/28
7	福井県立歴史博物館 「龍」	存星龍文平卓	1件1点	展示	H21/10/7 ～11/27

## オ 特別利用

No.	申請者・目的	資料名	件-点	利用方法	利用期間
1	個人 調査研究	ペリー献上上記機関車模型	1件1点	閲覧・撮影	H21/4/8
2	相模原市立博物館 企画展開催に伴う展示資料調査	神奈川県管内図(明治初期)	1件1点	閲覧・撮影	H21/5/20
		相模武蔵二州図(明治12年)	1件1点		
		横浜御開港御触書並願書控(安政6年)	1件1点		
		願書本文之廉書写(万延元年)	1件1点		
		差出一札写 弁天通商店(万延元年)	1件1点		
		商法取建方之儀奉願上候処心得方御尋二付恐存奉申上候書付(五ヶ町商人より御運上所)(万延元年)	1件1点		
		願書写(万延元年)	1件1点		
		五ヶ町議定連判帳写(万延元年)	1件1点		
		乍恐以書付奉願上候(五品江戸廻し令に關して)(万延元年)	1件1点		

		願書写(万延2年)	1件1点		
		横浜出店願書写(万延元年～文久元年)	1件1点		
		江戸糸問屋江掛合仕対請いたし候手続御会所ヨリ御尋ニ付申立候書面之写(生糸売込商人惣代より江戸糸問屋御年寄衆中宛)(文久元年)	1件1点		
		江戸糸問屋江掛合同始末書町会所江差出候控(文久元年)	1件1点		
		横浜商人手控(慶應元年)	1件1点		
		商方掛役割帳(慶應元年)	1件1点		
3	NHK制作局第2制作センタードラマ番組 番組制作における美術セットの参考資料	黒船模型	1件1点	撮影	H21/7/9
4	個人 『銃砲史研究』掲載	シャスポー銃	1件1点	閲覧・撮影	H21/9/10
5	個人 日本のオフィスの変遷に関する調査研究	横浜正金銀行本支店アルバム	1件1点	閲覧・撮影	H21/12/4
6	個人 高校生用教材作成のため	イラストレイテッドロンドンニュース(1872年12月7日、21日、28日)	1件3点	調査・撮影	H21/1/20
7	個人 旧正金調査部資料調査	満州幣制ニ関スル意見書 満州幣制ニ関スル意見書 第1回東洋支店長会議録 第2回東洋支店長会議録	1件1点 1件1点 1件1点 1件3点	閲覧・複写	H21/2/26
8	個人 科研費調査	西洋事情図解	1件1点	閲覧・撮影	H21/2/28

### (3) 美術資料

#### イ 寄贈・寄託・借用

(寄贈)

No.	寄贈主	資料名	件一点
1	個人(横浜市在住)	紙本金地著色 鶴図屏風	1件2点
2	個人(横浜市在住)	眞葛焼他陶磁類	1件29点

(寄託)

No.	資料名	件一点	当初寄託年月日
1	江の島関係浮世絵コレクション	88点	昭和56年4月1日
2	仏餉鉄鉢 外	4点	昭和56年10月1日
3	重要文化財 木造他阿真教坐像	1点	平成17年5月24日
4	束帯天神像 外	10点	平成21年4月24日
5	祖栄筆 柳に鷺図 外	8点	平成21年8月1日
6	眞葛焼	19点	平成22年3月1日
	合計	6件130点	

(借用)

No.	資料名	件一点	当初借用年月日
1	県重要文化財 紙本淡彩 十六羅漢図	1件17点	昭和44年3月1日
2	県重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図	1件1点	昭和44年3月1日
3	県重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 外	1件37点	昭和44年7月1日
4	東山天皇即位図屏風	1件1点	昭和47年6月17日
5	常滑印花文壺 外	1件12点	昭和48年3月1日

6	山本芳翠作「富士の図」	1件1点	昭和48年8月22日
7	材木座海岸採集青磁青白磁白磁片	1件1点	昭和49年3月1日
8	青磁白磁青白磁片	1件1点	昭和49年3月1日
9	東海道図屏風	1件1点	昭和49年7月1日
10	源氏物語諸図屏風	1件1点	昭和50年3月10日
11	賀茂真淵筆「伊勢物語古意」外	1件20点	昭和50年4月23日
12	絹本着色 七星如意輪曼荼羅図	1件25点	昭和50年6月1日
13	横浜浮世絵	1件473点	昭和52年1月10日
14	張交屏風	1件1点	昭和52年7月15日
15	下村観山デスマスク 外	1件86点	昭和53年4月1日
16	木造薬師如来坐像	1件1点	昭和56年2月25日
17	大小暦コレクション(長谷部コレクション)	1件40点	昭和59年4月1日
18	下村観山筆「双六」	1件1点	昭和59年7月1日
19	司馬江漢筆「海岸風景図」	1件1点	昭和60年12月1日
20	以天宗清筆「鴉図」 外	1件2点	昭和63年7月7日
21	短刀(チャールズ・ワーグマン使用)	1件1点	平成2年8月25日
22	江島金沢八景図屏風 外	1件4点	平成4年12月1日
23	「本牧風景」 外	1件2点	平成5年6月15日
24	鶴岡八幡宮境内出土品の内	1件19点	平成7年3月1日
25	梵鐘	1件1点	平成10年1月1日
26	仁清意鶏形香合 外	1件4点	平成12年3月1日
27	俵藤太絵巻	1件5点	平成12年5月1日
28	「水辺の風景」チャールズ・ワーグマン作	1件1点	平成12年5月1日
29	喜多川歌麿「好色十二候」外	1件12点	平成12年12月20日
30	箱根権現縁起絵巻 付 納入箱	1件2点	平成13年8月1日
31	下村観山筆 闘鶏下絵 外	1件3点	平成21年3月1日
	合 計	31件777点	

## エ 貸出

No.	申請者・目的	資料名	件一点	利用方法	利用期間
1	国立国際美術館 ASEMUS 国際巡回展 「Self and Other アジアとヨーロッパの肖像」	黒船絵巻	1件1点	展示	H20/8/31 ～ H21/4/3
		肉筆 ベルリ像	1件1点		
		横浜写真アルバム(D)	1件1点		
		武州横浜八景之内 美代崎乃秋の月	1件1点		
		武州横浜名所図 清国南京 美よさき町 (歌川芳虎)	1件1点		
		魯西亜婦人港崎遊覧	1件1点		
		横浜商家異人之図 イギリス人 ナンキン人(五雲亭貞秀)	1件1点		
		生写異国人物 払郎察小娘引犬散歩之図 シヤム人(五雲亭貞秀)	1件1点		
		生写異国人物 魯西亜人飼羅紗羊之図 (五雲亭貞秀)	1件1点		
		横浜商家異国人之図 フランス (五雲亭貞秀)	1件1点		
		外国人子供遊戯之図(一川芳員)	1件1点		
		外国人夜学之図(一川芳員)	1件1点		
		蛮国人物図会 阿蘭陀国王(一英斎芳艶)	1件1点		
		スエズの喫茶店での英国士官候補生 (チャールズ・ワーグマン)	1件1点		
		マルタ、アレキサンドリア間 (チャールズ・ワーグマン)	1件1点		
		中国でのスケッチ(チャールズ・ワーグマン)	1件1点		
		香港のレース、1シリングのスタンド	1件1点		

		(チャールズ・ワグマン) 凧の日、昼食後の船尾 (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		スエズの波止場で荷下ろし (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		サイパン(中国の船) (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		中国の少女たち(チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		九重廻団欒(熊澤喜太郎)	1 件 1 点		
		宮中鳳凰の間に於いて歌御会始之図 (黒木半之助)	1 件 1 点		
		皇室御尊影(葛西虎次郎)	1 件 1 点		
2	栃木県立美術館他 「朝鮮王朝の絵画と日本 宗達、大雅、若冲も学んだ 隣国の美」展	花鳥図(興悦)	1 件 1 点	展示	H20/10/16 ～ H21/7/22
3	神奈川県立近代美術館 ASEMUS 国際巡回展 「Self and Other アジアとヨーロッパの肖像」	南蛮屏風	1 件 1 点	展示	H21/1/16 ～4/3
		黒船絵巻	1 件 1 点		
		肉筆 ベルリ像	1 件 1 点		
		万国男女人物図会(一恵斎芳幾)	1 件 1 点		
		横浜見物図会 異人稚遊(一川芳員)	1 件 1 点		
		横浜見物図会 をさな遊び(一川芳員)	1 件 1 点		
		横浜商館佛蘭西人馬乗之図 フランス人 女性 フランス人(五雲亭貞秀)	1 件 1 点		
		生写異国人物 亜墨利加女官翫板逐之図 五雲 亭貞秀画(五雲亭貞秀)	1 件 1 点		
		生写異国人物 阿蘭陀婦人挙觴愛児童之図(五 雲亭貞秀)	1 件 1 点		
		ヴァレッタ号の喫煙室 (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		楽隊の演奏を見る英国人と中国人 (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		馬車で砂漠を横断するくじ引き (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		中国服のタイム特派員の様相 (チャールズ・ワグマン)	1 件 1 点		
		皇后像(伝内田九一)	1 件 1 点		
		明治天皇像(伝内田九一)	1 件 1 点		
		横浜写真アルバム(D)	1 件 1 点		
		貴顕御肖像(龍勝次郎)	1 件 1 点		
		帝国貴顕肖像(勝山繁太郎)	1 件 1 点		
		武州横浜名所図 英吉利人 本村 (歌川芳虎)	1 件 1 点		
		武州横浜名所図 亜墨利加美女 波止場 (歌川芳虎)	1 件 1 点		
4	府中市美術館 「山水に遊ぶ —江戸絵画の風景 250 年」	舞子浜図(司馬江漢)	1 件 1 点 (借用資料)	展示	H21/3/11 ～5/15
5	長野市立博物館 「女たちと善光寺」	熊野権現影向図(正念寺蔵)	1 件 1 点	展示	H21/3/28 ～6/4
6	広島県立美術館 「一知られざるサムライ— 大名庭園展」	紙本墨画淡彩 達磨図(祥啓派筆)	1 件 1 点	展示	H21/4/8 ～6/10
		広島県御案着之図(延一)	1 件 1 点		
		参謀本部会議之図(延一)	1 件 1 点		
7	新潟市歴史博物館 「五姓田 GOSEDA —明治新潟の人々を描いた	入沢恭平像(初代 五姓田芳柳)	1 件 1 点	展示	H21/4/15 ～6/13
		池田謙斎像(初代 五姓田芳柳)	1 件 1 点		
		夏山(二世 五姓田芳柳)	1 件 1 点		

	絵師	伊田磐楠像(五姓田義松)	1件1点		
		滝のある谷(五姓田義松)	1件1点		
		佐久嶋(五姓田義松)	1件1点		
		談笑する芸妓(五姓田義松)	1件1点		
		母と子(五姓田義松)	1件1点		
		雨の日の家(五姓田義松)	1件1点		
		台所(五姓田義松)	1件1点		
		山手洋館(五姓田義松)	1件1点		
		人物各種(五姓田義松)	1件1点		
		顔の表情(五姓田義松)	1件5点		
		風景人物(自画像)(五姓田義松)	1件1点		
		自画像(五姓田義松)	1件1点		
		水車(自画像)(五姓田義松)	1件1点		
		五姓田一家之図(五姓田義松)	1件1点		
		家族之図(五姓田家の肖像)(五姓田義松)	1件1点		
		ワグマン画作像(五姓田義松)	1件1点		
		絵を描く芳柳(五姓田義松)	1件1点		
		女の像(幽香)(五姓田義松)	1件1点		
		渡辺幽香像(五姓田義松)	1件1点		
		制作風景	1件1点		
		家族合作之図(五姓田工房内)(五姓田義松)	1件1点		
		画室作画(制作風景)(五姓田義松)	1件1点		
		天皇御巡幸図(五姓田義松)	1件1点		
		米山旗持峠(五姓田義松)	1件1点		
		寸陰漫稿(渡辺幽香)	1件1点		
		宿場(チャールズ・ワグマン)	1件1点		
		ジャパンパンチ 1866年6月号 (チャールズ・ワグマン)	1件1点		
		ジャパンパンチ 1885年9月号 (チャールズ・ワグマン)	1件1点		
8	(財)茅ヶ崎市文化振興財団 「藤沢市所蔵浮世絵展 —宿場江の島東海道」	無題(七里ヶ浜)(葛飾北斎) (No.8は全て借用資料)	1件1点	展示	H21/4/17 ~6/9
		富嶽三十六景 相州 七里浜(葛飾北斎)	1件1点		
		富嶽三十六景 相州 江の嶋(葛飾北斎)	1件1点		
		無題(江之島弁才天開帳)(喜多川歌麿)	1件1点		
		風流四季の遊 弥生の江之島詣(喜多川歌麿)	1件1点		
		相州七里浜(柳々居辰斎)	1件1点		
		相州江島風景由井浜地引網之図(北尾政美)	1件1点		
		名所八景 江の嶋晴嵐(二代 歌川豊国)	1件1点		
		相州江之嶋岩屋之図(歌川広重)	1件1点		
		相州江之島詣春の賑(歌川芳雪)	1件1点		
		鎌倉七里ヶ浜ヨリ江の島遠見(歌川貞虎)	1件1点		
		無題(江の島金亀山)(窪 俊満)	1件1点		
9	岐阜市歴史博物館 「日本のパロディ」	近江八景 比良暮雪(初代 歌川広重)	1件1点	展示	H21/4/17 ~5/27
		近江八景 堅田落雁(初代 歌川広重)	1件1点		
		近江八景 石山秋月(初代 歌川広重)	1件1点		
		近江八景 唐崎夜雨(初代 歌川広重)	1件1点		
		近江八景 矢崎帰帆(初代 歌川広重)	1件1点		
		近江八景 三井晩鐘(初代 歌川広重)	1件1点		
		近江八景 瀬田夕照(初代 歌川広重)	1件1点		

		近江八景 粟津晴嵐(初代 歌川広重)	1件1点		
		諸国八景尽の国 近江八景	1件1点		
		妙でんす十六利勘 朝寝者損者(歌川国芳)	1件1点		
		妙でんす十六利勘 小利大損者(歌川国芳)	1件1点		
10	三井記念美術館 「道教の美術」	紙本著色 北野天神縁起絵巻(六巻のうち 巻二)	1件1点	展示	H21/6/12 ~10/30
		絹本著色 七星如意輪曼荼羅図 (弘明寺所蔵)	1件1点		
11	神奈川県立近代美術館 「画家の眼差し、レンズの眼 —近代日本の写真と絵画」	西洋老婦人像(初代 五姓田芳柳)	1件1点	展示	H21/6/16 ~8/27
		箱根木賀全景(五姓田義松)	1件1点		
		東海道五拾三次之内 四日市 三重川 (初代 歌川広重)	1件1点		
12	埼玉県立歴史と民俗の博物館 「いただきます ~食の文化史~」	日本橋魚市繁栄図(歌川国安)	1件1点	展示	H21/7/7 ~9/4
		江戸じまん名物くらべ すな村のとふなす (歌川国芳)	1件1点		
		江戸じまん名物くらべ こま込のなす (歌川国芳)	1件1点		
13	奈良国立博物館 「聖地寧波 日本仏教1300年の源流~すべて はここからやってきた」	菩薩半跏像付内容物	1件1点	展示	H21/7/9 ~9/9
14	横浜開港資料館 「横浜中華街150年」	横浜支那街関羽之廟(五姓田義松)	1件1点	展示	H21/7/24 ~8/21
		横浜名所 南京屋しき(早川松山)	1件1点		
15	大阪市立美術館 「道教の美術」	絹本著色 十王図(重要文化財、十幅のうち 「冥使図」)	1件1点	展示	H21/9/3 ~10/30
		本朝年暦図会 亀借郎入蓬菜(歌川広重)	1件1点		
		名所江戸百景 市中繁栄七夕祭(歌川広重)	1件1点		
		東海道一眼千両 神奈川 浦島太郎 (二代 歌川広重 豊原国周)	1件1点		
		東海道五十三対 神奈川の駅 (三代 歌川豊国)	1件1点		
		東海道名所之内 神奈川浦島古跡 (河鍋曉斎)	1件1点		
16	横浜美術館 「大開港展— 徳川将軍と幕末明治の美術」	五姓田一家之図(五姓田義松)	1件1点	展示	H21/9/11 ~12/4
		街道(チャールズ・ワグマン)	1件1点		
		「万延元年遣米使節随行スケッチ」のうち 第1号日本の使節を迎えたアメリカ群衆 (谷文一)	1件1点		
		「万延元年遣米使節随行スケッチ」のうち 第7号 日章旗を飾った窓々、その下を行くア メリカ軍隊(谷文一)	1件1点		
17	栃木県立博物館 「狩野派 —400年の栄華—」	騎驢人物図扇面(式部輝忠)	1件1点	展示	H21/9/30 ~12/1
		山水図(式部輝忠)	1件1点		
		竹鶏図扇面(右都御史)	1件1点		
18	鎌倉国宝館 「大本山光明寺と浄土教美術」	阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)	1件1点	展示	H21/9/30 ~12/8
		阿弥陀如来立像(鎌倉時代)	1件1点		
19	彦根城博物館 「政治の時代 —井伊直弼と幕末の群像—」	横浜鉄橋之図 横浜鉄橋其二(五雲亭貞秀)	1件1点	展示	H21/10/22 ~12/8
		横浜海岸之風景(五雲亭貞秀)	1件1点		
		横浜英吉利西商館繁栄図(落合芳幾)	1件1点		
		横浜本町之図(歌川国芳)	1件1点		
		神奈川港御貿易場御開地御役屋敷並町々寺院 社寺至ル迄明細大絵図にあらわす(一玉斎)	1件1点		
		新撰横浜全図	1件1点		
		御貿易場 「太平録」袋付	1件1点		
20	横浜開港資料館	横浜西太田村農婦(明治6年)(五姓田義松)	1件1点	展示	H21/10/23

	「村々の文明開化」				～H22/1/6
21	佐賀県立美術館 「近代との遭遇 ー世界を見る 日本を創るー」	裸婦(百武兼行)	1件1点	展示	H21/12/15 ～H22/2/19
22	箱根神社 「箱根神社 ー信仰と美術」	七湯方角略図(初代 歌川広重) 箱根七湯廻り 芦の湯惣風呂場の図 (初代 歌川広重)	1件1点 1件1点	展示	H21/12/21 ～22/2/12
23	神戸市立博物館 「海の回廊」	重要文化財 絹本着色 十王図 紙本着色 一遍上人像	1件4点 1件1点	展示	H22/1/9 ～3/12

## オ 特別利用

No.	申請者・目的	資料名	件一点	利用方法	利用期間
1	個人 石版画調査研究	帝国貴顔肖像ほか石版画群	1件50点	閲覧	H21/9/8
2	横浜市歴史博物館 特別展 「陸の道と海の交差点 ー江戸時代の神奈川ー」 写真パネル展示と図録掲載	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(葛飾北斎) 東海道五十三次細見図会 神奈川 道中風俗 程ヶ谷へー里九町(初代 歌川広重) 東海道 四 五十三次ノ内 神奈川台の茶屋 (初代 歌川広重) 東海道張交図会 日本橋 加奈川 川崎 品 川(初代 歌川広重) 両道宿号図会 東海道 四 加奈川 木曾街 道 四 六十九次之内 浦和 (二代 歌川広重) 東海名所改正道中記 五 神奈川 程ヶ谷迄 ー里九丁 蒸気の待合 (三代 歌川広重) 東海道五十三次之内 神奈川宿 (三代 歌川豊国) 見立役者五十三対ノ内 神奈川 秀調(三代 歌川豊国) 五十三次内 神奈川(三代 歌川豊国) 東海道五十三次 五十 神名川 川崎へ二里 半(長谷川貞信) 金川ヨリ横浜遠見の図(歌川芳虎)	1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点	撮影	H21/9/9
3	大倉山精神文化研究所 収蔵資料展 「描かれた開港地横浜ー 大倉孫兵衛の錦絵展」 パネル展示	東京ハッ山下海岸蒸気車鉄道之図 (三代 歌川広重) 横浜海岸鉄道蒸気車図 (三代 歌川広重) 奮西巫人 (一川芳員) 横浜名所弁天 亜墨利加人 (一川芳員) 騎兵体歩兵体散兵大調練之図 (月岡芳年) 曾我物語図会 (初代 歌川広重) 近世八戦争 相州箱根 (歌川芳年) 相州七里が浜 江之島金亀山遠景之図 (二代 歌川広重) 当勢三十二想 つもり相 (歌川国周) 義士本望を達して仙国寺へ引取固の図 (歌川国芳) 大日本物産図会 越後国雪中布晒之図 越後国鮭洲走を捕図 (三代 歌川広重) 当勢三十二想 風がほし相 (歌川国周) 全盛自筆三十六花撰 松田楼 (落合芳幾) 東京新島原俄図 艶競俄花襦 (落合芳幾) 新島原梅ヶ枝街三河楼之図 (落合芳幾) 豊臣昇進録 (月岡芳年) 八番組 第一大区 (月岡芳年)	1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点 1件1点	閲覧・撮影	H21/10/6

	情得感檀形 満月 尾上菊五郎の因果僧六之介 (月岡芳年)	1件1点	
	情得感檀形 夜霧 市川団十郎 斎藤内蔵之介利三 (月岡芳年)	1件1点	
	近世書画之張交 六号 (小林永濯等)	1件1点	
	東京名所筋違万代橋図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	東京駿河街国立銀行繁栄之図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	東京名所之内 新橋ステーション蒸汽車鉄道図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	東京第一大区蠣殻町二丁目第五国立銀行并に商行会社新築之図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	東京深川公園ニ於テ下総成田不動尊并芝山仁王像宗吾畫像開張参詣群集之図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	大日本物産図絵 北港ヨリ輸出之図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	大日本物産図絵 尾州名古屋扇折ノ図 (三代 歌川広重)	1件1点	
	日本地誌略図 箱崎之図(三代 歌川広重)	1件1点	
	日本地誌略図 筑後川屏風山景 (三代 歌川広重)	1件1点	
	東京海運橋兜街三井組為換座西洋形五階造 (一交斎幾丸)	1件1点	
	徳川治績年間紀事 (月岡芳年)	1件1点	
	徳川累代像頭 (月岡芳年)	1件1点	
	上野公園地 博覧会御開業図 (進齋)	1件1点	
	博覧会諸人群集之図 元昌平坂ニ於テ (昇齋一景)	1件1点	
	上野不忍共同競馬会社 開業式之図 (楊洲周延)	1件1点	
	新皇居紅葉之図 (無款)	1件1点	
	憲法発布 青山觀兵式真図 (探景)	1件1点	
	徳川治蹟 年間紀事 (月岡芳年)	1件1点	
	明治小史年間紀事 皇后宮西京行啓鉄道館発車之図 (月岡芳年)	1件1点	
	雪月花の内 梅園の月 (楊洲周延)	1件1点	
	尽忠報国高名一覽 (月岡芳年)	1件1点	
	東京九段坂上靖国神社真景 (井上探景)	1件1点	
	九段坂上靖国神社庭内真図 (井上探景)	1件1点	
	鹿児島両雄一騎打之図 (月岡芳年)	1件1点	
	鹿児島新報 隆盛仁愛妾離別図(月岡芳年)	1件1点	
	鹿児島電報 隻雄血戦之図 (月岡芳年)	1件1点	
	隆盛籠城攻之図 (月岡芳年)	1件1点	
	西郷隆盛一代記 (月岡芳年)	1件1点	
	鹿児島城激戦之図 (楊州斎周延)	1件1点	
	西海暴動電信紀聞 (楊州斎周延)	1件1点	
	明治小史 年間紀事 鹿児島県下賊徒蜂起之事件 (月岡芳年)	1件1点	
	野津大佐聯隊旗を奪返す (月岡芳年)	1件1点	
	西郷隆盛切腹図 (月岡芳年)	1件1点	
	鹿児島新報 鹿児島県下英雄戦死之図 (楊州斎周延)	1件1点	
	明治小史 年間紀事 三重県下頑民暴動之事件 (月岡芳年)	1件1点	
	雲揚艦兵士朝鮮江華戦之図 (月岡芳年)	1件1点	
	亜墨利加人 (一川芳員)	1件1点	
	横浜名所 野毛切通 和蘭陀人(一川芳員)	1件1点	

		横浜名所 港崎町 仏蘭西人 (一川芳員)	1件1点		
		横浜名所 異人屋敷 英吉利人(一川芳員)	1件1点		
		横浜英吉利西商館繁栄図 (落合芳幾)	1件1点		
		仏蘭西英吉利西三兵大調連之図(月岡芳年)	1件1点		
		横浜海岸各国商館図 (三代 歌川広重)	1件1点		
		横浜海岸鉄道蒸気車図 (三代 歌川広重)	1件1点		
		横浜海岸鉄道蒸気車図 (三代 歌川広重)	1件1点		
		横浜海岸外国館煉瓦造図 (幾丸)	1件1点		
		因循開化 流行撃剣会 (昇齋戯墨一景)	1件1点		
		三十六歌撰 天竺とくべゑ尾上菊五郎 (豊原国周)	1件1点		
		三十六歌撰 雲きり仁左衛門 関三十郎 (豊原国周)	1件1点		
4	個人 歌川広重研究	富士三十六景之内 六郷初春の不二 (初代 歌川広重)	1件1点	閲覧 撮影	H21/12/2 6
		箱根七湯之内 湯もと(初代 歌川広重)	1件1点		
		箱根七湯巡 宮ノ下 (初代 歌川広重)	1件1点		
		相州大山路中 戸田川之渡(初代 歌川広重)	1件1点		
		朝比奈切通しの図 (初代 歌川広重)	1件1点		
		三番続金沢八景之内 平潟落雁 洲崎晴嵐 乙艦帰帆 (初代 歌川広重)	1件1点		
		東都名所雪の三景 隅田川のはつゆき (初代 歌川広重)	1件1点		
		東都名所雪の三景 両国雪晴の月 (初代 歌川広重)	1件1点		
		東都名所雪の三景 神田明神雪の朝 (初代 歌川広重)	1件1点		
		牛若図会 いせの三郎かかくれ家にやとりて 主従のやくをなす (初代 歌川広重)	1件1点		
		雪月花忠孝鏡 有王丸と亀王丸 (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸自慢見立五行 木 深川木場 (初代 歌川広重 (無款) )	1件1点		
		江戸名所見立五行 木 深川木場 雪中の風景 (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所 雪 (吉原の三景の中) (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所 月 (吉原三景の中) (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所 花 (吉原三景の中) (初代 歌川広重)	1件1点		
		開帳朝参之図 (初代 歌川広重)	1件1点		
		夏秋元花撰 (その一) (初代 歌川広重)	1件1点		
		夏秋元花撰 (その二) (初代 歌川広重)	1件1点		
		盆踊り (初代 歌川広重)	1件1点		
		牛若図会 鬼一法眼が秘書をみる (初代 歌川広重)	1件1点		
		吾嬭橋隅田川之景 (初代 歌川広重)	1件1点		
		衣紋坂日本提の景 (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所年中行事 吉原初紋日并ニ大黒まい (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所年中行事 王子初午詣 (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所年中行事 湯島七夕祭 (初代 歌川広重)	1件1点		
		絵馬堂奉納額 (初代 歌川広重)	1件1点		
		信州浅間嶽遠望 (初代 歌川広重)	1件1点		
		諸国名所 武州高雄山 (初代 歌川広重)	1件1点		

		燕の子おどりのけいこ (初代 歌川広重)	1件1点		
		江戸名所 浅草金龍山 (初代 歌川広重)	1件1点		
5	個人 広重団扇絵の研究	箱根七湯廻り 芦の湯惣風呂場の図 (初代 歌川広重)	1件1点	閲覧・撮影	H21/3/12
		波上を飛ぶ二羽の雀 (初代 歌川広重)	1件1点		
		月下に秋の野の兎 (初代 歌川広重)	1件1点		
		嵯峨野の仲国 (初代 歌川広重)	1件1点		
		相州江之島金亀山 従岩本院不二眺望 (初代 歌川広重)	1件1点		
6	個人 宮城玄魚の研究	大日本六十余州名勝図会 一立斎広重画 目録 (宮城玄魚)	1件1点	閲覧・撮影	H21/3/14
		一立斎広重筆 薫蝶楼豊国画 双筆五十三次 宿つぎ 目録 (初代 歌川広重)	1件1点		
		古今書画手鑑 三日月他二図(宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 芦場達磨他一図(宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 竹に雀 他三図(宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 唐獅子 他二図(宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 椿 他二図 (宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 蹴鞠 他二図 (宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 月夜鳩 他二図(宮城玄魚)	1件1点		
		古今書画手鑑 福祿寿 他二図(宮城玄魚)	1件1点		
		新古書画合 丹霞和尚 他二図(宮城玄魚)	1件1点		
		末広五十三駅図会 目録 玄魚模画 (梅素亭玄魚)	1件1点		
		写真鏡 風船図 梅素亭戯墨 (恵斎芳幾)	1件1点		

#### (4) 民俗資料

##### イ 寄贈・寄託・借用

(借用)

No.	資 料 名	件一点	当初借用年月日
1	階段 外	1件4点	昭和43年4月1日
2	神楽面 外	1件151点	昭和44年12月11日
3	地神講の用具 外	1件2点	昭和46年5月25日
4	お食初め膳 外	1件3点	昭和46年10月23日
5	ダイカイ	1件1点	昭和47年2月21日
6	白髭神社大祭の幟	1件2点	昭和47年2月23日
7	ポンプ	1件1点	昭和47年3月1日
8	燭台	1件1点	昭和47年3月6日
9	長持 外	1件2点	昭和47年3月6日
10	お歯黒さし 外	1件2点	昭和47年3月8日
11	お歯黒の道具	1件1点	昭和47年3月11日
12	地神講掛軸	1件1点	昭和47年3月17日
13	庚申講掛軸	1件1点	昭和47年3月17日
14	ミノ	1件2点	昭和47年7月11日
15	天狗の面 外	1件3点	昭和48年2月27日
16	帳場格子 外	1件15点	昭和48年3月2日
17	武具雛形	1件1点	昭和48年4月1日
18	結納樽	1件1点	昭和48年4月1日
19	スエヒロ	1件3点	昭和48年8月20日
20	鏡台と鏡 外	1件4点	昭和49年4月26日
21	張子面木型	1件7点	昭和51年6月19日
22	獅子皿 外	1件9点	昭和54年3月1日
23	婚礼用具	1件1点	昭和54年3月1日
24	浄瑠璃本	1件22点	昭和54年10月13日

25	浄瑠璃人形頭 外	1件47点	昭和54年10月13日
26	足踏み脱穀機	1件2点	平成6年4月15日
	合 計	26件289点	

## エ 貸出

No.	申請者	目的	資料名	件一点	利用方法	利用期間
1	相模原市立博物館	常設展示	鍬	1件4点	展示	H21/11/1～

## (5) 写真資料

平成21年度写真撮影資料

[特別展図録用]

『神奈川開港百五十年 神奈川世界との交流』

『鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界』

『福沢諭吉と神奈川 すべては横浜からはじまる』

『彩色立面図にみる日本の近代建築 銀行・オフィスビルから邸宅まで』

[収蔵資料]

職人の道具

浮世絵 (丹波コレクション)

## (6) 資料の燻蒸

IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、薬剤による定期的な燻蒸は行なわず、必要に応じて脱酸素剤や二酸化炭素ガスによる処理を行なっている。

## (7) その他の関係資料

### ア 図書

平成21年度図書資料の状況は次のとおりである。大学等の関係機関からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

	平成21年度受入数			総数	ライブラリー 公開数
	購入	寄贈	計		
図 書(冊)	11	579	590	16,713	3,373
逐次刊行物 (タイトル)	22	31	53	3,605	81

※逐次刊行物はタイトル数、寄贈は新規のみの数値。

### イ 映像

ライブラリーのおよそ300本のビデオテープやDVDが利用できる。分類は次のとおり。

A 古代、B 中世、C 近世、D 近代、E 現代、F 民俗、G 当館・博物館、H 日本の歴史、I その他

### ウ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム92,877枚を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸し出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	28	25	27	18	14	23	31	25	21	22	24	26	284
点数	132	38	47	32	130	38	78	50	35	60	32	51	723

## エ 情報システム

### (ア) システム整備の目的と背景

- 学習の支援  
高度な知的欲求ニーズへの対応
- 博物館活動の活性化、効率化
- 研究活動の高度化  
各種アプリケーションの利用、博物館が所有する情報の活用
- 情報公開

博物館の再編整備の方向（県立博物館整備構想に関する提言 昭和63年度）

- (1) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (2) 再現することのできない資料等、新しい形態の資料等の収集・保存と活用の拠点
- (3) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

### (イ) システム開発と運用

システム基本設計詳細設計：平成5年度  
 システム運用開始：平成7年度  
 システム更新：平成13年度、平成17～18年度

### (ウ) 現在、稼動しているシステムの内容

#### a) 展示情報システム(デジタルミュージアム)の内容

ミュージアムライブラリーに設置された3台の来館者用パソコンで提供。一部の資料については、高精細の拡大画像も提供。

従来、館内利用に限定されていた展示情報システムは、当館のホームページにも掲載され、利用者が自宅や学校で閲覧することが可能(絵馬、水墨画を除く)となった。

No.	タイトル	内 容
1	浮世絵	博物館所蔵の約7,000点ある浮世絵の中から、浮世絵の変遷、神奈川や横浜など身近な地域を描いたもの、有名な浮世絵師達の作品、江戸時代の風俗を描いたものなど、テーマ毎に選択した230点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など125点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料70点を紹介。
4	古地図	平成9年度に開催した古地図の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。
5	水墨画	平成10年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。
6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料221点を紹介。
7	真葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から46点を紹介。
8	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などとともに紹介(118点)。
9	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1点)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。
10	神奈川の職人の道具	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17職種1,982点)のうち、大山水地師小田原物差職人下駄職人傘職人の道具(338点)を紹介。
11	神奈川の自然	神奈川に生息する動植物、神奈川産の鉱物、相模湾の魚について、画像、解説文、分布図等をいろいろな検索方法で提供する。 鳥：218種、植物：2,990種、チョウ：100種、トンボ：79種、 魚：329種、コケ：66種、鉱物：126種、菌類：164種 関東ローム層：1,013点、
12	日本で見られる恐竜	国内の博物館で展示されている恐竜について、画像や解説文を提供する。
13	酒井コレクション細密画	酒井恒博士夫妻が描かれたカニ原色細密画、660種の画像を提供する。

※なおNo.11～13は、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供

b) 業務システムの内容

○ 収集資料管理システム

収集品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

○ 図書文献管理システム

c) OA関係

○ ワープロ、表計算、データベース、DTP、収集資料データベースとのデータ連携

(エ) システム構成

a) 概要

サーバOS : Red Hat Enterprise Linux ES v3、Windows Server 2003

クライアントOS : WindowsXP

b) 設置機器

(a) 情報処理室電源室

収集システムサーバ 1台、Webサーバ 1台、展示情報用サーバ 1台、アップデートサーバ 1台、図書サーバ 1台、作業用パソコン 7台

(b) ミュージアムライブラリー

来館者用パソコン 3台、レファレンス用パソコン 2台

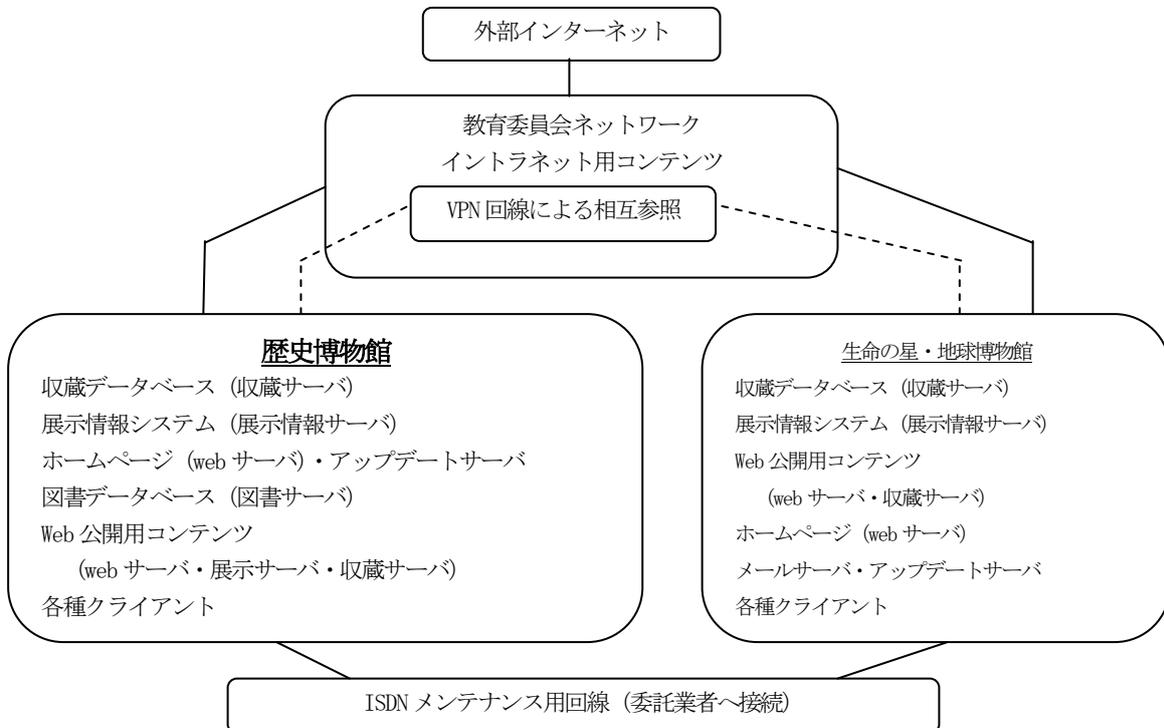
(c) 展示機材倉庫印刷室

画像入力用パソコン 2台

(d) 学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書資料整理室・

写真室暗室 各室作業用パソコン 計38台

(オ) 歴史博物館システム機器構成図



## 5 展示・教育普及・学習支援

### (1) 常設展

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、かながわの文化と歴史について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

#### 1 さがみの古代に生きた人びと

- ・大地に生きる狩人
- ・海への進出
- ・米づくり、はじまる
- ・古墳を築く
- ・都とさがみの国(奈良時代)
- ・都とさがみの国(平安時代)

#### 2 都市鎌倉と中世びと

- ・源頼朝と東国武士団
- ・戦国大名後北条氏
- ・掘り起こされた鎌倉
- ・唐物とその影響
- ・民衆と仏教

#### 3 近世の街道と庶民文化

- ・宿場と関所
- ・庶民信仰と名所めぐり
- ・村の支配と生活
- ・相武の産物と江戸

#### 4 横浜開港と近代化

- ・蒸気船が導いた新たな時代
- ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
- ・文明開化の音
- ・近代化と神奈川
- ・横浜浮世絵に見る神奈川
- ・横浜正金銀行

#### 5 現代の神奈川と伝統文化

- ・関東大震災を越えて
- ・昭和恐慌と社会変化
- ・戦時体制と敗戦
- ・占領から講和へ
- ・高度経済成長と環境の変化
- ・メディアコミュニケーション
- ・変貌する町と村
- ・イエと暮らし
- ・くらしの中の祈り
- ・なりわいと儀礼
- ・伝承される技術と芸能

### (2) 特別展

#### ア「神奈川開港・開国 150 周年メモリアルイベント 横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流—」

- 会 期：平成 21 年 4 月 25 日(土)～6 月 14 日(日)
- 主 催：神奈川県立歴史博物館
- 協 力：海と船の博物館ネットワーク
- 助 成：(財)日本財団
- 展示資料件数：131 件
- 入場者数：16,242 名(有料 3,552、無料 12,690)
- 担 当：主任学芸員 嶋村元宏
- 概 要： 安政 5(1858)年に幕府がアメリカをはじめとして、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとの間に締結した通商条約により、安政 6 年 6 月 2 日(1859 年 7 月 1 日)神奈川(横浜)は国際貿易港として開港した。その結果、日本は本格的に西洋国際社会へ参加することとなり、新たな国家体制のもと近代

化を進めることになる。本年は神奈川(横浜)が開港してから150年という記念すべき年に当たることから、それにちなんだ展覧会をすることとなった。

外国人が住むことが許された居留地と、日本人の住む日本人町からなる開港場は、まさに異文化交流の舞台となり、異なる文化が接触することによる摩擦、対立、衝突が生じる一方、相互理解が深まり、新たな文化が生まれ、開港場をとおして新たな文化が国内外へ発信されていった。

本展では、日本最大の開港場となった横浜の諸相を、異文化の衝突と受容に視点をあきつつ関係資料によりわかりやすく紹介した。

○関連行事：

(1) 特別展記念講演会

①日 時：5月10日(日)14:00～

演 題：「日本の開国とアジア」

講 師：当館主任学芸員 嶋村 元宏

②日 時：5月31日(日)14:00～

演 題：「日本文化の発信者 オールコック」

講 師：静岡文化芸術大学 准教授 佐野 真由子 氏

(2) 県博セミナー 全体テーマ「開港場の諸相」(全5回)

①日 時：5月9日(土)14:00～

演 題：「横浜—近代を切り開いた国際貿易港—」

講 師：当館 主任学芸員 嶋村 元宏

②日 時：5月16日(土)14:00～

演 題：「長崎—鎖国と開国を知る貿易都市—」

講 師：西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明 氏

③日 時：5月23日(土)14:00～

演 題：「函館—蝦夷地の三湊から北海道の主要港へ—」

講 師：市立函館博物館 学芸員 保科 智治 氏

④日 時：5月30日(土)14:00～

演 題：「新潟—県都への道—」

講 師：新潟市歴史博物館 学芸課長 伊東 祐之 氏

⑤日 時：6月6日(土)14:00～

演 題：「神戸—“東洋で最も美しい”居留地」

講 師：神戸市立博物館 学芸員 田井 玲子 氏

(3) 学芸員による展示解説(主任学芸員 嶋村 元宏)

① 5月24日(日)13:30～、② 6月7日(日)13:30～

(4) 子ども向け事業「黒船」をつくろう！

① 5月17日(日)13:30～、② 8月22日(日)13:30～

(5) 特別展記念吹奏楽コンサート

日 時：4月25日(土)14:00～15:00

演 奏：浦賀ウインドオーケストラ



1 蒸汽船図 一面 川角山神社 (安芸高田市吉田歴史民俗資料館寄託)	33 ◎ 井伊直弼 井伊直弼大老就任誓詞控 一通 彦根城博物館
2 天球儀 一基 当館	34 井伊直弼 曲物黒漆塗栗山桶 水指 一口 彦根城博物館
3 天球儀 一基 福山誠之館同窓会	35 井伊直弼 曲物黒漆塗栗山桶 花生 一口 彦根城博物館
4 地球儀 一基 福山誠之館同窓会	36 岩瀬忠震愛用の印(レプリカ) 一顆 新城市設楽原歴史資料館
5 経緯儀 一基 彦根城博物館	37 岩瀬忠震 七言絶句 一幅 個人
6 唐草文螺鈿筒望遠鏡 一基 彦根城博物館	38 岩瀬忠震 紫薇之図 一幅 個人
7 阿部正弘 潮音 一面 福山城博物館	39 オリファント エルギン卿遣中日使節録 二冊 当館
8 内藤角右衛門 下宮三郎右衛門宛書翰 一通 福山城博物館	40 御持場海岸分見画図 一鋪 松平文庫(福井県立図書館保管)
9 香港総督ジョンパウリング (イラストレイテッド・ロンドン・ニュース(以下 ILN)一冊 当館)	41 横浜之図 一鋪 松平文庫(福井県立図書館保管)
10 マルテンス 国際法 一冊 静岡県立中央図書館	42 五雲亭貞秀 横浜開港見聞誌 三冊 当館
11 ◎ 阿蘭陀国条約并税則 一冊 長崎歴史文化博物館	43 五雲亭貞秀 御開港横浜之全図 一幅 当館
12 ◎ 魯西亜国条約并税則 一冊 長崎歴史文化博物館	44 五雲亭貞秀 横浜弍覽之真景 一幅 当館
13 ◎ 亜墨利加国条約并税則 一冊 長崎歴史文化博物館	45 五雲亭貞秀 御開港横浜大絵図 二編 外国人住宅図 一幅 当館
14 ◎ 仏蘭西国条約并税則 一冊 長崎歴史文化博物館	46 二代 歌川広重 神名川横浜港真景 横浜海岸図会 当館
15 ◎ 英吉利国条約并税則 一冊 長崎歴史文化博物館	47 二代 歌川広重 神奈川野毛横浜 横浜風景一覽 当館
16 安政五ヵ国条約 五冊 当館	48 五雲亭貞秀 東海道名所之内 横浜風景 当館
17 昇平丸御軍艦絵図 二枚 松平文庫(福井県立図書館保管)	49 五雲亭貞秀 横浜本町港崎町振分双六 当館
18 開湊ニ付跡部良弼等の連署状 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	50 一惠斎芳幾 御開港横浜一覽双六 当館
19 英吉利船長崎渡来之節応接一件ニ付 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	51 開港当時本町を主とした横浜町全景 一幅 当館
20 内々可談趣 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	52 オリファント、モリソン両氏への襲撃(ILN) 当館
21 志らべ(外国交易筋ニ付取調書写) 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	53 襲撃後のオールコックの部屋(ILN) 当館
22 長崎表江被差遣候御目付之儀ニ付猶又申上候書付 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	54 居留地防衛のための掘削が始まった横浜(ILN) 当館
23 伝奏衆江相達候書付 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	55 イギリス艦隊と炎上する薩摩藩の軍艦(ILN) 当館
24 伝奏衆議奏衆江相達候書付 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	56 ○ 柳田龍雪 英艦入港戦争図(薩英戦争絵巻) 一巻 尚古集成館
25 長崎奉行江可達趣 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	57 柳田龍雪、中島白圭、有馬柳泉 文久三年癸亥七月鹿児島湾 英艦戦争之図(薩英戦争絵巻) 二巻 鹿児島県立歴史資料センター黎明館
26 水野筑後守荒尾石見守岩瀬伊賀守江相達候書付 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	58 薩英戦争絵巻 一巻 鹿児島県立図書館
27 亜国官吏応接ニ付達案 一通 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	59 横浜で生麦事件の賠償を支払うところ(ILN) 当館
28 亜墨利加国より差上候書翰和解 一冊 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	60 横浜にいる英国艦隊(ILN) 当館
29 亜米利加使節申立之趣 一冊 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	61 下関海峡における九月五日の作戦(ILN) 当館
30 徳川家定朱印状写 一枚 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	62 長州藩の砲撃(ILN) 当館
31 正睦公外交関係文書第四卷 一冊 (財)日産厚生会佐倉厚生園(佐倉市寄託)	63 下関における低地砲台への突撃(ILN) 当館
32 ◎ 日米修好通商条約写 一冊 彦根城博物館	64 戦闘後の下関低地砲台の内部(ILN) 当館
	65 五雲亭貞秀 横浜交易西洋人荷物運送之図 当館
	66 歌川芳虎 七福神蒸気車乗初図 当館
	67 横浜諸会社諸商店之図 一二三図 当館
	68 佐々木茂市編 日本絵入商人録 一冊 当館
	69 伝トーマススティーヴンソン 海岸風景 横田多恵夫
	70 伝トーマススティーヴンソン 本牧風景 横田多恵夫
	71 五姓田義松 日本風俗 個人
	72 仮名垣魯文序 五雲亭貞秀画 横浜土産 五冊 当館
	73 ワーグマン画ハイネ撮影製作販売

- ワーグマンスケッチ写真帳 一冊 当館
- 74 日下部金兵衛 日本名所風俗写真帳 1 一冊  
神戸市立博物館
- 75 横浜写真アルバム 表紙(富士山と帆掛舟) 一冊 当館
- 76 横浜写真アルバム 表紙(富士山と江ノ島を背景に海岸で貝を拾う女性と子ども) 一冊 当館
- 77 木工芸品店の店先 一枚 当館
- 78 日下部金兵衛撮影 骨董屋 一枚 当館
- 79 井村彦次郎陶磁器店工場 二枚 当館
- 80 錦手花鳥文鷹彫刻飾壺(堅野系) 一口  
鹿児島県立歴史資料センター黎明館
- 81 白薩摩 金欄手窓絵人物大皿(苗代川系) 一枚  
鹿児島県立歴史資料センター黎明館
- 82 ファサリ商会 ジョンフィリップソン絹糸工場 九枚  
当館
- 83 バーガレー氏個人アルバム 1 一冊 神戸市立博物館
- 84 オールコック 大君の都 二冊 当館
- 85 アンベール 幕末日本図絵 二冊 当館
- 86 A. G. S. ホーズ編 横浜周辺外国人遊歩区域図 一冊 当館
- 87 ウィリアムス女史日本旅行記念蒐集資料 当館
- 88 日本茶輸出宣伝用扇子 一面 当館
- 89 松平春嶽 外交往復手簡 一冊  
松平文庫(福井県立図書館保管)
- 90 日本貿易新聞 写 五冊 松平文庫(福井県立図書館保管)
- 91 ベリー編 万国新聞紙 五冊  
松平文庫(福井県立図書館保管)
- 92 ヴァンリード編 横浜新報もしほ草 十四冊  
松平文庫(福井県立図書館保管)
- 93 横浜新聞 写 一冊 松平文庫(福井県立図書館保管)
- 94 横浜新聞抜粋 写 一冊 松平文庫(福井県立図書館保管)
- 95 太田御陣屋惣絵図 一枚 松平文庫(福井県立図書館保管)
- 96 神奈川港図 一枚 松平文庫(福井県立図書館保管)
- 97 箱館柳野御陣営之図 写 一軸 函館市立函館博物館
- 98 五稜郭之図 一軸 函館市立函館博物館
- 99 ◎ 箱館奉行所運上役所 異船諸書付 一冊  
北海道立文書館
- 100 箱館府 浄玄寺より居留亜米利加人江貸渡の地所絵図面  
十六点 北海道立文書館
- 101 ◎ 箱館奉行所カ 各国証書留 一冊 北海道立文書館
- 102 ◎ 箱館奉行所沖ノ口御番所 生糸并蚕紙一件 一冊  
北海道立文書館
- 103 北海道庁函館支庁 各国人貸渡地証書 老号 一冊  
北海道立文書館
- 104 函館弁天台場写真 一枚 函館市立函館博物館
- 105 トムソン造船所写真 一枚 函館市立函館博物館
- 106 電信局写真 一枚 函館市立函館博物館
- 107 函館全景写真 一枚 函館市立函館博物館
- 108 函館港写真 一枚 函館市立函館博物館
- 109 蛮国人 一枚 長崎歴史文化博物館
- 110 フロシヤ 一枚 長崎歴史文化博物館
- 111 オロシヤ人図 一軸 長崎歴史文化博物館
- 112 紅毛人図 一軸 長崎歴史文化博物館
- 113 紅毛人唐人図 二軸 長崎歴史文化博物館
- 114 唐人二人図 一枚 長崎歴史文化博物館
- 115 三ヶ国人物之図 一枚 長崎歴史文化博物館
- 116 イギリス人トルコ人 一枚 長崎歴史文化博物館
- 117 居留地区 一枚 長崎歴史文化博物館
- 118 ◎ 長崎奉行所居留地掛 居留地反別帳 一冊  
長崎歴史文化博物館
- 119 ◎ 長崎奉行所居留地掛 居留地々代元極 一件 一冊  
長崎歴史文化博物館
- 120 渡辺忠章識 長崎港全図 一枚 長崎歴史文化博物館
- 121 長谷川貞信(二代) 撰州神戸新建西洋館市街賑イ之図  
神戸市立博物館
- 122 長谷川貞信(二代) 撰州神戸海岸繁栄図 神戸市立博物館
- 123 日本旅行記念写真絵葉書張込帳 一冊 神戸市立博物館
- 124 兵庫港遊歩規程図 一冊 神戸市立博物館
- 125 兵庫県令森岡昌純 外国人入京免状 一枚  
神戸市立博物館
- 126 ホーム商会 日本産物雑品図略 一冊 神戸市立博物館
- 127 垣貫与祐編集兼出版 豪商神兵湊の魁 一冊  
神戸市立博物館
- 128 日下部金兵衛 神戸名所写真帳 一冊 神戸市立博物館
- 129 グルーム氏個人アルバム 2 一冊 神戸市立博物館
- 130 ◎旧新潟税関庁舎棟札 一枚 文化庁  
(新潟市歴史博物館保管)
- 131 古写真 三十枚 新潟市歴史博物館
- 参考1 黒船之図 当館
- 参考2 岩瀬忠震 岩瀬鳴所日記 早稲田大学図書館
- 参考3 日米修好通商条約 外務省外交史料館
- 参考4 日英修好通商条約 外務省外交史料館
- 参考5 日仏修好通商条約 外務省外交史料館
- 参考6 南蛮屏風(左隻) 当館
- 参考7 旧新潟税関庁舎 文化庁(新潟市歴史博物館管理)

## イ「慶應義塾創立 150 年記念 神奈川開港・開国 150 周年メモリアルイベント

### 福澤諭吉と神奈川 すべては横浜にはじまる

- 会 期：平成 21 年 8 月 22 日(土)～9 月 23 日(水・祝)
- 主 催：神奈川県立歴史博物館、慶應義塾、フジサンケイグループ
- 展示資料件数：205 件
- 入場者数：16,226 名(有料 5,135 名・無料 11,091 名)、その他内覧会約 200 名
- 担 当：専門学芸員 寺寄 弘康・古宮雅明、主任学芸員 桑山童奈、  
学芸員 角田 拓朗
- 概 要： 本展は、慶應義塾創立 150 年を記念した展覧会の一つとして、創立者福澤諭吉と神奈川県との関わりを基本テーマにして開催した。福澤諭吉は幕末から明治時代を生きた人物の中で、もっとも著名な人物の一人であるが、神奈川県との関わりも少なくない。大阪の適塾で蘭学を修得した福澤が、安政 6 年、開港間もない横浜を訪れたことをきっかけに、それまでの蘭学を捨て英学に転じたこと、翌年、咸臨丸にて渡米する際に浦賀に上陸したエピソードなどは、『福翁自伝』により知られている。しかし一方で、しばしば静養に出かけた箱根での人々との交流や、横浜正金銀行の設立にも関わるなど、当時の貿易や実業界の発展に寄与したことなどは、あまり知られていない事実である。福澤の門下生の中には、その後、神奈川・横浜の政財界や教育界で活躍する人物が輩出するなど、福澤にとって神奈川県はつながりの深い地域であった。さらに昭和 9 年の日吉キャンパス開校、平成 2 年の湘南藤沢キャンパス開校など、慶應義塾と神奈川県との関わりも少なくない。このような福澤諭吉と神奈川横浜の多様な関わりについて、書翰、原稿、写真、著作物をはじめ遺品類などの関連資料により紹介した。

#### ○関連行事

##### (1) 特別展記念講演会

- ①日 時：8 月 23 日(日) 14:00～  
演 題：「開港&開校 ちょっといい話」  
講 師：慶應義塾大学教授・作家 荻野 アンナ 氏
- ②日 時：8 月 30 日(日) 14:00～  
演 題：「福澤諭吉の見たヨーロッパ」  
講 師：慶應義塾大学 教授 山内 慶太 氏
- ③日 時：9 月 6 日(日)14:00～  
演 題：「福澤諭吉はなぜ西相模を徘徊したのか」  
講 師：中央大学 名誉教授 金原 左門 氏

##### (2) シンポジウム

- |       |  |                |  |
|-------|--|----------------|--|
| 日 時   | 8 月 29 日(土)午後 2 時～                                       |                |  |
| テーマ   | 慶應義塾福澤研究センターセミナーシンポジウム<br>「家族とは何か ー福澤諭吉の女性論家族論から現代を考えるー」 |                |  |
| パネリスト | フランス国立東洋言語文化大学 准教授                                       | マリオン・ソシエ 氏     |  |
|       | 慶應義塾大学経済学部 教授  | ヘレンポール・ハチェット 氏 |  |
|       | 韓国高麗大学日本研究センター 研究員                                       | 宋 惠敬 氏         |  |
| 司 会   | 慶應義塾福澤研究センター 准教授   | 西澤 直子 氏        |  |

##### (3) 展示解説 各回 13:30～

- ①8 月 29 日(土)：当館 専門学芸員 寺寄 弘康
- ②9 月 5 日(土)：慶應義塾福澤研究センター 専任講師 都倉 武之 氏
- ③9 月 12 日(土)：当館 専門学芸員 寺寄 弘康



④9月19日(土):慶應義塾福澤研究センター 准教授 西澤 直子 氏

(4) 子ども向け事業 「博物館のススメ」(定員:20名)

日 時:9月20日(日)13:30~

テーマ:「博物館のススメ」

内 容:特別展に関連したワークショップ。当館学芸員の指導の下、写真の現像や博物館のバックヤードの見学など、博物館とはどういうところかを体験してもらう。

(5) 上映会「破天荒力」 自由定員・事前申し込み不要

8月25日(火)、9月5日(土)、13日(日) 14:00~

出品目録(資料データはNo. 資料名 (Pは写真パネル) 年代 点数 所蔵先)

1-1 日本銀行券 一万円札 昭和59年(1984) 1点 慶應義塾福澤研究センター	1-P07 「大日本演説弁士一覧」 明治14年(1881)10月 慶應義塾図書館
1-2 福澤諭吉「独立自尊」 明治33年(1900)頃 1面 慶應義塾福澤研究センター	1-P08 「大日本名家演説人名録」 明治15年(1882)2月25日 慶應義塾福澤研究センター
1-3 福澤邸玄関の鐘と打木 明治時代 2点 慶應義塾福澤研究センター	1-P09 「演説名家一覧」 明治21年(1888)8月 日本新聞博物館
1-4 福澤諭吉遺品 本箱 明治時代 1台 慶應義塾福澤研究センター	1-P10 「大日本朝野官民英名競」 明治15年(1882)11月 日本新聞博物館
1-5 福澤諭吉旧蔵洋書 慶應義塾福澤研究センター	2-1 五雲亭貞秀「野毛村切通シヨリ横浜入口吉田橋野毛橋本町 エモン坂大門遊女屋町并横浜本村遠景」 万延元年(1860)閏3月 1枚 当館
1-6 ウィリアム・エリオット・グリフィス『フルバック伝』 1900年 1冊 慶應義塾福澤研究センター	2-2 福澤諭吉『福翁自伝』原稿 「英学発心」 明治30-31年(1897-98) 1巻 慶應義塾福澤研究センター
1-7 福澤諭吉遺品 名刺と名刺入 明治時代 2点 慶應義塾福澤研究センター	2-3 一玉斎「神奈川港御貿易場御開地御役屋敷並町々寺院社地 ニ至ル迄明細大絵図にあらわす」 安政6年(1859) 1舗 当館
1-8 福澤諭吉遺品 丸印(「福澤」) 明治時代 1点 慶應義塾福澤研究センター	2-4 「御貿易場」 安政6年(1859)5月 木版墨摺 1枚 当館
1-9 福澤諭吉遺品 老眼鏡と眼鏡入 明治時代 1組 慶應義塾福澤研究センター	2-5 『ホルトロップ英蘭蘭英辞書』 1823・24年 2冊 慶應義塾図書館
1-10 福澤諭吉遺品 チョッキ 1着 慶應義塾福澤研究センター	2-6 五雲亭貞秀「神名川横浜新開港図」 万延元年(1860)2月 3枚組 当館
1-11 福澤諭吉遺品 丸テーブル 1台 慶應義塾福澤研究センター	2-7 五雲亭貞秀「横浜商館真図」 文久元年(1861)1月 3枚組 日本通運株式会社
1-12 福澤諭吉遺品 ワイングラス 2点 慶應義塾福澤研究センター	2-8 歌川芳虎「蛮語和解 魯西亜人」 文久3年(1862)7月 1枚 当館
1-13 北沢楽天「晩年の福澤先生」『時事新報』日曜付録 『時事漫画』 昭和6年(1931)3月8日 1冊 日本新聞博物館	2-9 歌川芳虎「蛮語和解 仏郎西人」 文久3年(1862)7月 1枚 当館
1-14 豊原国周「東京無双当以長揃」 明治6-10年(1873-77)頃 1枚 個人	2-10 歌川芳員「異国人酒宴遊楽之図」 万延元年(1860)12月 3枚組 当館
1-P01 福澤諭吉 明治5年(1872)頃 慶應義塾福澤研究センター	2-11 歌川芳虎「蛮国名勝尽競之内英吉利龍動海口」 文久2年(1862)6月 3枚組 当館
1-P02 福澤諭吉 明治7年(1874)10月8日 慶應義塾福澤研究センター	2-12 メキシコドルと日本銀貨交換図 『ジャパンパンチ』 1865年 36.8×25.8 当館
1-P03 福澤諭吉 明治9年(1876)5月1日 慶應義塾福澤研究センター	2-13 五雲亭貞秀『横浜土産 初編』袋 万延元年(1860) 木版多色摺 1枚 当館
1-P04 福澤諭吉 年代未詳 慶應義塾福澤研究センター	2-14 開港期の貿易用貨幣 ①安政二朱銀 ②改三分定銀 安政5年(1858) 2点 当館
1-P05 福澤諭吉 明治20年(1887) 慶應義塾福澤研究センター	
1-P06 「東京演説社会人名一覧」 明治14年(1881)3月28日 当館	

- 2-15 二代 歌川広重「横浜繁栄之図」 慶応元年(1865) 3枚組 当館  
万延元年(1860) 1枚 当館
- 2-16 五雲亭貞秀「横浜細見大雙陸」 万延元年(1860)10月 5枚組(58.3×70.7) 当館
- 2-17 三代 歌川広重「東京汐留鉄道館蒸気車往返之図」 明治5年(1872) 3枚組 鉄道博物館
- 2-18 三代 歌川広重「東京汐留鉄道御開業祭礼図」 明治5年(1872) 3枚組 鉄道博物館
- 2-19 三代 歌川広重「横浜鉄道館蒸気車往返之図」 明治6年(1873)頃 3枚組 当館
- 2-20 鉄道寮 鉄道開業式縦観券 明治5年(1872)9月9日 1枚 当館
- 2-21 八田清助「異人酒宴之図」 嘉永6年(1853)頃 1巻 慶應義塾福澤研究センター
- 2-P01 クニフラー シー・イリス・アンド・コー本社
- 2-P02 こどもの五月祭舞踏会『フランク・レズリーズ・イラストレイテッド』紙 1860年6月9日 当館
- 3-1 『亜墨利加国条約並税則』 安政5年(1858) 1冊 当館
- 3-2 咸臨丸模型 縮尺1/50 1基 当館
- 3-3 鈴藤勇次郎「咸臨丸難航の図」 大正9年(1920) 1枚 木村家(横浜開港資料館保管)
- 3-4 「庚申米利堅航海針路図」 1枚 慶應義塾図書館
- 3-5 木村喜毅写真 慶応4年(1868)頃 1面 木村家(横浜開港資料館保管)
- 3-6 木村喜毅「奉使米利堅紀行」 万延元年(1860) 1冊 慶應義塾図書館
- 3-7 長尾幸作写真(サンフランシスコにて) 万延元年(1860) 1面 慶應義塾福澤研究センター
- 3-8 長尾幸作「亜行日記 鴻目魁耳」 万延元年(1860) 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-9 メーア島米海軍造船所 1枚 木村家 (横浜開港資料館保管)
- 3-10 カメハメハ4世 ハワイ国紋章 万延元年(1860) 1枚 慶應義塾図書館
- 3-11 福澤諭吉写真(サンフランシスコの写真館の少女と) 万延元年(1860) 1面 慶應義塾福澤研究センター
- 3-12 「中津風聞」 万延元年(1860)カ 1点 北九州市立自然史歴史博物館
- 3-13 福沢諭吉『増訂華英通語』 万延元年(1860)8月 2冊 慶應義塾福澤研究センター 個人
- 3-14 「正装した従者」『フランク・レズリーズ・イラストレイテッド』紙 1860年6月9日 1冊 当館
- 3-15 森田岡太郎写真 万延元年(1860) 1枚 個人
- 3-16 森田岡太郎「異域采葍」 万延元年(1860) 1冊 個人
- 3-17 森田岡太郎「亜行日記」 万延元年(1860) 3冊 個人
- 3-18 森田岡太郎「亜米利加渡海出入簿」 万延元年(1860) 1冊 個人
- 3-19 ステレオ写真とビューワー 2点 個人
- 3-20 谷文一「万延元年遣米使節随行スケッチ」のうち「フレドルヒヤコンチネンタルホーテール」 万延元年(1860) 1枚 当館
- 3-21 谷文一「万延元年遣米使節随行スケッチ」のうち「食器と調理品」 万延元年(1860) 1枚 当館
- 3-22 福澤諭吉 土居準平宛書簡 明治31年(1898)6月28日 1通 慶應義塾図書館
- 3-23 福澤諭吉 桂川甫周宛書簡と封筒 文久元年(1861)頃 2点 早稲田大学図書館
- 3-24 福澤諭吉写真と包紙 文久2年(1862) 2点 慶應義塾福澤研究センター
- 3-25 遣欧使節団写真 文久2年(1862) 1枚 当館
- 3-26 「ロンドン万国博覧会開会式」『イラストレイテッドロンドンニューズ』紙 1862年5月10日 1冊 当館
- 3-27 福澤諭吉 島津祐太郎宛書簡 文久2年4月11日(1862年5月9日) 1通 慶應義塾図書館
- 3-28 福澤諭吉 木村喜毅宛書簡 1軸 木村家 (横浜開港資料館保管)
- 3-29 『英清辞書』と包紙 2点 慶應義塾福澤研究センター
- 3-30 西洋人形 石膏 1点 慶應義塾福澤研究センター
- 3-31 オランダ土産の茶碗 1点 慶應義塾福澤研究センター
- 3-32 福澤諭吉『福翁自伝』原稿 「再度米国行」 明治30-31年(1897-98) 1巻 慶應義塾福澤研究センター
- 3-33 福澤諭吉「慶応三年日記」 慶応3年(1867) 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-34 「藩学養賢堂蔵洋書目録」 慶応4年(1868)頃 1冊 早稲田大学図書館
- 3-35 アメリカで購入した教科書 (1)『クアッケンズボス氏 英文典』 1867年 1冊 慶應義塾図書館 (2)『チャンブル氏 窮理書』 刊行年未詳 1冊 慶應義塾図書館 (3)『仏国史』 1862年 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-36 福澤諭吉弾劾関係書類「亜国え召連候外国奉行支配調役格 翻訳方福澤諭吉勤方の義に付入御聴置候書付」(部分) 慶応3年(1867) 1通 慶應義塾福澤研究センター
- 3-37 福澤諭吉弾劾関係書類「福澤諭吉荷物」 慶応3年(1867) 1通 慶應義塾福澤研究センター
- 3-38 アメリカ土産の双眼鏡 1組 慶應義塾福澤研究センター
- 3-39 福澤諭吉『西洋事情』外編 慶応3年(1867) 3冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-40 福澤諭吉『世界国尽』 明治2年(1869) 3冊 神奈川県立図書館
- 3-41 福澤諭吉『西洋衣食住』 慶応3年(1867) 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-42 福澤諭吉『西洋衣食住』版木 1台 慶應義塾中等部
- 3-43 福澤諭吉『改暦弁』 明治6年(1873) 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-44 フランソワ・ギゾー『ヨーロッパの文明史』(福澤諭吉手沢本) 1870年 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-45 ジョン・スチュアート・ミル『女性の隷従』(福澤諭吉手沢本) 1870年 1冊 慶應義塾福澤研究センター

- 3-46 アレクシス・ド・トクヴィル『アメリカの民主主義』  
(福澤諭吉手沢本) 1873年 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 3-P01 咸臨丸乗組員 万延元年(1860)  
慶應義塾福澤研究センター
- 3-P02 ポーハタン号模型 当館
- 3-P03 福澤諭吉と遣欧使節随員 文久2年(1862)  
慶應義塾福澤研究センター
- 3-P04 ベルリンでの遣欧使節一行 文久2年(1862)  
慶應義塾福澤研究センター
- 3-P05 「ロンドン万国博覧会日本館」『イラストレイテッドロンドンニュース』紙 1862年9月20日 当館
- 3-P06 福澤諭吉 レオン・ド・ロニー宛書簡  
1862年6月18日 慶應義塾福澤研究センター
- 3-P07 軍艦受取委員一行 慶応3年(1867)4月29日  
慶應義塾福澤研究センター
- 3-P08 乗馬服姿の福澤諭吉と門下生 明治7年(1874)10月8日  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-1 福澤諭吉「積財如上山」 1軸 慶應義塾幼稚舎
- 4-2 福澤諭吉『実業論』原稿 明治26年(1893) 1枚  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-3 北沢楽天「福澤先生若き日本に西洋文明を教ふ」『肉筆漫画開国六十年史図絵』昭和2年(1927) 1冊 当館
- 4-4 「慶應義塾入社帳」(岩田茂穂) 明治5年(1872) 1冊  
慶應義塾図書館
- 4-5 福澤諭吉『帳合之法』初編 二編 明治6・7年(1873・74)  
4冊 当館
- 4-6 福澤諭吉「金銭出入帳」 明治24・30年(1891・97) 1冊  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-7 福澤諭吉『民間経済録』 明治10年(1877)12月 1冊  
小田原市立図書館
- 4-8 福澤諭吉『民間経済録』版木 1台  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-9 「貿易商会」『横浜諸会社諸商店之図』  
明治19年(1886)頃 1枚 当館
- 4-10 貿易銀 明治8年(1875) 1枚 当館
- 4-11 『日本産物雑品図略』 明治14-17年(1881-84) 1冊  
当館
- 4-12 佐藤百太郎 茶ラベル版木 明治時代 2点  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-13 大日本各海関輸出入物品一覧表  
明治7年(1874)2月 2枚 当館
- 4-14 横浜正金銀行開業免状 明治13年(1880)3月23日 1枚  
当館
- 4-15 横浜正金銀行 『横浜諸会社諸商店之図』  
明治19年(1886)頃 1枚 当館
- 4-16 小泉信吉写真 明治9年(1876)頃 1枚  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-17 川島忠之助写真 明治10年代(1877-86) 1枚 個人
- 4-18 川島忠之助 小泉信吉宛書簡 明治24年(1891)  
12月30日 1枚 個人
- 4-19 福澤諭吉「小泉信吉君を弔す」 明治27年(1894)  
12月9日 1軸 慶應義塾福澤研究センター
- 4-20 横浜正金銀行 日原昌造宛辞令 明治20年(1887)  
7月18日 1枚 慶應義塾福澤研究センター
- 4-21 「丸善書廊」「丸善薬種店」『横浜諸会社諸商店之図』  
明治19年(1886)頃 2枚 当館
- 4-22 川井景一『横浜新誌』初編 明治10年(1877)3月12日  
1冊 当館
- 4-23 早矢仕有の名刺帖 1冊 慶應義塾福澤研究センター
- 4-24 阿部泰蔵 早矢仕有の宛書簡 明治14年(1881)8月16日  
1通 慶應義塾福澤研究センター
- 4-25 「近藤良薫賛育医院」『横浜諸会社諸商店之図』  
明治19年(1886)頃 1枚 当館
- 4-26 「神奈川県管下相模国足柄上郡各邸人名簿」  
明治13年(1880) 1冊 小田原市立図書館
- 4-27 「相模国大住洵綾両郡有志人民国会請願詔盟連署」  
明治13年(1880) 1冊 小田原市立図書館
- 4-28 「国会開設ノ儀ニ付建言」 明治13年(1880) 1冊  
小田原市立図書館
- 4-29 「国会開設ノ儀ニ付建言」 明治13年(1880)6月7日  
1枚 当館
- 4-30 交詢社発会臨席之証 明治13年(1880)1月 1枚  
雨岳文庫
- 4-31 『交詢雑誌』第1号 明治13年(1880)2月 1冊  
慶應義塾図書館
- 4-32 『箱根熱海温泉道案内』 明治10年(1877)9月2日 1枚  
当館
- 4-33 福澤諭吉 福住正兄宛書簡 明治6年(1873)4月2日  
1通 萬翠楼福住(報徳博物館寄託)
- 4-34 福澤諭吉『学問のすゝめ』 明治6-9年(1873-76) 1冊  
神奈川県立図書館
- 4-35 十一代福住九蔵「日誌」 明治24年(1891) 1冊  
萬翠楼福住(箱根町立郷土資料館寄託)
- 4-36 福澤諭吉「乙未元旦遊箱根」 明治28年(1895) 1軸  
萬翠楼福住
- 4-37 「箱根道普請の相談」『足柄新聞』第6号 明治6年(1873)  
1冊 神奈川県立図書館
- 4-38 福澤諭吉遺品 塔之沢で求めた硯箱 1組  
慶應義塾福澤研究センター
- 4-39 福澤諭吉・小幡篤次郎 菅治兵衛宛書簡 明治13年(1880)  
11-12月 1巻 個人
- 4-40 福澤諭吉 山口仙之助宛書簡 明治22年(1889)4月29日  
1通 慶應義塾福澤研究センター
- 4-41 「大日本箱根全図」 明治14年(1881)5月27日 1枚  
当館
- 4-42 美沢進写真 大正5年(1916)11月3日 1面  
横浜市立横浜商業高等学校
- 4-43 横浜商業学校規則 明治30年(1897)12月改正 1冊  
神奈川県立図書館
- 4-44 神奈川県庁 美沢進宛辞令 明治29年(1896)12月23日

1通 横浜市立横浜商業高等学校	4-P13 福澤諭吉「独立自尊迎新世紀」 明治34年(1901)
4-45 横浜商業学校第4期卒業記念写真 明治25年(1892)	1月1日 慶應義塾福澤研究センター
1枚 横浜市立横浜商業高等学校	5-1 日吉台実測図 原図:昭和4年(1929) 1枚
4-46 横浜商業学校第9回大試験点数記入仮簿	慶應義塾福澤研究センター
明治30年(1897)3月 1冊 横浜市立横浜商業高等学校	5-2 日吉校舎建設写真帖 昭和9年(1934) 2冊
4-47 在職20年記念式美沢進事績商業学校沿革 明治34年	慶應義塾福澤研究センター
(1901)3月20日 1巻 横浜市立横浜商業高等学校	5-3 戦前出土の弥生土器
4-48 美沢進「独立自尊迎新世紀」由緒書 明治34年(1901)	弥生時代後期～古墳時代初頭(1～3世紀) 6点 慶應義塾
1軸 慶應義塾福澤研究センター	5-4 戦後出土の弥生土器
4-49 福澤諭吉「戊子之夏遊于鎌倉」 1軸 個人	弥生時代後期(2～3世紀) 5点 慶應義塾
(慶應義塾福澤研究センター寄託)	5-5 加瀬白山古墳出土遺物
4-50 福澤諭吉 福澤一太郎宛書簡 明治20年(1887)9月14日	古墳時代前期(4世紀) 5点 慶應義塾
1通 慶應義塾福澤研究センター	5-6 観音松古墳出土遺物
4-51 「相模国鎌倉名所及江之島全図」	古墳時代前期(4世紀) 4点 慶應義塾
明治29年(1896)8月19日 1枚 当館	5-7 重要文化財 日吉矢上古墳出土遺物
4-52 鎌倉御休泊所三橋与八引札 木版多色摺 1枚	古墳時代中期(5世紀) 点 慶應義塾
神奈川県立図書館	5-8 日吉台地下壕遺物
4-53 三橋旅館給葉書 5枚 神奈川県立図書館	昭和10年代(1935-24)頃 8点 慶應義塾
4-P01 正金銀行設立之儀ニ付上申 重要文化財「公文録」	5-9 日吉返還の鍵 昭和24年(1949) 1点
明治12年(1879)12月12日 国立公文書館	慶應義塾福澤研究センター
4-P02 福澤諭吉 大隈重信宛書簡 明治12年(1879)10月5日	5-10 岩宿時代の石核接合資料 慶應義塾
早稲田大学図書館	5-11 縄文時代草創期石器 慶應義塾
4-P03 横浜正金銀行へ開業免状下付之儀ニ付上申 重要文化財	5-12 縄文土器 慶應義塾
「公文録」 明治13年(1880)2月23日 国立公文書館	5-13 縄文時代中期土器 慶應義塾
4-P04 中村道太 当館	5-14 弥生時代集落模型 1/300 慶應義塾
4-P05 明治18、19年頃の横浜正金銀行役員	5-15 古墳時代前期勾玉土器 慶應義塾
明治18、19年(1885、86)頃 個人	5-16 宇宙に飛んだ「独立自尊」 1枚
4-P06 早矢仕有的 当館	慶應義塾福澤研究センター
4-P07 旧福沢村天福寺 平成20年(2008)撮影	5-17 宇宙に飛んだ『学問のすゝめ』 1冊
4-P08 湯本福住旅館 明治18-26年(1885-93)	慶應義塾福澤研究センター
箱根町立郷土資料館	5-18 宇宙ソロバン 1台 慶應義塾大学理工学部
4-P09 塔之沢福住旅館 明治13年(1880)以降 個人	5-19 JAXA 証明書 1枚 慶應義塾大学理工学部
4-P10 福住正兄 報徳博物館	5-P01 慶應義塾日吉キャンパス 昭和10年(1935)頃
4-P11 山口仙之助 個人	慶應義塾福澤研究センター
4-P12 横浜商業学校 明治30年(1897)7月	5-P02 慶應義塾日吉キャンパス 平成20年(2008)撮影
横浜市立横浜商業高等学校	慶應義塾福澤研究センター
5-P03 「沿線案内 東横目蒲電車」 昭和10年(1935)	5-P10 縄文時代早期炉穴 慶應義塾
横浜都市発展記念館	5-P11 鉄鍋をかぶった人骨 慶應義塾
5-P04 発掘現場を視察する塾長小泉信三 昭和12年(1937)5月	5-P12 慶應義塾湘南藤沢キャンパス 平成20年(2008)撮影
慶應義塾福澤研究センター	慶應義塾広報室
5-P05 連合艦隊司令部地下壕作戦室 平成18年(2006)	5-P13 重要文化財史跡 当館(旧横浜正金銀行本店本館)
慶應義塾広報室	平成16年(2004)撮影 当館
5-P06 米軍接收時代の日吉校舎 昭和23年(1948)	5-P14 同 重要文化財指定書 昭和44年(1969)3月12日
慶應義塾福澤研究センター	当館
5-P07 日吉校舎返還式 昭和24年(1949)10月1日	5-P15 重要文化財 慶應義塾旧図書館
慶應義塾福澤研究センター	慶應義塾福澤研究センター
5-P08 慶應義塾湘南藤沢キャンパス遺跡 慶應義塾	5-P16 同 重要文化財指定書 昭和44年(1969)3月12日
5-P09 縄文時代草創期の住居遺構 慶應義塾	慶應義塾福澤研究センター

## ウ「鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界」

○概要： 鎌倉幕府の置かれた鎌倉には、様々な宗教者が往来して信仰の拠点を形成した。このようななかで、真言や天台、浄土の教学を母胎として、また中国から伝わった禅も加わり、いわゆる鎌倉新仏教といわれる諸派が発生する。なかでも日蓮の信仰は、「法華経」を唯一絶対のものとするという点で際立っていた。

信仰は、師の没後も多くの弟子によって伝えられ、鎌倉という交通の要衝につくられた信仰の拠点を中心として広範に普及していった。現在でもなお鎌倉には、数多くの日蓮宗寺院が存在し、年間を通じて参詣者で賑わいをみせている。

本展覧会では、神奈川県にゆかりの深いこれら日蓮宗寺院の遺宝を、一同に会し、展示し、日蓮の信仰が中世の人びとに何を訴え、どのように人びとに受容され、ひろめられていったかを、当時の社会、都市のあり方とともに考察した。

○会 期：平成21年10月17日(土)～11月29日(日)

○主 催：神奈川県立歴史博物館・日蓮宗神奈川第二部宗務所・文化庁

○展示資料件数：177件

○入場者数：14,488名(有料4,902名/無料9,586名)

○担 当：主任学芸員 古川 元也

○関連行事

(1) 特別展記念講演会

①日 時：11月3日(火・祝)14:00～16:00

演 題：「「日蓮聖人」の美術」

講 師：東京立正短期大学 学長 坂輪 宣敬 氏

②日 時：11月23日(月・祝)14:00～16:00

演 題：「日蓮の生涯と立正安国論」

講 師：立正大学 名誉教授 中尾 堯 氏

(2) 県博講座(主として当館の学芸員による連続講座。無料。14:00～16:00)

テーマ：「中世東国と日蓮信仰」(全5回)

内 容：鎌倉時代の日蓮信仰を中心に、相模国の法華寺院や教団絵画の多様性についてなど、日蓮信仰を通じて中世東国の信仰世界についての理解を深める。

①日 時：10月24日(土)14:00～16:00

講 師：「中世人の信仰と日蓮教団」

演 題：当館主任学芸員 古川 元也

②日 時：10月31日(土)14:00～16:00

演 題：「相模国の法華寺院と信仰の道」

講 師：身延山大学 教授 望月 真澄 氏

③日 時：11月7日(土)14:00～16:00

演 題：「中世日蓮教団絵画の多様性」

講 師：当館学芸員 梅沢 恵

④日 時：11月14日(土)14:00～16:00

演 題：「三浦半島の日蓮信仰」

講 師：泉福寺 住職 丸山 邦雄 氏

⑤日 時：11月21日(土)14:00～16:00

演 題：「日蓮聖教のおもしろさ」



講師：身延山大学 教授 寺尾 英智 氏

(3) 特別展展示解説 各回 13:30～ 担当：当館主任学芸員 古川 元也

①10月25日(日)、②11月15日(日)

出品目録 (No. 指定 資料名 時代 年号 所蔵)

※指定記号は◎国指定重要文化財、○都・県指定文化財、□市指定文化財

- |   |   |
|---|---|
| 1 日蓮聖人坐像 桃山時代 16世紀 本政寺(大阪)                            | 31 日蓮聖人書状(大学三郎殿御書) 鎌倉時代 建治元年・1275<br>本土寺(松戸)                  |
| 2 日蓮聖人坐像 江戸時代 元禄7年・1694 大明寺(三浦)                       | 32 日蓮聖人書状断簡 鎌倉時代 13世紀 海源寺(海老名)                                |
| 3 日蓮聖人坐像 室町時代 15世紀 妙法寺(鎌倉・名瀬)                         | 33 日蓮聖人書状断簡 鎌倉時代 13世紀 海源寺(海老名)                                |
| 4 日蓮聖人坐像附属厨子 江戸時代 17世紀 妙法寺(鎌倉・名瀬)                     | 34 北条時頼像 室町時代 15世紀 神奈川県立歴史博物館(横浜)                             |
| 5 日蓮聖人坐像 室町時代 永正11年・1514 上国寺(茅ヶ崎)                     | 35 吾妻鑑 江戸時代 17世紀 神奈川県立歴史博物館(横浜)                               |
| 6 日蓮聖人坐像 室町時代 永禄7年・1564 信隆寺(茅ヶ崎)                      | 36 立正安国論 南北朝時代 建武3年・1336 正覚寺(千葉・多古)                           |
| 7 日蓮聖人坐像 室町時代 大永7年・1527 常顕寺(茅ヶ崎)                      | 37 観心本尊抄 南北朝時代 建武4年・1337 正覚寺(千葉・多古)                           |
| 8 日蓮聖人像(説法御影) 室町時代 16世紀<br>浄永寺(小田原)・鎌倉国宝館保管           | 38 立正安国論 室町時代 16世紀 久遠寺(身延)                                    |
| 9◎日蓮聖人像(水鏡御影) 鎌倉時代 13世紀 浄光院(市川)                       | 39 立正安国論 室町時代 16世紀 妙本寺(鎌倉)                                    |
| 10 日蓮聖人像(生ノ御影模本) 桃山時代 17世紀 久遠寺(身延)                    | 40◎蓮唐草鳳凰蒔絵三重箱 江戸時代 正保3年・1646<br>中山法華経寺(市川)                    |
| 11 日蓮聖人像 室町時代 16世紀 誕生寺(鴨川)                            | 41○日蓮聖人御遷化記録 鎌倉時代 13世紀 本覚寺(静岡)                                |
| 12 日蓮聖人像(波木井御影) 室町時代 16世紀 久遠寺(身延)                     | 42◎授決円多羅義集唐決 鎌倉時代 嘉禎4年・1238 称名寺(横浜)・<br>神奈川県立金沢文庫保管           |
| 13 日蓮聖人像 室町時代 16世紀 本土寺(松戸)                            | 43◎五輪九字秘釈 鎌倉時代 建長6年・1254<br>称名寺(横浜)・神奈川県立金沢文庫保管               |
| 14 妙法蓮華経 平安時代 11世紀 神奈川県立歴史博物館(横浜)                     | 44◎大方等大集経 卷第四・十一(宋版一切経のうち和版) 鎌倉時代<br>13世紀 称名寺(横浜)・神奈川県立金沢文庫保管 |
| 15 妙法蓮華経(天・地) 江戸時代 18世紀 光明寺(小田原)                      | 45◎摩訶般若波羅密多経卷第十五(宋版一切経のうち和版) 鎌倉時代<br>13世紀 称名寺(横浜)・神奈川県立金沢文庫保管 |
| 16 こけら経(妙法蓮華経書写) 南北朝～室町時代 14～15世紀<br>鎌倉市教育委員会・鎌倉国宝館保管 | 46◎宗要集袖帳私見聞 鎌倉時代 文保元年・1317<br>称名寺(横浜)・神奈川県立金沢文庫保管             |
| 17 印判(宝塔・法華文字陽刻) 鎌倉時代 13世紀<br>鎌倉市教育委員会・鎌倉国宝館保管        | 47◎本朝文粹(北条時頼本) 鎌倉時代 建治2年・1276 久遠寺(身延)                         |
| 18 銅鐘および海中出現経 南北朝時代 元徳2年・1330<br>圓照寺(横須賀)             | 48 日朗上人坐像 室町時代 永禄7年・1564 安国論寺(鎌倉)                             |
| 19 日蓮聖人曼荼羅本尊 鎌倉時代 建治元年・1275<br>妙本寺(鎌倉)・鎌倉国宝館保管        | 49◎日朗上人書状 鎌倉時代 正和4年・1315 妙顕寺(京都)                              |
| 20 日蓮聖人曼荼羅本尊 鎌倉時代 弘安3年・1280<br>妙本寺(鎌倉)・鎌倉国宝館保管        | 50 日朗上人議状 鎌倉時代 応長2年・1312 妙本寺(鎌倉)                              |
| 21 日蓮聖人曼荼羅本尊 鎌倉時代 弘安3年・1280 妙海寺(沼津)                   | 51 日朗上人本尊 鎌倉時代 正応4年・1291 妙本寺(鎌倉)                              |
| 22 日蓮聖人曼荼羅本尊 鎌倉時代 文永8年・1271 立本寺(京都)                   | 52 日朗上人本尊 鎌倉時代 文保2年・1318 妙顕寺(京都)                              |
| 23 日蓮聖人曼荼羅本尊 鎌倉時代 文永11年カ・1274 本土寺(松戸)                 | 53 日朗上人本尊 鎌倉時代 正和2年・1313 妙本寺(鎌倉)                              |
| 24 日蓮聖人書状(諸人御返事) 鎌倉時代 弘安元年・1278<br>本土寺(松戸)            | 54 日像上人本尊 南北朝時代 暦応3年・1340 妙本寺(鎌倉)                             |
| 25 日蓮聖人書状(土木殿御返事) 鎌倉時代 文永8年・1271<br>本満寺(京都)           | 55 日常上人本尊 鎌倉時代 永仁5年・1297正覚寺(千葉・多古)                            |
| 26 日蓮聖人書状(五人土籠御書) 鎌倉時代 文永8年・1271<br>妙覚寺(京都)           | 56 日像上人本尊 南北朝時代 暦応5年・1342 立正寺(豊岡)                             |
| 27 日蓮聖人書状(富城入道殿御返事) 鎌倉時代 弘安2年カ・1279<br>本土寺(松戸)        | 57 大覚上人絵曼荼羅 南北朝時代 延文6年・1361 妙顕寺(京都)                           |
| 28 日蓮聖人書状(富城殿女房尼御前御書) 鎌倉時代<br>弘安2年カ・1279 誕生寺(鴨川)      | 58 日壽上人絵曼荼羅 南北朝時代 至徳元年・1384 妙顕寺(京都)                           |
| 29 日蓮聖人書状(富木殿御書) 鎌倉時代<br>文永11年・1274 鏡忍寺(鴨川)           | 59 伝大覚上人絵曼陀羅 南北朝時代 14世紀 妙顕寺(京都)                               |
| 30 日蓮聖人書状(中務左衛門尉殿御返事) 鎌倉時代<br>弘安元年・1278 立本寺(京都)       | 60 板碑(題目陰刻) 鎌倉時代 嘉元4年・1306 鎌倉国宝館(鎌倉)                          |
|   | 61 釈迦および多宝如来坐像 南北朝時代、室町時代 14世紀<br>応永6年・1399 大明寺(三浦)           |
|   | 62 釈迦および多宝如来坐像 南北朝時代 建武5年・1338<br>中山法華経寺(市川)                  |
|   | 63 釈迦如来立像 南北朝時代 14世紀 誕生寺(鴨川)                                  |
|   | 64 足利尊氏御判御教書 南北朝時代 文和元年・1352 妙本寺(鎌倉)                          |

65 足利時氏書下 室町時代 応永22年・1415 妙本寺(鎌倉)  
66 藤原範綱施入注文 鎌倉時代 応長2年・1312 藻原寺(茂原)  
67 日蓮聖人坐像 室町時代 15世紀 日本寺(千葉)  
68 富木日常坐像 室町時代 15世紀 日本寺(千葉)  
69 仏像伽藍記 室町時代 永正年間・1504~21 藻原寺(茂原)  
70 前机 桃山時代 天正13年・1585 妙本寺(鎌倉)  
71 〇懸盤 室町時代 15世紀 長勝寺(鎌倉)・鎌倉国宝館保管  
72 太鼓 江戸時代 安政2年・1855 蓮生寺(厚木)  
73 燭台 室町時代 永享4年・1432 長勝寺(鎌倉)  
74 〇雲盤 南北朝時代 建武4年・1337 妙本寺(鎌倉)  
75 〇鰐口 室町時代 文明10年・1478 藻原寺(茂原)  
76 〇鰐口 室町時代 永正12年・1515 長勝寺(鎌倉)  
77 〇鰐口 室町時代 応永3年・1396 妙真寺(三浦)  
78 〇梵鐘 室町時代 応永17年・1410 本覚寺(鎌倉)  
79 日栄上人坐像 室町時代 文安5年・1448 大明寺(三浦)  
80 〇石渡氏夫妻坐像 室町時代、江戸時代 永享7年・1435、  
17世紀 大明寺(三浦)  
81 日静上人坐像 室町時代 宝徳2年・1450 大明寺(三浦)  
82 日蓮聖人坐像 室町時代 15世紀 大明寺(三浦)  
83 日昭上人坐像 江戸時代 17世紀 妙法寺(鎌倉・名瀬)  
84 〇大島正時坐像 江戸時代 17世紀 海原寺(海老名)  
85 本間重連坐像 江戸時代 18世紀 妙純寺(厚木)  
86 〇日英上人坐像 江戸時代 寛永11年・1634 妙隆寺(鎌倉)  
87 千葉胤貞坐像 江戸時代 寛永11年カ・1634 妙隆寺(鎌倉)  
88 日輪上人本尊 南北朝時代 康永2年・1343 妙本寺(鎌倉)  
89 日輪上人本尊 南北朝時代 観応元年・1350 妙本寺(鎌倉)  
90 日出上人本尊 室町時代 嘉吉2年・1442 本覚寺(鎌倉)  
91 日朝上人坐像 江戸時代 18世紀 覚林坊(身延)  
92 日朝上人書状 室町時代 15世紀 本覚寺(鎌倉)  
93 日朝上人聖教 室町時代 15世紀 久遠寺(身延)  
93-1 三日講(第六) 室町時代 文明元年・1469 久遠寺(身延)  
93-2 要法文(下巻) 室町時代 寛正2年・1461 久遠寺(身延)  
94 仏涅槃図 南北朝時代 14世紀 妙本寺(岡山・野山)  
95 〇釈迦八相図 鎌倉時代 14世紀 久遠寺(身延)  
96 〇法華経曼荼羅図 鎌倉時代 14世紀 本興寺(静岡)  
97 〇宝塔絵曼荼羅 南北朝時代 14世紀 本興寺(横浜)  
98 宝塔絵曼荼羅 室町時代 16世紀 正覚寺(千葉・多古)  
99 十界勧請大曼荼羅 室町時代 16世紀 妙本寺(野山)  
100 三十番神像 南北朝時代 14世紀  
称名寺(横浜)・神奈川県立金沢文庫保管  
101 三十番神像 江戸時代 正保4年・1647 常圓寺(新宿)  
102 三十番神像 江戸時代 寛永19年・1642 安国論寺(鎌倉)  
103 番神問答 室町時代 明応6年・1497 妙本寺(野山)  
104 三十番神立像 江戸時代 万治元年・1658 海原寺(海老名)  
105 〇十羅刹女像 南北朝時代 14世紀 浄光院(市川)  
106 十羅刹女像 室町時代 16世紀 正覚寺(千葉・多古)  
107 十羅刹女立像 江戸時代 正徳年間・1711~16 海原寺(海老名)  
108 妙国寺文書 室町時代 16世紀  
天妙国寺(品川)・品川歴史館保管  
108-1 鎌倉公方足利成氏判物 室町時代 宝徳2年・1450  
天妙国寺(品川)・品川歴史館保管

108-2 前上総介定景領寄進状 室町時代 永享8年・1436  
天妙国寺(品川)・品川歴史館保管  
108-1 本光寺日鏡寺地相博状 室町時代 文明8年・1476  
天妙国寺(品川)・品川歴史館保管  
109 〇妙国寺境内絵図 江戸時代 17世紀  
天妙国寺(品川)・品川歴史館保管  
110 両尊供養記 桃山時代 16世紀 本壽寺(京都)  
111 妙法蓮華経 室町時代 文明15年・1483 本土寺(松戸)  
112 妙法蓮華経 鎌倉時代 弘安7年・1284 本土寺(松戸)  
113 透鳳華籠 室町時代 永正5年・1508 本土寺(松戸)  
114 本土寺過去帳 室町~江戸時代 16~17世紀 本土寺(松戸)  
115 妙本寺大堂常什過去帳 江戸時代 宝永4年・1707 妙本寺(鎌倉)  
116 〇日親上人坐像 江戸時代 寛永11年・1634 妙隆寺(鎌倉)  
117 日親上人德行記(上・下) 江戸時代 元禄16年・1703  
本法寺(京都)  
118 日親上人德行記版木 江戸時代 元禄16年・1703 本法寺(京都)  
119 伝燈鈔 室町時代 15世紀 本法寺(京都)  
120 日蓮聖人註画讃 桃山時代 16世紀 鏡忍寺(鴨川)  
121 〇日蓮聖人法難絵 江戸時代 元和2年・1616 安国論寺(鎌倉)  
122 日蓮聖人註画讃 江戸時代 元和5年・1619以前 安国論寺(鎌倉)  
123 千葉胤貞寄進状 室町時代 弘治3年・1557 正覚寺(千葉・多古)  
124 永享問答記 室町時代 永享8年・1436 本覚寺(鎌倉)  
125 本覚寺梵鐘由来記 江戸時代 17世紀 本覚寺(鎌倉)  
126 出家法則 室町時代 永正3年・1506 藻原寺(茂原)  
127 〇雑々抄 室町時代 天文23年・1554 藻原寺(茂原)  
128 日慈上人寄進状 室町時代 天文3年・1534 妙本寺(鎌倉)  
129 本覚寺重書目録 江戸時代 慶長9年・1605 本覚寺(鎌倉)  
130 日淳上人書状 室町時代 天文3年・1534 正覚寺(千葉・多古)  
131 〇渋谷上人信忠寄進状 室町時代 永禄13年・1570 藻原寺(茂原)  
132 日惺上人催促状 室町時代 天正13年・1585 妙本寺(鎌倉)  
133 長尾景虎制札 室町時代 永禄4年・1561 妙本寺(鎌倉)  
134 明版法華経(卷一・七) 明時代 1451年 久遠寺(身延)  
135 本覚寺文書 室町~江戸時代 16~19世紀 本覚寺(鎌倉)  
135-1 北条家朱印状 室町時代 天文16年・1547 本覚寺(鎌倉)  
135-2 北条家朱印状 室町時代 天文22年・1553 本覚寺(鎌倉)  
135-3 北条氏康判物 室町時代 弘治3年・1557 本覚寺(鎌倉)  
135-4 北条家朱印状 室町時代 弘治3年・1557 本覚寺(鎌倉)  
135-5 豊臣秀吉禁制 室町時代 天正18年・1590 本覚寺(鎌倉)  
136 〇北条家朱印状(浦島文書のうち) 室町時代 永享2年・1559  
横須賀市教育委員会  
137 〇北条家禁制(藻原寺文書のうち) 室町時代 天正3年・1575  
藻原寺(茂原)  
138 日藝上人棟札 室町時代 永禄2年・1559 本興寺(鎌倉)  
139 日鏡上人棟札 室町時代 永禄元年・1558 久遠寺(身延)  
140 〇仁王像胎内銘札 室町時代 永禄6年・1563 藻原寺(茂原)  
141 日蓮聖人板曼荼羅本尊 室町時代 天正13年・1585  
妙本寺(鎌倉)  
142 仏涅槃図 江戸時代 天明5年・1785 蓮生寺(厚木)  
143 祖師涅槃図 江戸時代 元禄6年・1693 大乘寺(小田原)  
144 〇妙見菩薩倚像 鎌倉時代 14世紀 妙光寺(千葉・多古)  
145 妙見菩薩立像 江戸時代 18世紀 法蓮寺(小田原)

146 妙見図 江戸時代 18世紀 大乘寺(小田原)  
 147 弁財天女出現図 室町時代 16世紀 妙伝寺(厚木)  
 148 七面大明神倚像 江戸時代 18世紀 覚林坊(身延)  
 149 七面大明神像 江戸時代 寛文元年・1661 個人(小田原)  
 150 身延山図経 江戸時代 18世紀 久遠寺(身延)  
 151 身延道の記 江戸時代 17世紀 隆盛寺(平塚)  
 152 身延山図 江戸時代 18世紀 御塔生福寺(小田原)  
 153 清正公坐像 江戸時代 18世紀 光明寺(小田原)  
 154 加藤清正像 桃山時代 慶長16年・1611 本壽寺(京都)  
 155 摩利支天像 中国 明時代 16世紀 本法寺(京都)  
 156 摩利支天像之添状 桃山時代 16世紀 本法寺(京都)  
 157 摩利支天記 江戸時代 17世紀 本法寺(京都)  
 158 摩利支天像 江戸時代 18世紀 本壽寺(京都)  
 159 摩利支天像版木 江戸時代 18世紀 本壽寺(京都)  
 160 本壽寺摩利支天縁起版木 江戸時代 18世紀 本壽寺(京都)  
 161 鬼子母神・十羅刹女立像 江戸時代 18世紀 光明寺(小田原)  
 162 鬼子母神立像 桃山時代 天正8年・1581 法蓮寺(小田原)  
 163 鬼子母神立像 明治時代 明治25年・1892 安国寺(小田原)

164 鬼子母神像 江戸時代 18世紀 蓮華寺(小田原)  
 165 鬼子母神像 江戸時代 18世紀 安国寺(小田原)  
 166 鬼子母神像 江戸時代 19世紀 安国寺(小田原)  
 167 諸国法華霊場記 江戸時代 嘉永5年・1852 妙栄寺(静岡)  
 168 江戸出開帳書類(妙法寺文書のうち) 江戸時代 元文2年・1737  
 妙法寺(鎌倉)  
 169 星降井二境内絵図 江戸時代 寛文5年・1665 妙伝寺(厚木)  
 170 金谷山永代不易法律 江戸時代 17～19世紀 大明寺(三浦)  
 171 泉福寺文書 江戸時代 文政9年・1827 泉福寺(横須賀)  
 172 日蓮聖人像 江戸時代 17世紀 妙純寺(厚木)  
 173 日蓮聖人像 江戸時代 17世紀 妙伝寺(厚木)  
 174 日蓮聖人像 江戸時代 寛保元年・1741 隆盛寺(平塚)  
 175 久成寺縁起 江戸時代 嘉永2年・1849 久成寺(鎌倉)  
 176 高祖遺文録 江戸時代 慶応年間・1865～68 身延山大学図書館  
 177 日蓮大士真実伝 江戸時代 慶応年間・1865～68 身延山大学図書館

## エ「彩色立面図に見る日本の近代建築 — 銀行・オフィスビルから邸宅まで — 前期 神奈川県編」

- 会 期：平成22年2月20日(土)～3月28日(日)
- 主 催：神奈川県立歴史博物館
- 展示資料件数：60件
- 入場者数：3,849名(有料2,030名、無料1,819名)
- 担 当：学芸員 丹治雄一

○概 要： 本展は、横浜市在住の建築家・岡義男氏が描いた彩色立面図さいしきりつめんずにより日本の近代建築の魅力を紹介したものである。

横浜開港と同時に外国文化摂取の窓口となった神奈川県域には、現在もなお横浜をはじめとした各所に多くの近代洋風建築が遺されている。また、全国各地にも明治・大正・昭和戦前期に建てられた歴史的建造物は数多くあり、近年こうした近代建築や近代化遺産(産業遺産)への関心が高まりを見せていることは周知の通りである。

岡氏は、こうした本県内の近代建築をはじめ、東京さらには全国各地に遺された近代建築の彩色立面図を描き続けている。彩色立面図とは、建物正面の外観を建築図面の立面図風に極めて精細に描いた水彩画である。創建時の図面を基本資料に、写真や文献など各種資料を収集・分析し、現地での建物細部の撮影調査も行った上で、それぞれの建物の創建時の姿を描くことを制作にあたっての基本方針としており、建物の外壁の煉瓦やスクラッチタイルの質感、柱頭飾りの意匠を精細に描きながら、下書きまですべてが手描きで、どこか温かみも感じることが出来る画風となっている。

本展では岡氏が描いた彩色立面図を中心に、現況写真や設計図面建築部材等の関係資料も紹介しながら、横浜をはじめ県内各地に残る銀行などのオフィスビルや教会、住宅建築などを紹介した。

### ○関連行事

#### (1) 特別展記念講演会

日 時：3月14日(日) 14:00～16:00  
 演 題：「かながわを築いた建築家と建築物」  
 講 師：横浜国立大学大学院 教授 吉田 鋼市 氏



(2) 特別展記念ミュージアムコンサートとドーム公開

日 時：2月20日(土) 14:00~15:30

内 容：「かながわ音楽コンクール」フルート部門上位入賞者によるソロコンサートと、  
当館屋上ドームの見学

演 奏：青木 智佳子 氏 (第25回かながわ音楽コンクール、一般の部、3位入賞)

(3) 特別展展示解説 各回 13:30~ 担当：当館学芸員 丹治 雄一

① 3月7日(日)、② 3月21日(日)

出品目録〔彩色立面図〔親番号のみ〕は No. 資料名 制作年代 建物創建年代〕  
関連資料〔枝番号あり〕は No. 資料名 年代 所蔵者〕\*彩色立面図はすべて岡義男氏所蔵

1 旧横浜正金銀行本店本館 (当館) 2009 (平成 21) 年 10 月 1904 (明治 37) 年 7 月	2002 (平成 14) 年 4 月制作 1928 (昭和 3) 年 10 月
1-1 妻木頼黄像 1916 (大正 5) 年頃 当館	18-1 神奈川県庁舎石膏模型 1928 (昭和 3) 年 神奈川県総務部庁舎管理課
1-2 横浜正金銀行本店外観写真〔「横浜正金銀行本支店建築写真 アルバム」所収〕 1904 (明治 37) 年 当館	19 旧第一銀行横浜支店 (旧横浜銀行本店別館、ヨコハマクリエ イティブシティセンター) 2003 (平成 15) 年 8 月制作 1929 (昭和 4) 年 3 月
2 旧三井物産横浜支店 (三井物産横浜ビル) 2009 (平成 21) 年 9 月制作 1911 (明治 44) 年 8 月 (1 号ビル、2 号ビルは 1927 年)	20 旧横浜商工奨励館 (横浜情報文化センター) 2007 (平成 19) 年 3 月制作 1929 (昭和 4) 年 4 月
3 旧新港埠頭煉瓦 2 号上屋 (横浜赤レンガ倉庫 2 号館) 2002 (平成 14) 年 11 月制作 1911 (明治 44) 年 5 月	21 旧安田銀行横浜支店 (旧富士銀行横浜支店、東京藝術大学大 学院) 2007 (平成 19) 年 8 月制作 1929 (昭和 4) 年 10 月
3-1 旧新港埠頭煉瓦 2 号上屋保存部材のうち 煉瓦 1911 (明治 44) 年 横浜市港湾局	22 旧横浜地方裁判所 (横浜地方簡易裁判所) 2009 (平成 21) 年 4 月 1929 (昭和 4) 年 12 月
3-2 旧新港埠頭煉瓦 2 号上屋保存部材のうち 吊り扉の戸車 1911 (明治 44) 年 横浜市港湾局	23 旧三井銀行横浜支店 (三井住友銀行横浜支店) 2006 (平成 18) 年 5 月制作 1931 (昭和 6) 年 3 月
4 西谷浄水場ろ過池整水室上屋浄水井上屋 2008 (平成 20) 年 5 月制作 1915 (大正 4) 年	24 旧越前屋百貨店 (横浜松坂屋西館) 2008 (平成 20) 年 1 月制作 1931 (昭和 6) 年 4 月
5 開港記念横浜会館 (横浜市開港記念会館) 2008 (平成 20) 年 9 月制作 1917 (大正 6) 年 6 月	25 旧横浜英国総領事館 (横浜開港資料館旧館) 2002 (平成 14) 年制作 1931 (昭和 6) 年
6 旧露亜銀行横浜支店 2002 (平成 14) 年 8 月制作 1921 (大正 10) 年	26 旧大倉精神文化研究所 (横浜市大倉山記念館) 2009 (平成 21) 年 4 月制作 1932 (昭和 7) 年 4 月
7 旧川崎銀行横浜支店 (日本興亜馬車道ビル) 2003 (平成 15) 年 2 月制作 1922 (大正 11) 年	27 横浜海岸教会 2007 (平成 19) 年 5 月制作 1933 (昭和 8) 年 3 月
8 旧中沢邸 (旧園田邸、山手資料館) 2006 (平成 18) 年 5 月制作 1909 (明治 42) 年	28 横浜税関本関庁舎 2004 (平成 16) 年 8 月制作 1934 (昭和 9) 年 3 月
9 旧内田家住宅 (外交官の家) 2003 (平成 15) 年 3 月制作 1910 (明治 43) 年	29 旧川崎第百銀行横浜支店 (旧三菱銀行横浜支店) 2003 (平成 15) 年 3 月制作 1934 (昭和 9) 年 5 月
10 旧柳下邸 2009 (平成 21) 年 5 月制作 1919 (大正 8) ~ 1920 年 (一部 1924 年)	29-1 旧川崎第百銀行横浜支店営業室内扉枠持送り 1934 (昭和 9) 年 横浜都市発展記念館
11 横浜ユナイテッドクラブ 2008 (平成 20) 年 12 月制作 1901 (明治 34) 年 2 月 (現存せず)	30 旧野澤屋呉服店 (旧横浜松坂屋本館) 2008 (平成 20) 年 3 月制作 1934 (昭和 9) 年 9 月 (当初建物は 1921 (大正 10) 年 1 月、1929 (昭和 4) 3437 年ほか増築)
11-1 横浜ユナイテッドクラブ彩色写真 明治時代末期 横浜開港資料館	31 旧横浜銀行集会所 (横浜銀行協会) 2007 (平成 19) 年 7 月制作 1936 (昭和 11) 年 7 月
12 横浜市役所 2008 (平成 20) 年 12 月制作 1911 (明治 44) 年 6 月 (現存せず)	31-1 横浜銀行集会所新築工事関係資料 1935 (昭和 10) 年 横浜銀行協会
12-1 横浜市役所 (『神奈川県写真帖』所収) 1913 (大正 2) 年 当館	31-2 横浜銀行集会所石膏模型 1936 (昭和 11) 年 横浜銀行協会
13 神奈川県庁舎 (三代目) 2009 (平成 21) 年 1 月制作 1913 (大正 2) 年 6 月 (現存せず)	32 横浜郵船ビル (日本郵船歴史博物館) 2008 (平成 20) 年 4 月制作 1936 (昭和 11) 年 10 月
13-1 神奈川県庁舎 (三代目) 外観 (『神奈川県写真帖』所収) 1913 (大正 2) 年 当館	32-1 横浜郵船ビル石膏模型 1936 (昭和 11) 年 日本郵船歴史博物館
14 新港埠頭右突堤中央事務所 2008 (平成 20) 年 7 月制作 1914 (大正 3) 年 (基礎部分のみ現存)	32-2 横浜郵船ビル竣工写真 1935 (昭和 10) 年 5 月 日本郵船歴史博物館
15 旧生糸検査所 (横浜第 2 合同庁舎) 2004 (平成 16) 年 3 月制作 1926 (大正 15) 年 2 月	33 旧ラフィン邸 (山手 111 番館) 2006 (平成 18) 年 7 月制作 1926 (大正 15) 年
15-1 横浜生糸検査所第一期竣工写真 (『遠藤於菟建築写真帖』 所収) 1926 (大正 15) 年 横浜都市発展記念館	34 旧カトリック山手教会司祭館 (ブラフ 18 番館) 2003 (平成 15) 年制作 大正末期
16 横浜指路教会 2007 (平成 19) 年 8 月制作 1926 (大正 15) 年 10 月	35 旧根岸競馬場一等馬見所 2004 (平成 16) 年 1 月制作 1929 (昭和 4) 年 11 月
17 ホテルニューグランド本館 2007 (平成 19) 年 5 月制作 1927 (昭和 2) 年 11 月	36 旧ベリック邸 (ベリックホール) 2003 (平成 15) 年 1 月制作 1930 (昭和 5) 年
18 神奈川県庁舎 (四代目、神奈川県庁本庁舎)	

- |   |  |
|---|--|
| <p>37 横浜山手聖公会 2002 (平成 14) 年 11 月制作<br/>1931 (昭和 6) 年</p> <p>38 横浜共立学園本校舎<br/>2002 (平成 14) 年 7 月制作 1931 (昭和 6) 年</p> <p>39 カトリック山手教会聖堂<br/>2002 (平成 14) 年 9 月制作 1933 (昭和 8) 年</p> <p>40 旧英国総領事公邸 (横浜市イギリス館)<br/>2009 (平成 21) 年 7 月制作 1937 (昭和 12) 年</p> <p>41 旧福島浪蔵別邸 (旧諸戸清六別邸、鎌倉市長谷子ども会館洋館) 2006 (平成 18) 年 4 月制作 1908 (明治 41) 年</p> <p>42 旧木下邸 (RISTORANTE VENTO MARINO)<br/>2009 (平成 21) 年 7 月制作 明治時代末期</p> <p>43 旧横須賀鎮守府司令長官官舎 (海上自衛隊横須賀地方総監部田戸台分庁舎)<br/>2009 (平成 21) 年 10 月制作 1913 (大正 2) 年</p> <p>44 旧東伏見宮別邸 (イエズス孝女会修道院)<br/>2009 (平成 21) 年 4 月制作 1914 (大正 3) 年</p> <p>45 旧近藤邸 2006 (平成 18) 年 7 月制作 1925 (大正 14) 年</p> <p>46 旧華頂家住宅主屋 (旧華頂宮邸)<br/>2003 (平成 15) 年 6 月制作 1929 (昭和 4) 年</p> <p>47 旧閑院宮別邸 (箱根強羅花壇)<br/>2009 (平成 21) 年 6 月制作 1930 (昭和 5) 年 6 月</p> <p>48 旧村田邸 (篠田邸)<br/>2009 (平成 21) 年 6 月制作 1933 (昭和 8) 年頃</p> <p>49 旧前田家別邸 (鎌倉文学館本館)<br/>2009 (平成 21) 年 11 月制作 1936 (昭和 11) 年 8 月</p> <p>49-1 侯爵前田家御別邸写真帖 1936 (昭和 11) 年 個人</p> <p>50 福住旅館金泉楼萬翠楼 2008 (平成 20) 年 10 月制作 1877 (明治 10) 1878 年</p> <p>50-1 福住旅館平面図 1878 (明治 11) 年以降 萬翠楼福住</p> <p>50-2 福住旅館彩色写真 明治時代前期 横浜開港資料館</p> <p>51 富士屋ホテル本館</p> | <p>2009 (平成 21) 年 7 月制作 1891 (明治 24) 年</p> <p>51-1 富士屋ホテル彩色写真 明治時代後期 当館</p> <p>52 富士屋ホテル 1 号館 2 号館 2009 (平成 21) 年 7 月制作<br/>1906 (明治 39) 年</p> <p>53 旧南湖院第一病舎<br/>2009 (平成 21) 年 7 月制作 1899 (明治 32) 年 9 月</p> <p>53-1 南湖院第一病舎絵葉書 明治時代後期 個人</p> <p>53-2 南湖院 1910 (明治 43) 年<br/>茅ヶ崎市文化推進課市史編さん担当</p> <p>54 旧日本爆発物製造株式会社支配人住宅 (旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館)<br/>2009 (平成 21) 年 8 月制作 1912 (明治 45) 年頃</p> <p>55 旧海老名村役場 (海老名市温故館)<br/>2009 (平成 21) 年 9 月制作 1918 (大正 7) 年</p> <p>56 五十嵐商店 2009 (平成 21) 年 8 月制作 1925 (大正 14) 年</p> <p>57 旧ハリス記念鎌倉メソジスト教会会堂 (日本基督教団鎌倉教会会堂)<br/>2008 (平成 20) 年 1 月制作 1926 (大正 15) 年 10 月</p> <p>58 旧明和銀行本店 (中央労働金庫小田原支店)<br/>2009 (平成 21) 年 11 月制作 1928 (昭和 3) 年</p> <p>59 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス (神奈川県立体育センターグリーンハウス)<br/>2006 (平成 18) 年 6 月制作 1932 (昭和 7) 年</p> <p>59-1 藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス各面立面図<br/>1931 (昭和 6) 年 1 月 30 日 レーモンド設計事務所</p> <p>59-2 藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス矩計図エントランス廻り詳細図食堂暖炉廻り詳細図<br/>1931 (昭和 6) 年 2 月 14 日 レーモンド設計事務所</p> <p>60 旧松田建設株式会社社屋 (文化興業株式会社社屋)<br/>2009 (平成 21) 年 8 月制作 1938 (昭和 13) 年頃</p> |
|---|--|

### (3) コレクション展

1 階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、2~3ヶ月ごとに展示している。観覧料無料。

#### ア「江戸時代の地図・絵地図」

○会 期：平成 21 年 6 月 27 日(土)~8 月 9 日(日)

○担 当：専門学芸員 古宮 雅明

○概 要： 江戸時代の「地図」は対象を絵画的に表現した「絵地図」が一般的で、正確な再現性が重視される近代以降の地図とは違い、用途目的に応じて表そうとする事物を取捨選択し、縮尺や形の正確さなどにはあまりこだわらずに描かれた。一方で、縮尺と方位を正確に表した分間図や、測量に基づいた伊能図のような精密な「地図」も作られた。また様々な「地図」が大量に出版され、多くの人々に利用されたことも江戸時代の大きな特徴である。

本展では近年確認された伊能図(写)をはじめ、江戸図、国絵図、日本図、分間絵図等、江戸時代に作られた様々な地図や絵地図を展示し、江戸時代の「地図文化」の一端を紹介した。

#### イ「古瀬戸と中国の青磁・白磁」

○会 期：平成 22 年 1 月 16 日(土)~2 月 14 日(日)

○担 当：学芸員 國平 健三

○概 要： 灰釉陶器から古瀬戸の成立、古瀬戸の展開、古瀬戸への中国の青磁白磁からの影響をテーマに、日本と中国の梅瓶瓶子四耳壺らをそれぞれの器種ごとに展示した。

施釉陶器の古瀬戸が中国のような磁器にならなかったのはなぜか考えながら、古瀬戸の形や文様、焼き上がった釉調を器種ごとに鑑賞し、当時中国から輸入された龍泉窯系の青磁、景德鎮窯系の青白磁や白磁と比べて見ることで、古瀬戸のなかにも大陸の影響を強く受けながら発展しているものがあると感じてもらおう展示であった。

#### (4) その他の展示

##### ア「日英友好150年の礎を築く 第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展」

○概要： 横浜開港150周年を記念し、「第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展実行委員会」（神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市開港150周年・創造都市事業本部、(財)横浜開港150周年協会、神奈川新聞社、テレビ神奈川）主催のもと、当館常設展示室の特設コーナーで行なわれた展示。

第8代エルギン伯爵は、日英修好通商条約を調印した英国代表で、日英友好の礎を築いた人物である。伯爵は、離日に際し江戸幕府から工芸品などを贈られ、また、随行者の海軍軍人ベッドウェルに使節団の活動や当時の日本の風景を描かしている。それらは今日まで伯爵家に伝えられており、その中から、日本初公開となる工芸品6点と絵画16点を展示した。

なお、関連行事として10月10日（祝・月、10:00～12:00）、神奈川県庁本庁舎3階大会議場において、チャールズ・ブルース氏、創価大学教授 北 政巳氏を講師に記念講演会を行った。

○会 期：平成21年10月10日（土）～11月8日（日）

○会 場：神奈川県立歴史博物館2階特設展示コーナー（常設展示エリア内）

○後 援：外務省、英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、スコットランド国際開発庁

○協 力：横浜開港資料館

○展示資料点数：22件

出品リスト (No. 作者 作品名 材質・技法 寸法(cm) 製作年代[(所蔵はいずれも、スコットランド・エルギン家)])

1 不詳銀銅造双鶴置物 銀、銅 38×27×45 江戸時代末期	23.4×32.6 1858年
2 不詳葵蒔絵卓 漆、木 35×35.5×39.5 江戸時代末期	12 F. ベッドウェル 観音堂(江戸) 水彩、紙 23.5×32 1858年
3 不詳牡丹竹蒔絵酒器重箱 漆、木 22.7×38×40 江戸時代末期	13 F. ベッドウェル 日本の風呂 水彩、紙 24.6×34.4 1858年
4 不詳松竹梅蒔絵手提重箱 漆、木 22×17.5×30 江戸時代末期	14 F. ベッドウェル 日本の葬列 水彩、紙 24.9×36 1858年
5 不詳鶴蒔絵文箱 漆、木 42×33×15.5 江戸時代末期	15 F. ベッドウェル 上陸地 水彩、紙 22×32 1858年
6 不詳龍形飾金具 (外箱)9.3×12.4×5、(贈呈状)19×16 江戸時代末期	16 F. ベッドウェル 1858年8月26日英国女王より日本へ 快走船の引き渡し 水彩、紙 23.5×35.5 1858年
7 F. ベッドウェル エルギン伯爵と日本側委員との全権委任状の交換 水彩、紙 23.9×35.9 1858年	17 F. ベッドウェル 城からの江戸眺望 水彩、紙 24×35 1858年
8 F. ベッドウェル 太田備後守資始の役宅における会見 水彩、紙 22.7×35.9 1858年	18 F. ベッドウェル 江戸近郊の茶屋(外観) 水彩、紙 24.3×36 1858年
9 F. ベッドウェル 江戸近郊の茶屋(内部) 水彩、紙 24×36 1858年	19 F. ベッドウェル 染井の植木屋 水彩、紙 24.2×35.5 1858年
10 F. ベッドウェル 江戸の砦 水彩、紙 24.5×35.5 1858年	20 F. ベッドウェル 長崎 水彩、紙 22.8×32.6 1858年
11 F. ベッドウェル 江戸のイギリス使節団滞在所 水彩、紙	21 F. ベッドウェル パペンバルグ(高錡)の島、長崎 水彩、紙 23.4×31.3 1858年
	22 F. ベッドウェル 下田 水彩、紙 23×32 1858年

##### イ 神奈川の遺跡展2009 「横浜開港の考古学」

○概要： 神奈川県内の発掘調査より出土した資料を、テーマに沿って展示することで、県民がじかに発掘資料に接し、郷土・神奈川の歴史に関心を持ってもらうと共に、埋蔵文化財に親しみ、その保護についての理解を深めるために行なう展示。今回は、開港期の横浜をテーマとした。

○会 期：平成21年12月12日（土）～平成22年1月11日（月・祝）

○会 場：神奈川県立歴史博物館 特別展示室

○主 催：神奈川県教育委員会生涯学習文化財課・神奈川県立歴史博物館・

○後 援：神奈川県

○協 力：横浜市教育委員会

○展示資料点数：248件

○入場者数：2,551名

○関連行事

(1) 記念講演会

ア 日時：12月12日（土）10:00～12:00

会場：当館講堂

講師：前横浜都市発展記念館 主任調査研究員 斎藤 多喜夫 氏

受講者：74名

イ 日時：12月23日（水・祝）10:00～12:00

会場：当館講堂

講師：横浜都市発展記念館 主任調査研究員 青木 祐介 氏

受講者：64名

(2) 展示解説 各回 13:30～14:30

① 12月19日、② 12月26日、③ 1月9日（毎回土曜日）

出品リスト(No. 所在地 遺跡名 展示資料(斜字はヨーロッパ製) 点数 所蔵・保管者)

1. 横浜市西区 紅葉ヶ丘遺跡 陶器皿・鉢、磁器皿・碗、和瓦 11点 県埋文C(以下、県埋文C)	11. 横浜市戸塚区 原宿町遺跡 陶器皿、ワインボトル、ビールボトル、ソーダボトル 6点 県埋文C
2. 横浜市中区 山下町91番地 陶器皿・コーヒーカップ、炆器瓶、ワインボトル 4点 横浜開港資料館	12. 藤沢市 藤沢宿第1地点 陶器皿 1点 藤沢市教育委員会
3. 横浜市中区 山下町136番地 ジェラール有孔煉瓦、タイル、タイルブロック 4点 横浜開港資料館	13. 藤沢市 藤沢宿第4地点 ガラス蓋、ジンボトル、ワインボトル 3点 藤沢市教育委員会
4. 横浜市中区 山手80番館 ジェラール煉瓦、タイル 8点 横浜開港資料館	14. 藤沢市 江の島コッキング温室遺構 煉瓦、スレート瓦、ワインボトル、土(陶)管、境界杭 5点 藤沢市教育委員会
5. 横浜市中区 アメリカ海軍病院 煉瓦、耐火煉瓦、スレート瓦、ジェラール瓦、本業敷瓦付着建築部材 13点 県埋文C	15. 逗子市 池子遺跡群 炆器瓶、ジンボトル、ワインボトル 4点 逗子市教育委員会
6. 横浜市中区 山手ビール工場跡 炆器瓶、ビールボトル、タイル 3点 個人蔵	16. 茅ヶ崎市 上ノ町・広町遺跡 陶器碗・皿、炆器瓶、ジンボトル、ワインボトル 7点 茅ヶ崎市文化資料館
7. 横浜市中区 山下居留地遺跡 瓦質煉瓦、煉瓦、耐火煉瓦、ジェラール方形土管、ジェラール瓦、和瓦、タイル、ペンキ缶 41点	17. 茅ヶ崎市 旧伊藤家所蔵品 陶器皿 1点 茅ヶ崎市文化資料館
8. 横浜市中区 山下居留地遺跡 磁器皿、根付、ハッカ油ボトル、写真現像用トレイ・鉢 21点 県埋文C	18. 茅ヶ崎市 藤間家所蔵品 陶器碗 5点 個人蔵
9. 横浜市中区 山下居留地遺跡 陶磁器碗・皿、陶器碗・皿・散蓮華、中国磁器碗・皿、脚付ガラス杯、ジンボトル、リキユールボトル、ソーダボトル、チョコレートウォーマー、炆器瓶(ビール、ジャム・マスタード、ミネラルウォーター、インク、靴磨き)、薬ガラス瓶、歯磨き容器、クレイパイプ、ブラシ柄、ランプまや、獣骨、貝、犬骨 61点 県埋文C	19. 高座郡寒川町 宮山中里遺跡 ワインボトル 2点 県埋文C
10. 横浜市中区 山下居留地遺跡 境界杭、ガス管、瓦管、土(陶)管 7点 県埋文C	20. 愛甲郡清川村 宮ヶ瀬遺跡群 陶器皿・コーヒーカップ、炆器瓶(ビール、ジャム、靴磨き、ミネラルウォーター)・蓋、ジンボトル、ワインボトル、ソーダボトル 28点 県埋文C
	21. 相模原市 根小屋根本遺跡 陶器皿、ワインボトル 2点 県埋文C
	22. 東京都八王子市 多摩ニュータウンNo.107 遺跡 陶器皿 11点 (財)東京都埋蔵文化財センター

#### (4) 学習支援事業

県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行われる講座・講演会各種行事などへの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識関心を深めることを目的として実施した（一部再掲）。

##### ア 講座

県民に知識の普及をはかるため、県博講座をはじめとした次のような講座を実施した。

(ア) 県博セミナー(生涯学習文化財課主管の県立機関活用講座。5回連続、有料(5,000円)、14:00～16:00)

テーマ 「開港場の諸相」(応募者 54名)

内容 安政5年にアメリカをはじめオランダ・ロシア・イギリス・フランスとの間で締結した通商条約によって国際貿易港として開港した横浜・長崎・函館・新潟・神戸の各開港場について、その歴史や地域的特色を通じて開港場の全体像に迫る。

第1回 5月9日(土)(受講者 47名)

「横浜―近代を切り開いた国際貿易港―」当館主任学芸員 嶋村 元宏

第2回 5月16日(土)(受講者 46名)

「長崎―鎖国と開国を知る貿易都市―」西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明 氏

第3回 5月23日(土)(受講者 44名)

「函館―蝦夷地の三湊から北海道の主要港へ―」市立函館博物館 学芸員 保科 智治 氏

第4回 5月30日(土)(受講者 45名)

「新潟―県都への道―」新潟市歴史博物館 学芸課長 伊東 祐之 氏

第5回 6月6日(土)(受講者 43名)

「神戸―東洋で最も美しい“居留地”―」神戸市立博物館 学芸員 田井 玲子 氏

(イ) 県博講座(主として当館の学芸員による連続講座。無料。14:00～16:00)

テーマ 「中世東国の日蓮信仰」(応募者 177名)

内容 鎌倉時代の日蓮信仰を中心に、相模国の法華寺院や教団絵画の多様性についてなど、日蓮信仰を通じて中世東国の信仰世界についての理解を深める。

第1回 10月24日(土)(受講者 73名)

「中世人の信仰と日蓮教団」当館主任学芸員 古川 元也

第2回 10月31日(土)(受講者 87名)

「相模国の法華寺院と信仰の道」身延山大学 教授 望月 真澄 氏

第3回 11月7日(土)(受講者 56名)

「中世日蓮教団絵画の多様性」当館学芸員 梅沢 恵

第4回 11月14日(土)(受講者 66名)

「三浦半島の日蓮信仰」泉福寺 住職 丸山 邦雄 氏

第5回 11月21日(土)(受講者 68名)

「日蓮聖教のおもしろさ」身延山大学 教授 寺尾 英智 氏

イ 特別展記念講演会(特別展のテーマに沿った内容の講演会の実施。無料。14:00～16:00)

① 5月10日(日)(応募者 131名・受講者 65名)

「日本の開国とアジア」当館主任学芸員 嶋村 元宏

② 5月31日(日)(応募者 163名・受講者 69名)

「日本文化の発信者 オールコック」静岡文化芸術大学 准教授 佐野 真由子 氏

③ 8月23日(日)(応募者 104名・受講者 83名)

「開港&開校 ちょっといい話」慶應義塾大学教授・作家 荻野 アンナ 氏

④ 8月30日(日)(応募者 112名・受講者 78名)

- 「福沢諭吉の見たヨーロッパ」慶應義塾大学 教授 山内 慶太 氏
- ⑤9月6日(日) (応募者98名・受講者82名)  
「福沢諭吉はなぜ西相模を徘徊したのか」中央大学 名誉教授 金原 左門 氏
- ⑥11月3日(火・祝) (応募者126名・受講者69名)  
「「日蓮聖人」の美術」東京立正短期大学 学長 坂輪 宣敬 氏
- ⑦11月23日(月・祝) (応募者230名・受講者95名)  
「日蓮の生涯と立正安国論」立正大学 名誉教授 中尾 堯 氏
- ⑧3月14日(日) (応募者152名・受講者75名)  
「かながわを築いた建築家と建築物」横浜国立大学大学院 教授 吉田 綱市 氏

**ウ 学芸員による展示解説(特別展・コレクション展示の担当学芸員による展示解説。13:30～14:30、自由参加。)**

- ①特別展「横浜開港百五十年―神奈川・世界との交流―」主任学芸員 嶋村 元宏  
5月24日(日) 参加者30名、6月7日(日) 参加者77名
- ②コレクション展「江戸時代の地図・絵地図」専門学芸員 古宮 雅明  
7月5日(日) 参加者42名、8月2日(日) 参加者32名
- ③特別展「福沢諭吉と神奈川―すべては横浜にはじまる―」専門学芸員 寺崎 弘康 (福澤研究センター職員と合同)  
8月29日(土) 参加者67名、9月5日(土) 参加者63名、  
9月12日(土) 参加者40名、9月19日(土) 参加者58名
- ④特別展「鎌倉の日蓮聖人―中世人の信仰世界―」主任学芸員 古川 元也  
10月25日(日) 参加者65名、11月15日(日) 参加者55名
- ⑤コレクション展「古瀬戸と中国の青磁・白磁」学芸員 國平 健三  
1月23日(土) 参加者17名、2月7日(日) 参加者31名
- ⑥特別展「彩色立面図に見る日本の近代建築―銀行・オフィスビルから邸宅まで― 神奈川県編」学芸員 丹治 雄一  
3月7日(日) 参加者28名、3月21日(日) 参加者38名

**エ ミュージアムトーク(常設展示室内で行う展示資料の解説。自由参加)**

- (ア)4月19日(日)「横浜浮世絵を見る」主任学芸員 桑山 童奈 (参加者33名)  
(イ)10月11日(日)「五姓田派の新収蔵作品について」学芸員 角田 拓朗 (参加者21名)

**オ その他の行事**

(ア) 旧横浜正金銀行本店本館建物公開(事前申し込み制)

概 要：国の重要文化財・史跡に指定されている当館建物について、通常みることができない地下金庫室や屋上ドームなどの公開を行なった。なお、5月2日は、近隣の歴史的建造物である「神奈川県庁本庁舎」の見学もあわせて実施。

- a. 日 時：5月2日(土)13:30～16:30  
参 加：応募者98名、参加者23名  
講 師：財団法人かながわ住まい・まちづくり協会 専務理事 佐藤 嘉明 氏(県庁本庁舎の紹介)
- b. 日 時：10月25日(日)①10:30～、②14:00～  
参 加：①応募者26名、参加者22名、②応募者18名、参加者16名  
担 当：学芸員 丹治 雄一、非常勤学芸員、鎌田 麻希

(イ) ミュージアムコンサート

a. 特別展「横浜開港百五十年―神奈川・世界との交流―」記念 吹奏楽コンサート

日 時：4月25日(土)14:00～15:00  
内 容：ペリーの久里浜への上陸時に軍楽隊・鼓笛隊が奏でた曲などを、吹奏楽により演奏した。  
演奏者：浦賀ウインドオーケストラ  
会 場：当館講堂  
参 加：応募者102名、参加者78名

- b. 「クラシック・ヨコハマ」サロンコンサート  
 日 時：11月22日(日) 14:00～15:00  
 内 容：オーディションで選んだ世界各国の優秀な演奏家を育成する国際音楽セミナー「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン」の受講生によって結成された弦楽四重奏団  
 (バイオリン 今井 香奈 氏、白石 茉奈 氏、ヴィオラ 牧 夏子 氏、チェロ 田中 愛 氏)  
 会 場：当館講堂  
 参 加：応募者 182 名、参加者 80 名
- c. 特別展「彩色立面図に見る日本の近代建築 ―銀行・オフィスビルから邸宅まで―」  
 記念ミュージアムコンサートとドーム見学  
 日 時：平成 22 年 2 月 20 日(土) 14:00～15:30  
 内 容：かながわ音楽コンクール入賞者によるソロ・コンサートと当館屋上ドームの見学  
 演奏者：フルート 青木 智佳子 氏  
 会 場：当館講堂  
 参 加：応募者 150 名、参加者 71 名
- (ウ) 映画会 (特別展「福沢諭吉と神奈川 ―すべては横浜にはじまる―」関連行事)  
 日 時：平成 21 年 8 月 25 日(火)、9 月 5 日(土)、13(日)、14:00～16:00  
 題 名：「破天荒力」(2008 年公開)  
 内 容：特別展の内容と関係が深い箱根地域の開発の歴史を描いた「破天荒力」の上映会  
 会 場：当館講堂  
 観覧者：のべ 156 名

## カ 子ども・青少年向け教育普及事業

### (ア) 学校五日制対応行事

- a. ミュージアム・クイズ(自由参加)  
 内 容：常設展展示資料から出題したクイズシートを配布。  
 開催日：毎週土・日、祝祭日  
 参加者：365 名  
 担 当：非常勤学芸員 鎌田 麻希

### (イ) 子ども・青少年向け行事

- a. 博物館で遊ぼう!!2009(自由参加)  
 内 容：子どもの日にちなんだ行事。常設展展示資料から出題したクイズを解きながら、展示室を回るクイズラリー。  
 開催日：5 月 3 日(日)～5 月 6 日(水)  
 参加者：505 名  
 担 当：非常勤学芸員 鎌田 麻希

### b. ミュージアム・クイズラリー よこはま 2009

- 内 容：夏休み期間に、近隣の博物館施設と共同で開催するクイズラリー。当館主催で参加館との連絡会を作り実施。内容はクイズノートを作成し、クイズを解きながら各館をまわるというもの。今年度は「横浜開港 150 周年」を記念して、神奈川県博物館協会の共催のもと、新規に 5 館が加わった。  
 開催期間：7 月 18 日(土)～9 月 1 日(火)  
 参加館園：合計 21 館

横浜みなと博物館(旧横浜マリタイムミュージアム)、JICA 横浜 海外移住資料館・横浜市技能文化会館展示室「匠プラザ」・日本郵船歴史博物館・横浜税関資料展示室・横浜開港資料館・シルク博物館・日本新聞博物館・放送ライブラリー・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館・横浜人形の家・岩崎ミュージアム・大佛次郎記念館・神奈川県立神奈川近代文学館・馬の博物館\*、神奈川県立金沢文庫\*、神奈川県立公文書館\*、三溪園\*、そ

ごう美術館\* (\*は今年度参加館)

参加者：全体 3,918 名(自由参加)

担 当：非常勤学芸員 鎌田 麻希

c. 子ども博物館教室

テーマ：「黒船」を作ろう！

内 容：開港 150 周年にちなみ、ペリーが乗ってきた黒船「サスケハナ号」のペーパークラフトを製作した。

講 師：ペーパークラフトアーティスト 西口 正人 氏

対象者：小学校 3 年生以上・中学生（小学校 4 年生以下は保護者同伴）

開催日時及び参加者：①5 月 17 日(日)13：30～16：30 応募 26 名、参加者 19 名

②8 月 22 日(土)13：30～16：30 応募 18 名、参加者 13 名

担 当：非常勤学芸員 鎌田 麻希

d. 特別展関連子ども向けワークショップ

テーマ：「博物館」のススメ

内 容：特別展「福沢諭吉と神奈川 すべては横浜にはじまる」に関連したワークショップ。写真の現像や博物館のバックヤードの見学などを通して、博物館はどういうところかを体験してもらう。

対象者：小学生

開催日時及び参加者：平成 21 年 9 月 20 日(日)13：30～16：30、応募 21 名、参加者 12 名

担 当：当館専門学芸員 寺寄 弘康

キ 学校連携事業の状況

(ア) 展示見学学習等、小中高等学校の当館利用状況

	県内							
	小学校		中学校		高等学校		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	1	19	0	0	9	435	10	454
5月	13	1,019	22	691	9	217	44	1,927
6月	18	1,388	26	1,017	0	0	44	2,405
7月	14	827	4	24	1	21	19	872
8月	0	0	1	162	0	0	1	162
9月	22	1,657	8	250	2	21	32	1,928
10月	12	1,010	3	23	8	277	23	1,310
11月	8	601	3	65	3	144	14	810
12月	6	337	2	45	1	9	9	391
1月	4	236	3	196	1	12	8	444
2月	6	229	8	457	1	9	15	695
3月	3	135	6	103	1	6	10	244
合計	107	7,458	86	3,033	36	1,151	229	11,642

	県外							
	小学校		中学校		高等学校		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	0	0	31	672	12	150	43	822
5月	4	111	42	589	33	611	79	1,311
6月	0	0	12	316	4	266	16	582
7月	1	32	6	256	2	31	9	319
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	19	12	350	2	413	15	782
10月	5	192	6	171	8	111	19	474
11月	3	69	6	304	3	49	12	422
12月	0	0	5	140	2	11	7	151
1月	0	0	11	428	0	0	11	428
2月	0	0	28	908	3	54	31	962
3月	1	72	7	205	1	6	9	283
合計	15	495	166	4,339	70	1,702	251	6,536

	平成21年度総計		平成20年度総計		平成19年度総計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	53	1,276	45	773	59	1,426
5月	123	3,238	153	4,297	135	4,197
6月	60	2,987	59	1,985	65	1,941
7月	28	1,191	15	379	13	462
8月	1	162	5	120	0	0
9月	47	2,710	17	830	43	2,580
10月	42	1,784	51	2,706	54	1,737
11月	26	1,232	41	1,587	47	1,916
12月	16	542	18	881	18	891
1月	19	872	15	447	21	1,011
2月	46	1,657	34	933	51	1,793
3月	19	527	24	775	16	480
合計	480	18,178	477	15,713	522	18,434

(イ) 当館の利用目的

利用目的		小学校	中学校	高校	合計
県内	社会科(歴史学習)	38	13	6	57
	総合的な学習の時間	25	11	4	40
	学校行事(遠足、社会見学等)	47	11	4	62
県外	社会科(歴史学習)	3	17	4	24
	総合的な学習の時間	1	21	1	23
	学校行事(遠足、社会見学等)	9	11	9	29

※事前連絡校のみの統計、学校により重複目的あり。

(ウ) 学校の博物館利用の状況

校種	事前準備				歴博活用			利用形態			利用施設			来館目的		
	下見来館	学校訪問	電話打合	資料提供	課題持参	ボラ活用	特別依頼	全員一斉	グループ	個人	駐車場	講堂	その他	歴史学習	総合学習	社会見学
小学校	44	0	103	46	58	10	0	90	24	0	8	53	4	41	26	56
中学校	19	0	66	14	27	7	3	19	49	0	5	3	6	30	32	22
高等学校	9	0	27	7	7	3	0	10	18	0	0	0	1	10	5	13
合計	72	0	196	67	92	20	3	119	91	0	13	56	11	81	63	91

※課題持参=学校がワークシートなどを用意して見学。質問などにボランティアが対応。

※ボラ活用=ボランティアによる展示解説や質問への対応要請が事前にあったもの。

※特別依頼=学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

(エ) 見学学習(社会科の歴史学習、総合的な学習の時間等)への対応状況

- a. 見学に際し当館の概要などを説明する。  
小学校 1校、中学校 1校、高等学校 1校、大学 2校
- b. 見学に際し、学習を支援していくためのワークシート(素材)を提供する。  
小学校 46校、中学校 14校、高等学校 7校
- c. 解説ボランティアが展示資料の解説をする。  
小学校 10校、中学校 7校、高等学校 3校、専門学校 3校

(オ) 社会科の歴史学習、総合的な学習の時間(調べ学習)への対応状況

対応：見学学習のなかで、特定テーマの解説などを求めるもの。

- 相模原市立谷口中学校 2年 15名 5月26日(火)  
グループ毎に展示資料、建物の概要などの解説を聞く。質問にボランティアが対応。
- 湘南白百合学園中学校 2年 183名 5月29日(金)  
同校の「総合的な学習の時間 博物館の資料を通して歴史の見方を学ぶ」へのサポート。学芸員が事前指導として同校に出張し、博物館入門に関する授業を実施。その後来館し、ワークシートを活用した見学学習を行なう。
- 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校 1年 15名 6月30日(火)  
グループ毎に展示資料、建物の概要などの解説を聞く。質問にボランティアが対応。
- 公文国際学園中等部高等部 10名 10月15日(木)  
学芸員による当館建物についての解説、展示資料についてボランティアによる解説。
- ハートフルルーム十日市場中学校 2・3年 13名 10月22日(木)  
ボランティアによるテーマ4(横浜開港と近代化)の解説
- 横浜市立芹が谷南小学校 6年 90名 10月22日(木)  
ボランティアによるテーマ3(近世の街道と庶民文化)の解説
- つくば市立竹園東小学校(茨城) 6年 20名 11月10日(火)  
ボランティアによるテーマ2(都市鎌倉と中世びと)の解説

- 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜小学校 6年 43名 11月27日(金)  
ボランティアによるテーマ4(横浜開港と近代化)の解説
- 横浜英和小学校 3年 64名 1月19日(火)2月4日(木)  
ボランティアによるテーマ5(昭和と民俗)の解説
- 横浜市立伊勢山小学校 5年 54名 2月17日(水)  
ボランティアによるテーマ2(鎌倉道と鎌倉)の解説
- 和光鶴川小学校(東京) 4年 77名 3月5日(金)  
ボランティアによるテーマ4・5(横浜開港と近代化)(現代の神奈川と伝統文化)の解説
- 県立城郷高等学校 12年 6名 3月12日(金)  
ボランティアによるテーマ4・5と建物についての解説
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校(東京) 2・3年 6名 3月26日(金)  
ボランティアによるテーマ4(幕末から明治)の解説

#### (カ) インターンシップ(就業体験職場訪問等)への対応

目的 インターンシップとは、生徒が学校に在学している期間中に、就職や仕事への理解や関心を高めることを目的とした、産業界の協力を得て実施される「勤労体験」「職業体験」活動のことをいう。生徒が自主的に望ましい勤労観、職業観及び職業に関する知識や技術に触れ、自己の個性を理解して進路選択ができる能力及び態度を身につけることを目的とする。

当館のインターンシップは、簡略化した講座と見学を中心とした短期型のもの(いわゆる職場訪問的なもの)と、複数日にわたり、博物館という職場の役割や、学芸員の仕事について紹介し、また、実際に資料を扱うことで、博物館の仕事をより具体的に知ることを目的とする就業体験的なものがある。

#### 対応

##### a. 就業体験的なもの

複数日にわたって行うもので、博物館の業務や学芸員の仕事についての概要説明、施設の見学、就業体験等をさせる。

- 県立瀬谷高等学校、県立大師高等学校、鎌倉女子大学高等部、星槎高等学校 各1名 合計4名  
日時：8月20日(木)～23日(日)、午前9時30分～午後5時  
内容：8月20日(木)：ガイダンス、館内見学、広報関係資料整理補助(担当：企画普及課 長嶋)  
21日(金)：図書整理等補助、レファレンス補助業務(担当：情報資料課 津軽谷)  
22日(土)：子ども博物館教室開催補助(担当：企画普及課 鎌田)  
23日(日)：民俗資料整理補助(担当：学芸部 鈴木)

##### b. 職場訪問的なもの

博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明を行ない、その後、施設見学を実施。2～3時間程度)

- 神奈川県立大磯高等学校 1年 18名 9月3日(木)
- 横浜市立本牧中学校 1年 33名 2月4日(木)
- 藤沢市立湘南台中学校 2年 18名 2月10日(水)

#### (キ) 横浜市立戸部小学校のクラブ活動支援

6月19日(金)、学校との打ち合わせ、6月23日、7月7日、10月6・27日、11月10・24日、12月15日(各回とも火曜日)の7回実施。戸部小学校が実施している地域の諸施設との連携のクラブ活動(5・6年生：20人)に対し支援を行った。

1回目は「博物館とはどんなところ」をテーマに「博物館とは何か」を学んだ。2～7回は、古代から現代まで五つのグループに分かれ、分担した時代についてテーマを絞って調べた。調べた結果は、スケッチとレポートの形式にまとめ、年度末に学校で行う発表会で発表する。

#### (ク) 『歴史博物館の展示(常設)目録-学習指導要領教科書との対照表-』小学校・中学校・高校版の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『歴史博物館の展示(常設)目録-学習指導要領教科書との対照表-』(当館の常設展示資料と学習指導要領、教科書の主な単元項目が対照でき、さらに学芸員が適

宜見学のポイントを記したもの)について、平成17年度で小・中・高等学校の3種類の校種別目録が揃った。平成23年度からの小学校を始めとして中学校、高等学校と順次予定されている新学習指導要領の全面実施に向けて、今後随時改訂を検討。なお、この資料を基に、学校独自のワークシート作りを行う学校が増えてきている。

#### (ケ)『常設展示品キャプション』の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『常設展示品キャプション』について、展示替えなどによる情報の更新を適宜行った。

#### (コ)ワークシートの作成と更新

学校の見学学習の参考として活用するために作成したワークシートについて、実際の活用場面の調査をするとともに、広く現場の教員からも意見を聞くなどして内容の改訂を行っている。

#### (サ)教員向け研修会の実施

##### a. 「教員のための博物館講座」の開催

主 催：当館

日 時：8月7日(金)9:50～17:00

会 場：当館

参加者：43名(定員50名)

概 要：学校教育のなかで博物館や博物館資料の有効活用を提案し、学校の博物館利用を促進するために行う講座。博物館の様々な機能、資料の保存と展示などの博物館学的なテーマと、歴史学・美術史・民俗学などの人文科学の諸分野からテーマを定め、当館の学芸員が講義する。

内 容：当館の概要説明、講義「博物館の機能と学校連携」「資料の保存と展示について」「道具が語る昔の暮らしー民俗学から何がわかるかー」、常設展示の見学

##### b. 「社会・地理歴史研修講座2 日本史～歴史的資料から神奈川を知る～」の開催

主 催：県立総合教育センター(企画及び進行は当館)

日 時：8月14日(金)10:00～16:45

会 場：当館

参加者：33名(定員35名)

概 要：県立総合教育センター・専門研修課主催講座「社会・地理歴史研修講座2 日本史～歴史的資料から神奈川を知る～」の開催

内 容：講義「博物館史料の教材への活用ー江戸時代の地図を素材としてー」、実習「博物館展示資料の見学」、演習「資料を活用したワークシートづくり」、協議「資料を活用したワークシートについて」

##### c. 「横浜市戸塚区小学校社会科研究会研修会」の受入

日 時：8月27日(木)

参加者：30名

概 要：横浜開港から幕末期について学芸員が講義を行なった。

##### d. 「初任教員の社会体験実習」の受入

日 時：7月29日(水)、8月4日(火)、11日(火)、21日(金)、22日(土)10:00～17:00

受講者：神奈川県立松陽高等学校 教諭 指宿 恵子(世界史)

神奈川県立麻生高等学校 教諭 大島 理愛(生物)

概 要：新採用教諭は、その資質の向上と社会人としての規範意識を高めるために、各種の研修が行なわれているが、本実習はその一環として行なわれているものである。

内 容：当館の概要説明の後、子ども向け行事の準備、子ども博物館教室の開催補助、特別展の開催準備、コレクション展の撤収作業補助など、博物館のさまざまな業務を体験した。

## (5) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、映像、情報システムなどがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことができる。

職員が1名以上常駐し質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している(図書、映像、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載)。平成21年度の利用者総数は10,938名、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は7%である。

ア 閲覧用座席数：16席、映像ブース：3ヶ所7名分、来館者用情報システム端末：3台

### イ 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	38	98	64	57	51	78	112	57	31	45	31	26	688
中学生	20	131	66	23	38	51	6	9	1	17	112	13	487
高校生	17	47	7	6	20	6	9	5	3	4	1	1	126
大学生	5	8	70	9	13	26	4	21	34	11	5	6	212
一般成人	611	725	539	606	654	706	552	615	382	476	518	676	7,060
65歳以上	277	276	230	196	185	223	166	212	167	161	128	135	2,356
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	1	9
合計	969	1,285	976	897	961	1,090	850	919	623	714	796	858	10,938
開館日数	26	28	24	27	26	26	28	26	22	23	24	26	306
1日平均利用者数	37.3	45.9	40.6	33.2	36.9	41.9	30.4	35.3	28.3	31.0	33.2	33.0	35.7

### ウ 利用形態

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
映像利用	5	17	23	25	7	7	2	12	2	5	3	5	113
情報システム	87	202	114	80	90	105	92	91	44	98	100	89	1,192
図書	322	469	420	483	459	536	526	490	382	474	500	544	5,605
コピー (件数)	57	52	35	46	44	53	43	37	30	43	45	32	517
サービス (枚数)	520	332	227	266	839	420	349	413	229	489	394	291	4,769

## (6) 普及刊行物

### ア 図録

『横浜開港百五十年 ―神奈川・世界との交流―』 平成21年4月24日

『福澤諭吉と神奈川 ―すべては横浜にはじまる―』 平成21年8月20日

『鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界』 平成21年10月17日

『彩色立面図に見る日本の近代建築 ―銀行・オフィスビルから邸宅まで―』 平成22年2月18日

### イ 広報印刷物

「これからの催しもの(2010年4月～2011年3月)」 平成22年3月発行

「横浜開港百五十年―神奈川・世界との交流―」 ポスター・チラシ

「福澤諭吉と神奈川 ―すべては横浜にはじまる―」 ポスター・チラシ

「鎌倉の日蓮聖人 中世人の信仰世界」 ポスター・チラシ

「彩色立面図に見る日本の近代建築 ―銀行・オフィスビルから邸宅まで―」 ポスター・チラシ

「日英友好150年の礎を築く 第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展」 ポスター・チラシ

### ウ 神奈川県立歴史博物館だより

『神奈川県立歴史博物館だより VOL.15 No.1 通巻181号』 平成21年10月30日(2,000部)

『神奈川県立歴史博物館だより VOL.15 No.2 通巻182号』 平成21年11月27日(2,000部)

『神奈川県立歴史博物館だより VOL.15 No.3 通巻183号』 平成22年3月26日(2,000部)

## (7) ボランティアの活動

平成9年度から登録を行った博物館ボランティアは、平成20年度中の入門講座及び面接の結果、新たに21名の登録を行い、登録更新者83名を含めて104名となった。その内訳は、展示解説ボランティアが102名、情報処理ボランティアが4名(展示解説との兼任2名を含む)である。

また、平成14年度から活動期間を5年間としたが、平成22年3月31日での任期満了者は18名だった。

### ア 活動状況(実績)

展示解説ボランティアは、常設展展示解説のほか、特別展開催中には1日2回の定時解説(11時、15時)を行っている。

情報処理ボランティアは、所蔵資料のフィルムデータから電子データへの画像入力作業を行っている。

また、ボランティア会は、幹事会(各曜日ごとの班から2名選出)を組織し、月1回、館側の担当者と様々な調整や、情報の交換を行なっている。また、『ボランティアニュース』を年3回、編集・発行している。

#### (ア)活動日数及び人数

月	活動日数	活動人数	累計(日)
4	26	288	288
5	28	386	674
6	24	384	1,058
7	28	417	1,475
8	26	409	1,884
9	26	414	2,298
10	26	402	2,700
11	27	361	3,061
12	18	287	3,348
1	23	293	3,641
2	24	387	4,028
3	26	399	4,427

#### (イ)年代別

年代	男	女	計
20	0	1	1
30	2	1	3
40	1	4	5
50	3	7	10
60	48	23	71
70	12	2	14
合計	66	38	104
平均年齢	64.7	58.8	62.4

#### (ウ)曜日別ボランティア数

火曜班：16名、水曜班：18名、木曜班：16名、金曜班：17名、土曜班：18名、日曜班：17名

#### (エ)情報処理ボランティア

水曜班：1名(兼務)、金曜班：1名、土曜班：2名(1名兼務)

#### (オ)画像入力実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	116	139	115	103	53	71	140	26	59	99	146	149	1,216

## イ ガイダンス講座

平成22年度から博物館ボランティアとして活動を希望する方々を対象に開催される講座。当館の概要や常設展示の概略について説明を受けたのち、具体的な活動のイメージを持ってもらうため、活動中のボランティアから展示解説を受けた。終了後、希望者はボランティア登録の申し込みを行なった。

日 時：平成21年2月7・14・21日（土）10:00～14:35

## ウ 専門研修

展示解説に必要な当館の常設展示に関する知識や、資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。なお、実地研修として、現役のボランティアを相手に解説の演習を行なう。

日 時：平成21年4月5・12・19・26・5月10・24・31・6月7日（日曜日）10:00～15:00

会 場：会議室・展示室

## エ その他の研修

### ○ 特別展研修

特別展の展示解説に資する研修として、解説に必要な図録や資料を配布するとともに、展示された資料について、担当学芸員から解説の実地研修を行なった。

### ○ フォローアップ研修

今年度より、常設展示解説のフォローアップとして、個々のテーマで研修講座を実施した。

#### 実施日及びテーマ

5月24日	（日）	北条早雲の相模支配
6月28日	（日）	神奈川の盆行事
7月19日	（日）	明治初期の横浜港貿易について
9月5日	（土）	神奈川県域の宿場・街道・名所を描いた浮世絵について
11月15日	（日）	「鎖国」から開国へ
12月6日	（日）	江戸時代の地図（絵地図）について

## (8) 博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館 博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

### ア 見学実習

当館の概要（歴史・施設・組織・展示や事業概要など）について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

#### ○受入校（来館日・大学名人数）

日付	大学名	人数
平成21年7月11日	フェリス女子学院大学	50名
平成21年9月6日	日本女子大学	26名
平成21年9月9日	龍谷大学	49名
平成21年10月3日	日本大学	15名
平成21年12月3日	神奈川大学	13名
平成21年12月5日	高崎商科大学	5名
平成21年12月9日	鶴見大学	18名

## イ 実務実習

前期3日間と後期4日間わたって行なわれる。前期は企画情報部が担当し、受講者全体で博物館運営に関わる業務及び教育普及事業などについて学ぶ。後期は各グループに分かれ、資料の取り扱いや整理の方法などについて学ぶ。

○受入数 22 大学、34 名

○受入大学名及び受入人数

大学名	人数
桜美林大学	2名
共立女子大学	2名
聖心女子大学	2名
大正大学	1名
帝京大学	1名
日本女子大学	2名
明治学院大学	2名
関東学院大学	2名
駒澤大学	2名
専修大学	1名
鶴見大学	2名
東洋英和女学院大学	1名
武蔵野美術大学	1名
学習院大学	1名
国土館大学	2名
清泉女子大学	2名
多摩美術大学	1名
東海大学	1名
武蔵大学	1名
立教大学	2名
八洲学園大学(通信制大学)	2名
山形県立米沢女子短期大学	1名

## ウ 実務実習(前期実習) 担当：企画情報部(全員参加、日程、内容)

(ア)1日目：6月26日(金) 10:00～17:00

- ・前期実習のガイダンス、
- ・当館の概要について(沿革・博物館建物利用の現状・展示のテーマ・調査研究、学習支援活動)
- ・館内見学(展示室)
- ・当館の教育普及事業について(教育普及事業とは・当館の活動)
- ・博物館と図書資料について(収集方針・所蔵資料・書庫見学)

(イ)2日目：6月27日(土) 10:00～17:00

- ・博物館と写真資料について(博物館における写真とは・撮影対象について・撮影後のこと)
- ・当館の博物館情報システム(収蔵品管理システム・デジタルミュージアム・セキュリティ・情報バリアフリー)
- ・教育普及(学校連携)(概要・教員の視点から見た博物館の学校連携事業・ワークシートを使った実践例)
- ・館内見学(バックヤード・収蔵庫周辺・屋上ドームなど)
- ・広報活動について(博物館における広報の目的・広報担当の役割・広報活動の現状)

(ウ)3日目：6月28日(日) 10:00～17:00

- ・当館のボランティア制度について
- ・教育普及(子ども向け事業)(ワークシートについて・子ども向けの行事など)
- ・教育普及事業活動の実践(キャプション作り・クイズシート作り)

**エ 実務実習(後期実習) 担当：学芸部(実習分野・グループ別参加者数、日程、内容)**

(ア) 古代 6名、9月1日(火)～4日(金) (10:00～17:00)

- 内容：学芸員としての業務内容、考古資料の取扱い(材質に応じた取り扱い方と留意点)、  
資料の取扱いⅠ(梱包用具の作成、梱包方法)  
資料の取扱いⅡ(調書等の作成方法)  
資料の整理方法Ⅰ(資料の実測、分類)  
資料の整理方法Ⅱ(整理の方法)  
展示手法(テグス、展示台を使つての展示方法、キャプションの作成)  
実習の反省(実習結果の発表報告)

(イ) 中世 10名、10月27日(火)～30日(金) (10:00～17:00)

- 内容：歴史資料の取扱いⅠ(書跡・典籍作品の取扱いと梱包[掛幅・卷子])、作品の点検と調書の作成)  
歴史資料の取扱いⅡ(中世古文書の形態と分類、中世古文書の保管と扱い[掛幅・卷子])  
美術史料の取扱いⅠ(梱包材の作成、彫刻作品の取扱い[点検・梱包])  
美術史料の取扱いⅡ(作品の点検・梱包、絵画作品の鑑賞と取扱い[掛幅・絵巻)、絵画資料の展示  
と保管環境について

(ウ) 近世 6名、9月1日(火)～4日(金) (10:00～17:00)

- 内容：展示の基礎知識と技術Ⅰ(夏の特別企画準備、展示資料の調書の取り方、キャプション作製等)  
地方文書(久崎家文書)の整理と目録作製  
近世美術資料の取扱い(正文堂版木の整理、調査作製、保存処理)  
展示の基礎知識と技術Ⅱ(夏の特別企画準備、キャプション・パネル作製の実際)

(エ) 近現代 6名、10月20日(火)～23日(金) (10:00～17:00)

- 内容：展示の解説演習(1)(常設展示の解説手法を学ぶ)、博物館資料の保管(脱酸素方法を実践する)  
展示の解説演習(2)(常設展示の解説手法を考案する)  
展示の解説演習(3)(脱酸素方法を実践する)  
博物館資料の取扱い(1)(近現代資料の梱包と保管方法を学ぶ)  
博物館資料の取扱い(2)(近現代資料の整理方法と調書作成を学ぶ)

(オ) 民俗 8名、9月8日(火)～11日(金) (10:00～17:00)

- 内容：民俗資料の収集法について、民俗資料の調査法について  
民俗資料カードの整理法について、民俗資料の整理法について  
民俗資料の取扱いについて、民俗資料の入力法について、民俗資料の調査作成法について

## 6 資料

### (1) 条例規則

#### ア 神奈川県立の博物館条例

〔昭和41年10月7日  
条例第43号〕

最終改正 平成21年3月27日条例第25号

(趣旨)

第1条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名称	位置	目的
神奈川県立 歴史博物館	横浜市中区南仲通 5丁目60番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立 生命の星・ 地球博物館	小田原市入生田 499番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第3条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第4条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第5条 前条第1項本文及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者をいう。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第6条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第7条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。(昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつ

ては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。)

附 則(平成21年3月27日条例第25号)

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

別表(第4条関係)

区 分		個 人		20人以上の団体	
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く。)	1人につき	300円	1人につき	250円
	20歳未満の者(高校生を除く。) 学生(65歳以上の者を除く。)	同	200円	同	150円
	65歳以上の者	同	100円	同	100円
	高 校 生	同	100円	同	100円

- 備考 1 学生とは、「法」第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第82条の2に規定する専修学校並びに法第83条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。
- 2 学齢に達しない者、並びに法第1条に規定する小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

#### イ 神奈川県立の博物館組織規則

昭和41年11月18日  
教育委員会規則第10号

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関する事。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関する事。
- (4) 人事に関する事。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関する事。
- (6) 予算の経理に関する事。
- (7) 観覧料の徴収に関する事。
- (8) 物品の調達及び処分に関する事。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関する事。
- (10) その他他部課の主管に属しない事。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関する事。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関する事。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関する事。
- (4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関する事。

(情報資料課の事務)

第6条 当館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

〔昭和41年11月18日〕  
教育委員会規則第9号

最終改正 平成12年12月15日教育委員会規則第25号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (3) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (4) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (5) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 当館及び神奈川県立生命の星地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

名 称	開 館 時 間
神奈川県立 歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立 生命の星・ 地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の交付)

第5条 教育長は、博物館に展示している博物館資料を観覧するため、条例第4条の規定により観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

附 則(平成12年12月15日教育委員会規則第25号)

この規則は、平成13年1月6日から施行する。

## (2) 利用案内

1. 名称 : 神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
2. 所在地 : 横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
3. 電話 : 045-201-0926(代表)
4. F A X : 045-201-7364
5. ホームページ : <http://ch.kanagawa-museum.jp/>
6. 交通 : 横浜高速鉄道みなとみらい線(東急東横線直通)「馬車道」駅5番出口より徒歩1分  
JR東日本根岸線・横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」または「関内駅」より徒歩8分
7. テーマ : かながわの文化と歴史
8. 休館日 : 月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
9. 観覧料 : ○常設展(平成21年7月15日より料金改定)
  - ・20歳以上(学生を除く) : 300円(250円) ( )内は20名以上の団体
  - ・20歳未満及び学生 : 200円(150円)
  - ・高校生及び65歳以上 : 100円(100円)
  - ・中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料○特別展
  - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。○コレクション展
  - ・無料
10. 団体見学 : 事前にご連絡ください。
11. 地図



神奈川県立歴史博物館年報 平成 21 年度

2010 年 9 月 17 日

編集・発行 〒231-0006

横浜市中区南仲通 5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

この冊子は再生紙を使用しています。

# Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

## Nen-po

*Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History*

*(2009. 4~2010. 3)*

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

Naka-ku, Yokohama-shi, Kanagawa, JAPAN

2010